

研修宿泊センターグリーンヒルおおあさ第2期改修工事

図番	図面名称	図番	図面名称	図番	図面名称	図番	図面名称	図番	図面名称
A-01	建築改修工事 特記仕様書 1	A-35	2階宿泊室 1 展開図(改修前・後)			E-01	電気設備工事 特記仕様書	M-01	機械設備工事 特記仕様書 1
A-02	建築改修工事 特記仕様書 2	A-36	2階宿泊室 2 展開図(改修前・後)			E-02	照明器具参考姿図、凡例	M-02	機械設備工事 特記仕様書 2
A-03	建築改修工事 特記仕様書 3	A-37	2階宿泊室 床伏図、樞詳細図			E-03	電灯コンセント設備 1階平面図(改修前・後)	M-03	1階平面図(改修前)
A-04	建築改修工事 特記仕様書 4	A-38	2階宿泊室 家具詳細図			E-04	電灯コンセント設備 2階平面図(改修前・後)	M-04	1階平面図(改修後)
A-05	建築改修工事 特記仕様書 5	A-39	仮設計画(案)			E-05	宿泊室電灯コンセント設備 2階平面図(改修後)	M-05	2階平面図(改修前)
A-06	建築改修工事 特記仕様書 6					E-06	宿泊室電灯コンセント設備 2階平面図(改修前)	M-06	2階平面図(改修後)
A-07	建築改修工事 特記仕様書 7					E-07	弱電設備 1階平面図(改修前・後)	M-07	洗面、トイレ詳細図(改修前・後)
A-08	建築改修工事 特記仕様書 8					E-08	弱電設備 2階平面図(改修前・後)		
A-09	設計概要、外部仕上表					E-09	自動火災報知設備 系統図(改修前・後)		
A-10	内部仕上表 1(改修前・後)					E-10	自動火災報知設備 1階平面図(改修前・後)		
A-11	内部仕上表 2(改修前・後)					E-11	自動火災報知設備 2階平面図(改修前・後)		
A-12	内部仕上表 3(改修前・後)								
A-13	配置図								
A-14	改修概要 1階平面図(改修前)								
A-15	改修概要 1階平面図(改修後)								
A-16	改修概要 2階平面図(改修前)								
A-17	改修概要 2階平面図(改修後)								
A-18	改修概要 屋根伏図								
A-19	立面図 1								
A-20	立面図 2								
A-21	断面詳細図 1								
A-22	断面詳細図 2								
A-23	1階天井伏図(改修前)								
A-24	1階天井伏図(改修後)								
A-25	2階天井伏図(改修前)								
A-26	2階天井伏図(改修後)								
A-27	建具表 1								
A-28	建具表 2								
A-29	建具表 3								
A-30	1階ロビー、廊下 展開図								
A-31	1階廊下、階段 展開図								
A-32	2階廊下 展開図(改修前・後)								
A-33	洗面、トイレ詳細図								
A-34	2階宿泊室 平面図(改修前・後)								



[illegible]

3

防水改修工事

※ 降雨等に対する養生方法

※ 改修標準仕様書3.1.3(5) (7)～(9)による。
[3.1.3]

2

既存防水の処理

既存保護層の撤去

・ 行う (範囲 ※ 図示) [3.1.4] [3.2.3、4、6]

・ 行わない

既存防水層の撤去

・ 行う (範囲 ※ 図示)

・ 行わない

既存露出防水層表面の仕上げ塗装の除去

(・ M4AS ・ M4ASI ・ M4C ・ M4DI ・ L4X)

3

既存下地の処置

既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等 ※ 図示

[3.2.6]

POS工法及びPUSI工法 (機械的固定工法) の既存保護層を撤去した立上り部等の処置 ※ 改修標準仕様書3.2.6(4) (g) (q) ①～③による

設備機器架台、配管受部、パラベット、貫通パイプ回り、手すり・丸理の取付け部、塔屋出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理

※ 図示。ただし、図示が無いものは監督職員と協議する

4

アスファルト防水

屋根保護防水防水層の種類

[3.3.2～5]

工法	種別	施工箇所	断熱材	絶縁用シート	立上り部の保護
・ P2A	・ A-1 ※ A-2 ・ A-3			※ポリエチレンフィルム 厚さ 0.15mm以上 又はフラットヤーンクロス 70g/m2程度	・ 乾式保護材 ・ コンクリート押え ※ JIS R 1250
	・ B-1 ※ B-2				
・ P1B	・ B-1 ※ B-2			※フラットヤーンクロス 70g/m2程度	
	・ B-1 ※ B-2				

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.6による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料構成による区分 ※ R種
厚さ (mm以上)
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書3.3.3から表3.3.4による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料構成による区分 ※ R種
厚さ (mm以上)
平場の保護コンクリートの厚さとして仕上げ
こて仕上げ ※ 水下 80mm以上
床タイル張り ※ 水下 60mm以上
乾式保護材
窯業系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレープ養生したもの。
金属複合板：金属板と樹脂を積層一体化したものを。

(品質・性能)		・ 窯業系パネル I 類	・ 金属複合板
分類・規格			
寸法 (mm)	厚さ (mm)		
	幅 (mm)		
寸法の許容差	長さ：+10%、-5%、幅：±1%		
出荷時の含水率	出荷時において10%以下		
曲げ強さ・曲げモーメント (N・cm)	標準時	550以上	300以上
(スパン40cmにおける単位幅1cmあたりの曲げモーメント)	凍結融解完了時 (試験サイクル数)	400以上 (300)	250以上 (300)
吸水率 (%)	20以下		
吸水による長さ変化率 (%)	0.01以下		
難燃性	不燃		
耐凍結融解性能	300サイクル後、著しい割れ、剥離がなく、外観上の異常がないこと。		
耐衝撃性能	質量500g (窯業系パネル I 類は1,000g) のなす形おもりを高さ1.0mから試験体の弱点部に落とすとき、表面に達する穴があかないこと。残留変形量1/100以下。		
剛性 (E×I)	—		
(スパン40cm幅30cmの中央曲げ時に荷重720Nの時、たわみ4mm以下となる剛性)	80,000N・cm2以上		

(試験方法)
(1) 寸法の測定方法
(厚さ) 供試体の周辺から20mm以上内側の四隅を0.05mmまで測定できる測定器で測り、4点の平均値を求めてパネルの厚さとする。
(幅) 供試体を平らな台に置き、供試体のほぼ中央1箇所の幅寸法を、JIS B 7512「鋼製巻尺」に規定する目量が1mmの1級コンベックススルール又は、JIS B 7516「金属性巻尺」に規定する目量が1mmの1級直尺を用いて測定する。
(2) 曲げ強度試験は、JIS A 1408「建築用ボード類の曲げ及び衝撃試験方法」による。試験体は3号試験体とする。幅及び厚さは製品寸法とし、支持スパン長さは400mmとする。試験方法は試験体の表面からスパン中央全幅に集中荷重を載荷し、試験体が破壊した時の最大荷重を測定する。同時に破壊時の中央部のたわみ量について、変位計を用いて測定する。測定項目については、凍結融解試験前、同試験100、200、300サイクル完了後の合計4項目によって測定する。(窯業系パネルⅡ類は200サイクルまでとする。) なお、荷重を加える時の平均速度は、1～3分間で予想最大荷重に達する程度とする。
(3) 吸水率試験は、JIS A 5430「繊維強化セメント板」に準じて行う。
(4) 難燃性試験は、JIS A 1321「建築物の内装材料及び工法の難燃性試験方法」に準じて行う。

5

改質アスファルトシート防水

屋根露出防水防水層の種類

[3.4.2、3]

工法	種別	施工箇所	断熱材	仕上塗料	高日射反射率の防水	備考
・ M4AS	・ AS-T1 ・ AS-T2 ・ AS-J2			※製造所の仕様	・ 適用する	
	・ M3AS					
	・ P0AS					
・ M3ASI ・ M4ASI ・ P0ASI	・ ASI-T1 ・ ASI-J1		JIS A 9521 (建築用断熱材) に基づく発泡プラスチック断熱材 (種類) ※硬質ウレタンフォーム断熱材 2 種 2 号 (厚さ) ※25mm・50mm	※製造所の仕様	・ 適用する 脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない 防湿層 ・ 設ける ・ 設けない	
	・ ASI-J1					

6

合成高分子系ルーフィングシート防水

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書3.3.7から表3.3.9による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料構成による区分 ※ R種
厚さ (mm以上)
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書3.3.8から表3.3.9による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料構成による区分 ※ R種
厚さ (mm以上)
脱気装置の種類 ※ アスファルトルーフィング類の製造所の指定
脱気装置の設置数量 ※ アスファルトルーフィング類の製造所の指定 (個)
屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフトレイン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置 ※ 図示
屋内防水

工法	種別	施工場所
・ P1E	・ E-1	
・ P2E	※ E-2	

E-1の場合で工程3を行う部位 (※ 貯水槽、浴槽等常時水に接する部位)
保護層 ・ 設ける (※ 図示) ・ 設けない
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度
屋上排水溝 ※ 図示

7

塗膜防水

防水層の種類

[3.6.2、3]

工法	種別	施工箇所	仕上塗料	高日射反射率防水	備考
・ P O X	※ X-1 ・ X-1 H ・ X-2 H		※ 2成分形アクリルウレタン樹脂系 ・ ふっ素樹脂系 ・ アクリルシリコン樹脂系	・ 適用する	脱気装置 ・ 設ける ・ 設けない 改修用ドレン ・ 設ける ・ 設けない
	・ L4X		※ X-1 ・ X-1 H ・ X-2 H	※ 主材料の製造所の仕様	・ 適用する
・ P1Y	※ Y-2				保護層 ・ 設ける ・ 設けない
・ P2Y	※ Y-2				保護層 ・ 設ける ・ 設けない

X-1 (絶縁工法) の脱気装置の種類 ※ 主材料の製造所の仕様
X-1 (絶縁工法) の脱気装置の設置数量 ※ 主材料の製造所の仕様 (個)

脱気装置の種類 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定
脱気装置の設置数量 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定 (個)
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度
絶縁断熱工法の防水湿シート
・ 設置する
・ 設置しない

8

シーリング

シーリング改修工法の種類

[3.7.2、3、3.7.7]

・ シーリング充填工法
・ シーリング再充填工法
・ 抵幅シーリング再充填工法
・ ブリッジ工法
・ ボンドブローカー張り ・ 適用する ・ 適用しない
・ エッジング材張り ・ 適用する ・ 適用しない
シーリング材の種類、施工箇所
下表以外は、改修標準仕様書3.7.1による

施工箇所	シーリング材の種類 (記号)

仕上げを行わない施工箇所
・ 図示による
・ 打継目地
シーリング材の目地寸法 ※ 改修標準仕様書3.7.3(1)による
接着性試験 ※ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験

といの材質
・ 配管用銅管
・ 硬質ポリ塩化ビニル管
・ ルーフトレイン
・ 表面処理鋼板 (表面及び裏面の塗膜の種類)
ルーフトレイン

種別	呼び
・ ろく層積用たて形Ⅰ型	※ねじ込み式 ・ 80 ・ 100 ・ 125 ・ 150
・ ろく層積用模形Ⅰ型	※ねじ込み式 ・ 80 ・ 100 ・ 125 ・ 150
・ バルコニー中継用	・ ねじ込み式 ・ 50 ・ 80 ・ 100
	・ 差し込み式 ・ 50 ・ 75 ・ 100
・ バルコニー用	・ ねじ込み式 ・ 50 ・ 80 ・ 100
	・ 差し込み式 ・ 50 ・ 75 ・ 100

とい受け金物及び足金物の材質、形状及び取付け間隔
※ 改修標準仕様書3.8.2により、溶融亜鉛めっきを行ったもの
・ 多雪地域 ・ 適用する
防露材のホルムアルデヒド放散量
※ F☆☆☆☆
既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 ※ 図示
銅管製といの防露巻き ※ 改修標準仕様書3.8.4による
たてとい受金物の取付け ※ 図示

9

とい

といの材質

[3.8.2、3]

・ 配管用銅管
・ 硬質ポリ塩化ビニル管
・ ルーフトレイン
・ 表面処理鋼板 (表面及び裏面の塗膜の種類)
ルーフトレイン

10

アルミニウム製笠木

アルミニウム製笠木

[3.9.2、3]

種類 ・ 押出材形材 (・ 押出250形 ・ 押出300形 ・ 押出350形)
・ 板材折曲げ形 (・ オープン形式 ・ シール形式)
本体幅 () mm 板厚 (※ 2.0mm () mm)
表面処理 種別 () 種
色合等 ・ 標準色 () ・ 特注色 ()
既存笠木の撤去 ・ 行う (範囲 ※ 図示) ・ 行わない
下地補修の工法 ※ 図示
板材折曲げ形の笠木の取付方法 ※ 図示
笠木の固定金具の工法等
1章 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法

防水改修フロー及び数量

・ 既存保護層の補修及び処置

防水面調査 (施工数量調査)

ひび割れ部補修						欠損部改修	浮き部補修	ぜい弱部補修	既存目地欠損部補修	既存目地欠損部補修 (脱気に利用する場合)
アスファルト防水工事用シール材 (幅2mm未満)	リカットのうえポリウレタン系シーリング材 (幅2mm以上)	ポリマーセメントモルタル補修	ポリマーセメントモルタル補修	撤去のうえ、ポリマーセメントモルタル補修	ケレン等のうえ、ポリマーセメントベースト補修	アスファルト防水工事用シール材	ポリマーセメントモルタル補修	既存目地撤去のうえポリウレタン系シーリング材		
m	m	m	m	m2	m2	m	m	m	m	m

シーリング改修
シーリング再充填工法

mm × mm	mm × mm

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料構成による区分 ※ R種
厚さ (mm以上)
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料構成による区分 ※ R種
厚さ (mm以上)
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による
・ JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料構成による区分 ※ R種
厚さ (mm以上)
脱気装置の種類 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定
脱気装置の設置数量 ※ 改質アスファルトシートの製造所の指定 (個)
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※ アルミニウム製 L-30×15×2.0mm程度
絶縁断熱工法の防水湿シート
・ 設置する
・ 設置しない

工法	種別	施工箇所	仕上塗料	高日射反射率の防水	備考
・ P-S	・ S-O1			・ 適用する	※ 7mm以下
	・ S-O1				

屋内防水で平場を保護コンクリート仕上げとする場合の厚さ
合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 改修標準仕様書3.5.1から表3.5.3による
・ JIS A 6008に基づく種類及び厚さ
用途による区分
材料構成による区分 ※ R種
厚さ (mm以上)
絶縁用シート及び可塑性移行防止用シート
※ 発泡ポリエチレンシート
固定金具の材質及び寸法形状
※ 防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもので、厚さ0.4mm以上のもの
脱気装置の種類及び設置数量
接着工法の場合の脱気装置の種類 ※ ルーフィングシートの製造所の仕様
接着工法の場合の脱気装置の設置数量 ※ ルーフィングシートの製造所の仕様 (個)
プレキャストコンクリート部材の目地処理 (接着工法の場合)
・ 行う (・ 図示) ・ 行わない
プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り (種別S-F1、S-I1の場合)
・ 行う (・ 図示) ・ 行わない
機械的固定工法の場合の一般部のルーフィングシートの張付け
1章 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法

4-1 外壁改修工事共通事項

1 ポリマーセメントモルタル

(品質・性能) [4.2.2]

項目	品質・性能
だれ	下がり量 (mm) 5以内 表面の状態 ひび割れの発生が無いこと。
曲げ強さ (N/mm2)	6.0以上
圧縮強さ (N/mm2)	20.0以上
接着強さ (N/mm2)	標準条件 1.0以上 特殊条件 湿潤時 0.8以上 低湿時 0.5以上
透水性	裏面のぬれ、水滴の付着が無いこと。
その他	1) 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 2) 高分子エマルションは、常温常湿において製造後6か月保存しても、変質しないこと。

2 ポリマーセメントスラリー

(品質・性能) [4.2.2]

項目	品質・性能				
広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮) (材齢28日) (%)	引張接着性 (材齢28日) (N/mm2)	曲げ性能 (材齢28日) (N/mm2)	吸水性 (72時間) (%)	耐久性 (変化曲げ強さ) (N/mm2)
3以上	3以下	0.5以上	5.0以上	15以下	5.0以上

保水係数 0.35~0.55
粘弾係数 0.50~1.00

3 吸水調整材

改修標準仕様書表4.3.2による [4.3.5]

4 既調合モルタル

[4.3.6]

モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。

(品質・性能)

項目	品質・性能	項目	品質・性能
保水率	70.0%以上	長さ変化率	0.20%以下
単位容積質量	1.80 kg/L以上	曲げ強さ	4.0N/mm2以上
接着強さ	標準時 0.60N/mm2以上 温冷繰り返し後 0.40N/mm2以上		

(試験方法)

(1) 試料の調製

製造業者の定める、正味質量と標準繰り上がり量より換算して、所定量の試料を繰り上げるのに要する材料と繰り混ぜ水を計算して用意する。

繰り混ぜば、JIS R5201「セメントの物理試験方法」の10.2に規定する繰り混ぜ機を使用し、繰りばちも用意した水を入れ、攪拌しながら30秒間に材料を投入し、3分間繰り混ぜて試料とする。

(2) 保水率の試験方法

JIS R3202「フロート板ガラス及び磨き板ガラス」に規定する磨き板ガラス (縦150mm、横150mm、厚さ5mm) の上にJIS P3801「ろ紙 (化学分析用)」に規定する5 Aろ紙 (直径11cm) をわせ、その中央部1真ちゅう製リング型わく (内径50mm、高さ10mm、厚さ3mm) を設置し、(1) で調製した試料を平滑に詰め込む。

その後、直ちにリング型わく上部にガラス板を当てて上下を逆さまにし、ろ紙部分が上部になるようにして静置する。60分経過後ろ紙へにじみ出した水分の広がり最大と認められた方向とこれに直角な方向の長さをノギスを用いて、1mmの単位まで測定する。

試験は3回実施し、その平均値を用いて次式により保水率を求める。

保水率=50÷平均値×100 (注) 50: リング型わくの径 mm

(3) 単位容積質量の試験方法

JIS A 1171「ポリマーセメントモルタルの試験方法」に準ずる。

(4) 接着強さ (標準時) の試験方法

イ) 適用タイルが「モザイクタイル」の場合

(試験体の作製) JIS A5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板 N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿を行い直ちに(1) で調製した試料を厚さ7mmになるように塗付け。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押出し又はプレス成形による施ゆの「50角ユニットタイル (外のり寸法約300mm×300mm)」を圧着する。その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。

(試験方法) JIS A 6909「建築用仕上塗材」の7.10付着強さ試験に準じて行う。試験体をダイヤモンドカッターを用いて、タイル周辺に沿って下地板に達するまで切り込みを入れ、シゲル接着剤で鋼製アタッチメントを接着し、引張試験機を用いて接着強さエポキシ試験を行う。なお、接着強さの測定箇所は、試験体の中からまんべんなく5箇所を選び抜き取る。(全てが0.6N/mm2以上を確保していること)

また、試験後の部材破断位置の表示を下記の中から選び明記する。

T : タイルの母材破断
TM : 既調合モルタルとタイルの界面破断
M : 既調合モルタルの母材破断
MG : 既調合モルタルと下地板の界面破断
G : 下地板の母材破断

ロ) 適用タイルが「小口タイル・二丁掛タイル」の場合

(試験体の作製) JIS A5371「プレキャスト無筋コンクリート製品」に規定する普通平板 N-300を下地板とし、表面をサンドペーパーを用いて軽く研磨した後、水湿を行い直ちに(1) で調製した試料を厚さ7mmになるように塗付け。直ちにJIS A 5209「セラミックタイル」に規定するタイルで押出し又はプレス成形による施ゆの「小口タイル108mm×60mm×12mm」を4枚2列、計8枚を圧着する。その後、28日間、温度20±2℃、湿度80%以上の状態で湿空養生を行い、これを試験体とする。

(試験方法) 「モザイクタイル」の場合と同様に行う。

(5) 接着強さ (温冷繰返し後) の試験方法

(試験体の作製) 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々(4) 接着強さ (標準時) の試験方法の「試験体」と同様とする。

(温冷繰返し試験) 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々JIS A6909「建築用仕上塗材」に規定する7.11温冷繰返し試験に準じて行う。

試験の手順は、試験体を20±2℃の水中に18時間浸せきした後、直ちに-20±2℃の恒温器中で3時間冷却し、次いで50±3℃の別の恒温器中で3時間加熱し、この24時間を1サイクルとする操作を10回繰返しした後、試験室に2時間静置し、ひび割れ及びぬれの有無を目視によって調べる。

(温冷繰返し後の接着強さ試験方法) 「モザイクタイル」及び「小口タイル・二丁掛タイル」とも、各々温冷繰返し試験完了後の試験体を標準状態で2日間静置養生した後、標準時の接着強さ試験方法と同様に行う。(全てが0.4N/mm2以上を確保していること)

(6) 長さ変化率の試験方法

JIS A6203「セメント混和用ポリマーディスペーション及び再乳化形樹脂」9.9 長さ変化率に準ずる。

(7) 曲げ強さの試験方法

JIS A6916「建築用下地調整塗材」の7.11 曲げ強さ試験に準ずる。

試験室の状態: 試験室は温度20±2℃、湿度65±10%とする。

4-2 外壁改修工事コンクリート打放し仕上げ外壁

1 ひび割れ部改修工法

※ 樹脂注入工法 [4.1.4] [4.2.4、5、6、7]

工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)
※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	200~300	※40
0.3以上0.5未満	※40	-	-
0.5以上1.0未満	※70	-	-
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	50~100	※40
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	100~200	※70
0.5以上1.0未満	150~250	※130	-

注入状況の確認方法 ※ 注入量により確認 ・ コアの抜き取りを行う ・ コア抜き取りの場合の個数 ※ 長さ500mmごと及びその端数につき1個 ・ コア抜き取りの場合の抜き取り部の補修方法 ※ ポリマーセメントモルタル充填 ・ 図示 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シーリング材 充填材料 ※ 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ・ シーリング材の上にポリマーセメントモルタルの充填 ※ 行う ・ 行わない ※ 可とう性エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂

2 欠損部改修工法

※ 充填工法 [4.1.4] [4.2.4、8]

・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル

4-3 外壁改修工事モルタル塗仕上げ外壁

1 ひび割れ部改修工法

※ モルタルを撤去しないで改修 [4.1.4] [4.3.5、6、7、8]

工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)
※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	200~300	※40
0.3以上0.5未満	※40	-	-
0.5以上1.0未満	※70	-	-
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	50~100	※40
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	100~200	※70
0.5以上1.0未満	150~250	※130	-

注入状況の確認方法 ※ 注入量により確認 ・ コアの抜き取りを行う ・ コア抜き取りの場合の個数 ※ 長さ500mmごと及びその端数につき1個 ・ コア抜き取りの場合の抜き取り部の補修方法 ※ ポリマーセメントモルタル充填 ・ 図示 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シーリング材 充填材料の種類 ※ 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ・ シーリング材の上にポリマーセメントモルタルの充填 ※ 行う ・ 行わない ※ 可とう性エポキシ樹脂 ※ バテ状エポキシ樹脂 ・ 可とう性エポキシ樹脂

2 欠損部改修工法

※ モルタルを撤去して改修 [4.1.4] [4.3.9、10]

モルタルの材料 ※ 現場調査材料 ・ 既調合材料

モルタル塗仕上げ工法 既製目地材 ・ 使用する (形状) 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※ 図示

3 浮き部改修工法

※ モルタルを撤去しないで改修 [4.1.4] [4.3.11~16]

・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法

・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法

・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法

・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法

・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法

・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法

アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの

注入口付アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径6mm

・ モルタルを撤去して改修

モルタルの材料 ※ 現場調査材料 ・ 既調合材料

・ 充填工法 ・ エポキシ樹脂モルタル ・ ポリマーセメントモルタル

・ モルタル塗仕上げ工法 既製目地材 ・ 使用する (形状) 仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の措置 ※ 図示

4 外壁複合改修構工法

平成7年度建設省告示第1860号による「外壁複合改修構工法の開発」において、建設大臣の技術評価を取得した工法とする

4-5 外壁改修工事仕上塗材仕上げ外壁

1 タイルの形状、寸法等

タイル部分張替え工法及びタイル張替え工法用接着剤の種類 [4.4.5、8]

・ JIS A 5557による一液反応硬化形の変成シリコン樹脂系

施工箇所	形状/寸法 (mm)	再生材料の適用	吸水率による区分	うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐滑	備考
1類	2類	3類	4類	5類	6類	7類	8類	9類	10類
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
・	・	・	・	・	・	・	・	・	・

耐滑り性: JIS A 1509-12 (セラミックタイル試験方法第12部: 耐滑り性試験方法) で規定する C.S.R値は0.4~1.0とする。

役物の使用箇所

内装	出隅	天端
・	・	・

見本焼き

・ 行う (施工箇所:) ※ 行わない

試験張り

・ 行う (施工箇所:) ※ 行わない

2 ひび割れ部改修工法

※ タイルを撤去して改修 [4.1.4] [4.5.5、6]

下地モルタルまで撤去後のコンクリート部分の改修は、4-2 外壁改修工事 (コンクリート打放し仕上げ外壁) による

モルタルを存置した場合のモルタル部分の改修は、4-3 外壁改修工事 (モルタル塗仕上げ外壁) による

タイル撤去後のタイル欠損部の補修は、3 欠損部改修工法による

・ タイルを撤去しないで改修

4-1 外壁改修工事共通事項

3 欠損部改修工法

※ 樹脂注入工法 [4.1.4] [4.4.5、7、8]

工法の種類	ひび割れ幅 (mm)	注入口間隔 (mm)	注入量 (mL/m)
※ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	200~300	※40
0.3以上0.5未満	※40	-	-
0.5以上1.0未満	※70	-	-
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上0.3未満	50~100	※40
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法	0.3以上0.5未満	100~200	※70
0.5以上1.0未満	150~250	※130	-

注入状況の確認方法 ※ 注入量により確認 ・ コアの抜き取りを行う ・ コア抜き取りの場合の個数 ※ 長さ500mmごと及びその端数につき1個 ・ コア抜き取りの場合の抜き取り部の補修方法 ※ ポリマーセメントモルタル充填 ・ 図示 ・ Uカットシール材充填工法 ・ シーリング材 充填材料の種類 ※ 1成分形又は2成分形ポリウレタン系 ・ シーリング材の上にポリマーセメントモルタルの充填 ※ 行う ・ 行わない ※ 可とう性エポキシ樹脂

4 浮き部改修工法

・ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法

・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法

・ アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法

・ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法

・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法

・ 注入口付アンカーピンニング全面ポリマーセメントスラリー注入工法

・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法

注入口付アンカーピン数の

アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工をしたもの

注入口付アンカーピンの材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304) 呼び径6mm程度

・ タイル部分張替え工法

接着剤の種類 ・ ポリマーセメントモルタル ・ 外装タイル接着剤張りの接着剤

・ タイル張替え工法 (下地モルタルを撤去する場合)

貼付けモルタルの材料 ※ 現場調査材料 ・ 既調合材料

伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地 位置 ※ 改修標準仕様書表4.5.11による

・ セメントモルタルによるタイル (セラミックタイル) 張り

・ タイル張りの工法 ・ 外装タイル (・ 密着張り ・ 改良圧着張り ・ 改良積上げ張り) ・ ユニットタイル (・ マスク張り ・ モザイクタイル張り)

・ 有機系接着剤によるタイル (セラミックタイル) 張り

下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理

※ 目尻工法

シーリング材の種類 打継ぎ目地及びひび割れ誘発目地 ※ ポリウレタン系 ・ 伸縮調整目地その他の目地 ※ 変成シリコン系

5 目地改修工法

[4.1.4] [4.4.5、16]

・ 目地ひび割れ部改修工法

・ 伸縮調整目地改修工法 伸縮調整目地の位置及び寸法 ※ 図示

6 外壁複合改修構工法

平成7年度建設省告示第1860号による「外壁複合改修構工法の開発」において、建設大臣の技術評価を取得した工法とする

4-5 外壁改修工事仕上塗材仕上げ外壁

1 既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整

[4.5.4]

工法	処理範囲	下地面の補修
・ サンダー工法	※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示	4-2 外壁改修工事 (コンクリート打放し仕上げ外壁) ・
・ 高圧水洗工法	※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示	4-3 外壁改修工事 (モルタル塗仕上げ外壁) による
・ 吐出力	・ 30MPa~50MPa	
・ 50MPa~100MPa		
・ 100MPa以上		
・ 塗膜はく離工法	※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示	
・ 水洗工法	※ サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離工法の処理範囲以外の既存仕上げ面全体 ・ 図示	

石綿含有仕上塗材の除去は、9 章環境配慮改修工事による

2 下地調整塗材

※ 下地調整塗材 ・ ポリマーセメントモルタル [4.5.2]

3 仕上塗材仕上げ

[4.1.5] [4.5.2] [表4.5.1]

建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量

※ F☆☆☆☆

仕上塗材の種類

・ 薄付け仕上塗材

呼び名	仕上げの形状	工法	防火材料
※ 外装薄塗材 E			-
・			-

・ 厚付け仕上塗材

呼び名	仕上げの形状	工法	上塗り材	防火材料
・			・ 適用する	-
・			・ 適用する	-

・ 複層仕上塗材

呼び名	仕上げの形状	工法	上塗り材の種類	耐水性	耐火性	防火材料
※ 複層塗材 E			溶媒 ※ 水系	※ 耐水性 3種	・	-
・			樹脂 ※ アクリル系	・	・	-
・			外観 ※ つやあり			-

軽量骨材仕上塗材

呼び名	防火材料
・	-
・	-

4 マスチック塗材塗り

[4.1.5] [4.6.2] [表4.6.1]

改修標準仕様書4.6.2による。

5 外壁用塗膜防水材塗り

[4.1.5] [4.7.2、3] [表4.7.1]

工法及び仕上げの形状

・ 吹付け (・ 凹凸状 ・ 凸凹処理 ・)

・ ローラー塗り (・ ゆず肌状 ・ さざ波状 ・)

仕上げ塗料の耐水性

・ 耐水性 1種 ・ 耐水性 2種 ・ 耐水性 3種

下地準拠耐水性の適用

・ 適用する ・ 適用しない

コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書4-2章外壁改修工事 (コンクリート打放し仕上げ外壁改修) による。

モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書4-3章外壁改修工事 (モルタル塗り仕上げ外壁改修) による。

吹付け工法の仕様材の種類

・ (・ 所要量 (kg/m2))

外壁用仕上塗料の種類

・ (・ 所要量 (kg/m2))

外壁改修フロー及び数量

・ コンクリート打放し仕上げ外壁の場合

既存仕上材材の処理範囲 ※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示

外壁調査 (施工数量調査)

ひび割れ部改修

欠損部改修

浮き部改修

モルタル撤去 ・ しない ・ する

アンカーピンニング注入工法

樹脂注入工法 (注1)

A) 0.2以上0.3未満 m

A) 0.3以上0.5未満 m

A) 0.5以上1.0未満 m

B) 0.2以上0.3未満 m

C) 0.3以上0.5未満 m

C) 0.5以上1.0未満 m

Uカットシール材充填工法

m

シー工法

m

充填工法

100×300×30mm程度

鋼鉄筋部補修工法 (改修標準仕様書4.3.3(b))

幅100mm程度

ケ所

m

下地調整材の施工範囲 ※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示

仕上塗材仕上げ施工範囲 ※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示

・ モルタル塗り仕上げ外壁の場合

既存仕上材材の処理範囲 ※ 既存仕上げ面全体 ・ 図示

外壁調査 (施工数量調査)

ひび割れ部改修

欠損部改修

浮き部改修

目地ひび割れ改修

伸縮目地改修

樹脂注入工法 (注1)

A) 0.2以上0.3未満 m

A) 0.3以上0.5未満 m

A) 0.5以上1.0未満 m

B) 0.2以上0.3未満 m

C) 0.3以上0.5未満 m

C) 0.5以上1.0未満 m

Uカットシール材充填工法

m

タイル部分張替工法

m2

タイル張替工法

m2

(工法名)

一般部分

m2

指定部分

m2

目地ひび割れ改修

mm×mm

伸縮目地改修

mm×mm

m

(注1) 4-2.1、4-3.1及び4-4.2のひび割れ部改修工法における樹脂注入工法の種類を示す

A) 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法、B) 手動式エポキシ樹脂注入工法、C) 機械式エポキシ樹脂注入工法

⑤

建具改修工事

1改修工法

[5. 1. 3] [5. 1. 6]

既存建具の種類		かぶせ工法	撤去工法	適用箇所	
・アルミ製建具		-	-	※ 建具表による	
		-	-	※ 建具表による	
・樹脂製建具		-	-	※ 建具表による	
		-	-	※ 建具表による	
・鋼製建具	・外部	-	-	※ 建具表による	
	・内部	-	-	※ 建具表による	
・鋼製軽量建具		-	-	※ 建具表による	
		-	-	※ 建具表による	
新規に建具を設ける場合					
壁部分の開口の開け方 ※ 図示					
新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※ 図示					
建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書 3 章「防水改修工事」による。					
・再使用（・ブラインドボックス）					

2防火戸

[5. 1. 4]

・適用する 指定箇所（※ 建具表による）

防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動
※動作させる 適用箇所（・建具表による）

・連動させない

3見本の製作等

[5. 1. 5]

建具見本の製作 ・行う（建具符号： ） ・行わない

特殊な建具の仮組 ・行う（建具符号： ） ・行わない

4防犯建物部品

[5. 1. 7]

・適用する 適用箇所（※ 建具表による）

5アルミニウム製建具

[5. 2. 2～5] [表 5. 2. 2]

性能値等（ ）

・耐風圧性の等級（ ）

・気密性の等級（ ）

・水密性の等級（ ）

※ 改修標準仕様書表5. 2. 1Iによる種別

外部に面する建具の種別 ・ A種（建具符号： ・全て ・建具表による）

・ B種（建具符号： ・全て ・建具表による）

・ C種（建具符号： ・全て ・建具表による）

防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級（ ）

（建具符号： ・建具表による）

断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級（ ）

（建具符号： ・建具表による）

耐震性能

建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430JIL又はSUS443J1

形状及び仕上げ

枠の見込み寸法 ※ 建具表による

表面処理

外部に面する建具 種類 ・ B8-1種 ・ B8-2種

色合等 ※ 標準色（ ） ・ 特注色（ ）

屋内の建具 種類 ・ BC-1種 ・ BC-2種

色合等 ※ 標準色（ ） ・ 特注色（ ）

結露水の処理方法 ※ 図示

取付工法

水切り板、ぜん板 ※ 図示

木下地の場合の内付け建具 ・適用しない ・適用する

6網戸等

[5. 2. 3][5. 3. 3]

種類	材質	線径	網目
・防虫網	※ 合成樹脂製	※ 0. 25mm以上	※ 16～18メッシュ
	・ ガラス繊維入り合成樹脂製		
・防鳥網	※ ステンレス（SUS316）製	1. 5mm	網目寸法15mm
	ステンレス（SUS304）線材		

7樹脂製建具

[5. 2. 2] [5. 3. 2～5]

性能値等（ ）

・耐風圧性の等級（ ）

・気密性の等級（ ）

・水密性の等級（ ）

※ 改修標準仕様書表5. 3. 1Iによる種別

外部に面する建具 ・ A種（建具符号： ・全て ・建具表による）

・ B種（建具符号： ・全て ・建具表による）

・ C種（建具符号： ・全て ・建具表による）

防音ドア、防音サッシの遮音性の等級 ・ T－1 ・ T－2

（建具符号： ・建具表による）

断熱ドア、断熱サッシの断熱性の等級 ・ H－4 ・ H－5 ・ H－6 ・ H－7 ・ H－8

（建具符号： ・建具表による）

外部に面する建具の日射取得性の等級

形状及び仕上げ

枠の見込み寸法 ※ 建具表による

表面色 ※標準色 ・ 特注色

取付工法

水切り板、ぜん板 ※ 図示

木下地の場合の内付け建具 ・適用しない ・適用する

ガラス ※ 複層ガラス

8鋼製建具

[5. 2. 2] [5. 4. 2～4] [表 5. 4. 2]

性能値等（建具符号： ・ 建具表による）

簡易気密型ドアセット 気密性の等級 ・ A－3

水密性の等級 ・ W－1

外部に面する面する建具の耐風圧性 ・ S－4

・ S－5

・ S－6

防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級（ ）

断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級（ ）

耐震ドア 面内変形追従性の等級（ ）

耐震性能

建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430JIL又はSUS443J1

くつずりの仕上げ ステンレス鋼板を用いる場合 ※ HL以上

形状及び仕上げ 鋼板類の厚さ ※ 改修標準仕様書表5. 4. 2Iによる

使用箇所（ ）

標準型鋼製建具の形状及び寸法 ※ 建具表による

9鋼製軽量建具

[5. 2. 2] [5. 5. 2～4]

性能値等（建具符号： ・ 建具表による）

簡易気密型ドアセット ・適用する

防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級（ ）

断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級（ ）

耐震ドア 面内変形追従性の等級（ ）

耐震性能

建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

鋼板の材料 ※ 亜鉛めっき鋼板 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板

ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430JIL又はSUS443J1

形状及び仕上げ

鋼板類の厚さ ※ 改修標準仕様書表5. 5. 1Iによる

使用箇所（ ）

・防音性能を求める戸（建具表による。）

防音充填材（グラスウール又はロックウール）

召合せ、縦小口包み板の材質 ※ 鋼板

標準型鋼製建具の形状及び寸法 ※ 建具表による

10ステンレス製建具

[5. 2. 2] [5. 4. 2] [5. 6. 2～5] [5. 7. 2. 3]

性能値等（建具符号： ・ 建具表による）

簡易気密型ドアセット ・適用する

外部に面する面する建具の耐風圧性 ・ S－4

・ S－5

・ S－6

防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級（ ）

断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級（ ）

耐震ドア 面内変形追従性の等級（ ）

耐震性能

建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430JIL又はSUS443J1

くつずりの仕上げ

表面仕上げ ※ HL ・ 鏡面仕上げ

工法

ステンレス鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ 角出し曲げ（・ a角 ・ b角 ・ c角）

食物の種類及び見え掛り部の材質等

※ 改修標準仕様書表5. 8. 1及び適用は建具表による

金属製建具に使用する丁番の数枚数及び大きさ ※ 改修標準仕様書表5. 8. 2Iによる

樹脂製建具に使用する丁番の数枚数及び大きさ ※ 標準仕様書表5. 8. 3Iによる

木製建具に使用する丁番の数枚数及び大きさ ※標準仕様書表5. 8. 4Iによる

木製建具に使用する戸車及びレール ※標準仕様書表5. 8. 5Iによる

握り玉及びレバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置 ※ 建具表による

11建具用金物

錠前類

【シンダ箱錠及びシンダ本締まり錠】

（品質）

デッドボルトの出寸法は17mm以上とする。 鍵付きのものはマスターキー、グランドマスターキー、コンストラクションキーなどのキーシステムが構築できるものとす。（性能）

<使用頻度による性能>

1) シンダ箱錠のみ ラッチボルトの開閉繰り返し試験（40万回）を行った後、ハンドルでの開閉操作力及び引っ張力が試験前の2倍未満であり、かつ、ハンドルでの開扉操作およびラッチング動作に支障がない。

2) キーによるデッドボルトの施解錠繰り返し試験（10万回）を行った後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、施解錠操作に支障がなく、かつ、確実に施錠状態が維持されている。

3) キーによる歯錠機構の施解錠繰り返し試験（10万回）を行なった後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、施解錠操作に支障がない。

4) キーの抜き差し繰り返し試験（10万回）を行なった後、キーの抜き差しに要する荷重は10N以下である。また、未使用の合鍵でシンダが回転でき、かつ、1箇所1段差浅い刻みをともつ異なるキーでは、シンダが回転しないこと。（キーに加えるトルクは、150N・cmとする）

<外力に対する性能>

1) デッドボルトの押込み強度試験（10KN）を行なった後、荷重を除いたときのデッドボルトの出寸法は8mm以上であること。

2) デッドボルトの側圧強度試験（10KN）を行なった際、加圧板がデッドボルトを通過しない。

3) デッドボルトの押込み強度（衝撃荷重）試験（58. 8 J）の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態（デッドボルトの突出量が9mm未満）にならないこと。

4) デッドボルトの側圧強度（衝撃荷重）試験（58. 5 J）の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態（加圧板がデッドボルトを通過した状態）にならないこと。

5) （シンダ本締り錠はグレード3以上の影込錠の場合）ストライクプレートの厚さ1.5mm以上のステンレス鋼製とし、トロヨケは厚さ1.6mm以上の鋼製の一体絞りとする。又はストライクの強度と同等以上の強度をもつものとする。

<使用戸の質量に対する性能>

（シンダ箱錠のみ）

ラッチボルトの側圧強度試験（4KN）を行い、荷重を除いたとき、ハンドル操作及びラッチングに支障がない。

<ハンドルの強度（シンダ箱錠のみ）>

1) レバーハンドルのねじり強度試験（3.5KN・cm）を行なった後、トルクを除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がない。

2) 握り玉のねじり強度試験（3KN・cm）を行なった後、トルクを除いたとき、握り玉が正常に作動していること。また、施錠時握り玉が固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がない。

3) ハンドルの引張強度試験（2KN）を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がない。

4) ハンドルの垂直荷重強度試験（2KN）を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がない。

<鍵違い>

1) 鍵違い数は、1.5万以上とする。ただし、異なるキーウェイ形状であっても、共通のキーセクションが存在する場合は、有効かぎ（鍵）違い数とみなさないとする。

2) 同一アンダーの使用数は、60%以下とする。また、6本アンダーにおいては、キーの同一刻みは、最大2連続までとしていること。

試験方法は、JIS A 1541-I（建築金物一般－第 1 部：試験方法）による。

【レバーハンドル】

（性能）

<ねじり強度>

レバーハンドルのねじり強度試験（3.5KN・cm）を行なった後、トルクを除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がないこと。

<引張り強度>

ハンドルの引張強度試験（2KN）を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がないこと。

<垂直荷重強度>

ハンドルの垂直荷重強度試験（2KN）を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がないこと。

試験方法は、JIS A 1541-I（建築金物一般－第 1 部：試験方法）による。

12鍵

[5. 8. 4]

マスターキー ※ 製作する（ 組） ・ 製作しない ・ 既存に組込む

鍵の製作本数 ※ 各室3本1組（室名札付き） ・

鍵箱 ・ 設ける（ 個用 組） ・ 設けない

13自動ドア開閉装置

[5. 9. 2. 3]

引き戸用駆動装置性能

※ 改修標準仕様書表5. 9. 1Iによる

種類 ・ SSLD-1 ・ SSLD-2 ・ DSLD-1 ・ DSLD-2

車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置性能

※ 改修標準仕様書表5. 9. 2Iによる

引き戸用検出装置の種類及び必要性能項目

引き戸用検出装置性能

※ 改修標準仕様書表5. 9. 3Iによる

種類 ・ 光線（反射）センサー ・ 熱線センサー ・ 音波センサー ・ 光電センサー

・ 電波センサー ・ タッチスイッチ ・ 押しボタンスイッチ

タッチスイッチの種類 ・ 無線式タッチスイッチ ・ 光線式タッチスイッチ

車椅子使用者用便房スイッチの種類

・ 大型（開・閉）押しボタンスイッチ ・ 非接触スイッチ

戸の開閉方式 ※ 建具表による

防錆 ・ 適用する ・ 適用しない

凍結防止措置 ・ 適用する ・ 適用しない

14自閉式上吊り引戸装置

[5. 10. 3]

性能値等 ※ 標準仕様書表5. 10. 1Iによる

（試験方法）

（1）耐久性（開閉繰り返し）試験

閉については外力によらず、試験体の自閉装置及び制御装置のみにより戸を開端位置から開端位置までの作動を確認できる試験を行う。同試験に用いる試験体は片引戸とし、開口内法有効高さ2,000mm、幅は最大寸法とする。適用戸総質量の区分毎に試験を行う。自閉装置、制御装置は10万回以上の時点て1回のみ調整を行えるものとし、また、その他の制御装置についてはメーカーの耐久性能試験成績書において2万回以上の耐久性を確認することで、試験に代えることができるものとする。

（2）耐衝撃性試験

落下高さ17cmにて、ドアの中央部にドアが外れる方向に衝撃を与える。

耐衝撃性試験に用いる試験体は片引戸、開口内法有効寸法は高さ2,000mm、幅900mmとする。適用戸総質量の区分毎に試験を行う。

（3）気密性試験

JIS A 1516「建具の気密性試験方法」による。

15重量シャッター

[5. 11. 2. 3]

シャッターの種類 ・ 管理用シャッター

・ 外壁用防火シャッター

・ 屋内用防火シャッター

・ 防煙シャッター

外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度（ ）Pa

開閉方式の種類 ※ 電動式（手動併用） ・ 手動式

安全装置

電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置

（設置箇所 ・ 建具表による）

電動式シャッターの障害物感知装置

（設置箇所 ・ 建具表による）

屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置

（設置箇所 ・ 建具表による）

管理用シャッターシャッターケース

・ 設ける ・ 設けない

スラット及びシャッターケース用鋼板

鋼板の種類 ・ JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）

・ JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき及び鋼帯）

めっきの付着量 ※ Z12又はF12を満足するもの

ガイドレール、まぐさ、両掛りに用いる座板及び座板のカバー、両掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質

ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430JIL又はSUS443J1

16軽量シャッター

[5. 12. 2～4]

開閉方式の種類 ※ 手動式 ・ 電動式（手動併用）

耐風圧強度（ ）Pa

安全装置（電動シャッター）

・急降下停止装置

（設置箇所 ・ 建具表による）

※障害物感知装置

（設置箇所 ・ 建具表による）

スラットの材質の種類

・ JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）

めっきの付着量 ※Z06又はF06

・ JIS G 3312（塗装溶融5～5％アルミニウム亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯）

めっきの付着量 ※A290

スラットの形状

・ インターロックキング形

・ オーバーラッピング形

17オーバーヘッドドア

[5. 13. 2. 3]

セクション材料による区分

耐風圧性能区分

開閉方式による区分

収納方式による区分

ガイドレールの材料

※スタンダード形 ・ アルミニウムタイプ

・ バランス式 ・ チェーン式

・ ローフット形

※溶融亜鉛めっき鋼板

・ ファイバーグラストタイプ

・ 電動式

・ ハイリフト形

・ ステンレス鋼板

・ パーチカル形

電動式タイプで障害物感知装置を設ける箇所 ※図示

[5. 7. 2～4]

建具材の加工、組立時の含水率 ※ A種 ・

建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量

※ F☆☆☆☆

・ フラッシュ戸

表面材のホルムアルデヒド放散量等 ※標準仕様書表16. 7. 2(2) (4) (a) による

表面材の合板の品質等

合板の種類	規格等	備考
○ 普通合板	表面の樹種 生地、透明塗料塗り （ ※ ラワン合板程度 ・ ） 不透明塗料塗り （ ※ しな合板程度 ・ ） 板面の品質（ ※ 広葉樹 1等 ・ ） 接着の程度（ ・ 1類 ・ 2類 ）	
・ 天然木化粧合板	樹種名（ ） 接着の程度（ ・ 1類 ・ 2類 ）	
・ 特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 （ ・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装） 表面性能（ ）タイプ 接着の程度（ ・ 1類 ・ 2類 ）	
・ ミディアムデンシティファイバーボード（MDF）	表裏面の状態による区分（ ） 曲げ強さによる区分（ ） 接着剤による区分（ ） 難燃性による区分（ ）	

表面板の厚さ ※改修標準仕様書表5. 7. 6Iによる

引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用 ・ 適用する ・ 適用しない

・ かまち戸

かまち樹種（ ） 鏡板樹種（ ）

見込み寸法 ※ 建具表による

・ ふすま

振りの種別（ ・ I型 ・ II型）

上張り（押入等の裏側以外） ・ 鳥の子 ・ 新鳥の子又はビニル紙程度

縁仕上げ ・ 塗り縁 ・ 生地縁（素地） ・ 生地縁（ウレタンクリヤー塗装）

見込み寸法 ※ 建具表による

・ 戸ぶすま 見込み寸法 ※ 建具表による

・ 縁張り障子 見込み寸法 ※ 建具表による

枠の材料 ※ 木製枠（6章内装改修工事による）

・ 鋼製枠（※亜鉛めっき鋼板 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板）

くつずりの材料 ・ ステンレス鋼板 ・ 木製

18木製建具

[5. 7. 2～4]

建具材の加工、組立時の含水率 ※ A種 ・

建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量

※ F☆☆☆☆

・ フラッシュ戸

表面材のホルムアルデヒド放散量等 ※標準仕様書表16. 7. 2(2) (4) (a) による

表面材の合板の品質等

合板の種類	規格等	備考
○ 普通合板	表面の樹種 生地、透明塗料塗り （ ※ ラワン合板程度 ・ ） 不透明塗料塗り （ ※ しな合板程度 ・ ） 板面の品質（ ※ 広葉樹 1等 ・ ） 接着の程度（ ・ 1類 ・ 2類 ）	
・ 天然木化粧合板	樹種名（ ） 接着の程度（ ・ 1類 ・ 2類 ）	
・ 特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 （ ・ オーバーレイ ・ プリント ・ 塗装） 表面性能（ ）タイプ 接着の程度（ ・ 1類 ・ 2類 ）	
・ ミディアムデンシティファイバーボード（MDF）	表裏面の状態による区分（ ） 曲げ強さによる区分（ ） 接着剤による区分（ ） 難燃性による区分（ ）	

表面板の厚さ ※改修標準仕様書表5. 7. 6Iによる

引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用 ・ 適用する ・ 適用しない

・ かまち戸

かまち樹種（ ） 鏡板樹種（ ）

見込み寸法 ※ 建具表による

・ ふすま

振りの種別（ ・ I型 ・ II型）

上張り（押入等の裏側以外） ・ 鳥の子 ・ 新鳥の子又はビニル紙程度

縁仕上げ ・ 塗り縁 ・ 生地縁（素地） ・ 生地縁（ウレタンクリヤー塗装）

見込み寸法 ※ 建具表による

・ 戸ぶすま 見込み寸法 ※ 建具表による

・ 縁張り障子 見込み寸法 ※ 建具表による

枠の材料 ※ 木製枠（6章内装改修工事による）

・ 鋼製枠（※亜鉛めっき鋼板 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板）

くつずりの材料 ・ ステンレス鋼板 ・ 木製

5	19	ガラス	(3、7、5、14、2〜4) (図5.14.1) 下記のガラス以外の品種、厚さの呼びによる種類等 ※建具による ・ 合わせガラスの材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ及び特性による種類 ※下記以外は建具表による ・ 材料板ガラスの種類、組合せ ・ フロート板、フロート板合わせガラス 強化ガラスの形状による種類、材料板ガラスの種類による名称及び特性による種類 ※下記以外は建具表による 材料板ガラスによる種類による名称 ・ フロート強化ガラス ・ ・ 熱線吸収板ガラスの板ガラスによる種類、厚さによる種類及び性能による種類 ※下記以外は建具表による 材料板ガラスによる種類 ・ 熱線吸収フロート板ガラス ・ 熱線吸収網入り磨き板ガラス 複層ガラスの材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ ※下記以外は建具表による 断熱性による区分 ・ T1 ・ T2 ・ T3 ・ T4 ・ T5 ・ T6 封入気体の種類 ・ 空気 ・ アルゴン 日射取得性、日射遮蔽性による区分 ・ G ・ S 熱線反射ガラスの材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ※下記以外は建具表による 材料板ガラスによる種類 日射熱遮蔽性による区分 ・ 1種 ・ 2種 ・ 3種 色調 (・ ブルー ・ グレー ・) ・ 2種 ・ A類 ・ B類 ・ B類 反射皮膜面 ・ 内面 ・ 外面 映像調整 ・ 行わない ・ 行う ガラスの留め材及び溝の大きさ 建具の種類 ガラス留め材 アルミニウム製 ※ シーリング材 ・ ガスケット ・ グレージングチャンネル形 鋼製及び鋼製軽量 ※ シーリング材 ステンレス製 ※ シーリング材 樹脂製 ※ シーリング材 ・ ガスケット ・ グレージングチャンネル形 耐震性能 建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による 表面形状 呼び寸法 (mm) 厚さ (mm) 色調 クリア 乳白 平面積 目地幅 (mm) 伸縮調整目地位置 (mm) 防火性能 ・ 正方形 ・ 160×160 ・ 95 ・ 125 ・ 8～15 ※標準仕様書5.14.5(2) (イ) (a) ② ・ 6mm以下 ごとに幅10～25 ・ 図示 ・ 無し ・ 有り ・ 200×200 ・ 95 ・ 125 壁用金属枠及び補強材の材質・形状 ※ 図示 力骨 材質 ※ ステンレス鋼 (SUS304) 寸法 ※ 径5.5mm 形状 ※ はしご形状筋筋及び単筋 化粧目地モルタルの色 (・) シーリングの種類 (・) 金属製化粧カバー 材質 ・ ステンレス製 ・ アルミニウム製 寸法 ※ 図示 形状 ※ 図示 木下地の場合のアンカー等の取付け間隔 工法 1章 適用区分による風圧力の (・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3) 倍の風圧力に対応した工法 目地部の横力骨の納まり ※ガラスブロック製造所の仕様による 品質 JIS A5759による	6	内装改修工事	⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ㏀ ㏁ ㏂ ㏃ ㏄ ㏅ ㏆ ㏇ ㏈ ㏉ ㏊ ㏋ ㏌ ㏍ ㏎ ㏏ ㏐ ㏑ ㏒ ㏓ ㏔ ㏕ ㏖ ㏗ ㏘ ㏙ ㏚ ㏛ ㏜ ㏝ ㏞ ㏟ ㏠ ㏡ ㏢ ㏣ ㏤ ㏥ ㏦ ㏧ ㏨ ㏩ ㏪ ㏫ ㏬ ㏭ ㏮ ㏯ ㏰ ㏱ ㏲ ㏳ ㏴ ㏵ ㏶ ㏷ ㏸ ㏹ ㏺ ㏻ ㏼ ㏽ ㏾ ㏿ 㐀 㐁 㐂 㐃 㐄 㐅 㐆 㐇 㐈 㐉 㐊 㐋 㐌 㐍 㐎 㐏 㐐 㐑 㐒 㐓 㐔 㐕 㐖 㐗 㐘 㐙 㐚 㐛 㐜 㐝 㐞 㐟 㐠 㐡 㐢 㐣 㐤 㐥 㐦 㐧 㐨 㐩 㐪 㐫 㐬 㐭 㐮 㐯 㐰 㐱 㐲 㐳 㐴 㐵 㐶 㐷 㐸 㐹 㐺 㐻 㐼 㐽 㐾 㐿 㑀 㑁 㑂 㑃 㑄 㑅 㑆 㑇 㑈 㑉 㑊 㑋 㑌 㑍 㑎 㑏 㑐 㑑 㑒 㑓 㑔 㑕 㑖 㑗 㑘 㑙 㑚 㑛 㑜 㑝 㑞 㑟 㑠 㑡 㑢 㑣 㑤 㑥 㑦 㑧 㑨 㑩 㑪 㑫 㑬 㑭 㑮 㑯 㑰 㑱 㑲 㑳 㑴 㑵 㑶 㑷 㑸 㑹 㑺 㑻 㑼 㑽 㑾 㑿 㒀 㒁 㒂 㒃 㒄 㒅 㒆 㒇 㒈 㒉 㒊 㒋 㒌 㒍 㒎 㒏 㒐 㒑 㒒 㒓 㒔 㒕 㒖 㒗 㒘 㒙 㒚 㒛 㒜 㒝 㒞 㒟 㒠 㒡 㒢 㒣 㒤 㒥 㒦 㒧 㒨 㒩 㒪 㒫 㒬 㒭 㒮 㒯 㒰 㒱 㒲 㒳 㒴 㒵 㒶 㒷 㒸 㒹 㒺 㒻 㒼 㒽 㒾 㒿 㓀 㓁 㓂 㓃 㓄 㓅 㓆 㓇 㓈 㓉 㓊 㓋 㓌 㓍 㓎 㓏 㓐 㓑 㓒 㓓 㓔 㓕 㓖 㓗 㓘 㓙 㓚 㓛 㓜 㓝 㓞 㓟 㓠 㓡 㓢 㓣 㓤 㓥 㓦 㓧 㓨 㓩 㓪 㓫 㓬 㓭 㓮 㓯 㓰 㓱 㓲 㓳 㓴 㓵 㓶 㓷 㓸 㓹 㓺 㓻 㓼 㓽 㓾 㓿 㔀 㔁 㔂 㔃 㔄 㔅 㔆 㔇 㔈 㔉 㔊 㔋 㔌 㔍 㔎 㔏 㔐 㔑 㔒 㔓 㔔 㔕 㔖 㔗 㔘 㔙 㔚 㔛 㔜 㔝 㔞 㔟 㔠 㔡 㔢 㔣 㔤 㔥 㔦 㔧 㔨 㔩 㔪 㔫 㔬 㔭 㔮 㔯 㔰 㔱 㔲 㔳 㔴 㔵 㔶 㔷 㔸 㔹 㔺 㔻 㔼 㔽 㔾 㔿 㕀 㕁 㕂 㕃 㕄 㕅 㕆 㕇 㕈 㕉 㕊 㕋 㕌 㕍 㕎 㕏 㕐 㕑 㕒 㕓 㕔 㕕 㕖 㕗 㕘 㕙 㕚 㕛 㕜 㕝 㕞 㕟 㕠 㕡 㕢 㕣 㕤 㕥 㕦 㕧 㕨 㕩 㕪 㕫 㕬 㕭 㕮 㕯 㕰 㕱 㕲 㕳 㕴 㕵 㕶 㕷 㕸 㕹 㕺 㕻 㕼 㕽 㕾 㕿 㖀 㖁 㖂 㖃 㖄 㖅 㖆 㖇 㖈 㖉 㖊 㖋 㖌 㖍 㖎 㖏 㖐 㖑 㖒 㖓 㖔 㖕 㖖 㖗 㖘 㖙 㖚 㖛 㖜 㖝 㖞 㖟 㖠 㖡 㖢 㖣 㖤 㖥 㖦 㖧 㖨 㖩 㖪 㖫 㖬 㖭 㖮 㖯 㖰 㖱 㖲 㖳 㖴 㖵 㖶 㖷 㖸 㖹 㖺 㖻 㖼 㖽 㖾 㖿 㗀 㗁 㗂 㗃 㗄 㗅 㗆 㗇 㗈 㗉 㗊 㗋 㗌 㗍 㗎 㗏 㗐 㗑 㗒 㗓 㗔 㗕 㗖 㗗 㗘 㗙 㗚 㗛 㗜 㗝 㗞 㗟 㗠 㗡 㗢 㗣 㗤 㗥 㗦 㗧 㗨 㗩 㗪 㗫 㗬 㗭 㗮 㗯 㗰 㗱 㗲 㗳 㗴 㗵 㗶 㗷 㗸 㗹 㗺 㗻 㗼 㗽 㗾 㗿 㘀 㘁 㘂 㘃 㘄 㘅 㘆 㘇 㘈 㘉 㘊 㘋 㘌 㘍 㘎 㘏 㘐 㘑 㘒 㘓 㘔 㘕 㘖 㘗 㘘 㘙 㘚 㘛 㘜 㘝 㘞 㘟 㘠 㘡 㘢 㘣 㘤 㘥 㘦 㘧 㘨 㘩 㘪 㘫 㘬 㘭 㘮 㘯 㘰 㘱 㘲 㘳 㘴 㘵 㘶 㘷 㘸 㘹 㘺 㘻 㘼 㘽 㘾 㘿 㙀 㙁 㙂 㙃 㙄 㙅 㙆 㙇 㙈 㙉 㙊 㙋 㙌 㙍 㙎 㙏 㙐 㙑 㙒 㙓 㙔 㙕 㙖 㙗 㙘 㙙 㙚 㙛 㙜 㙝 㙞 㙟 㙠 㙡 㙢 㙣 㙤 㙥 㙦 㙧 㙨 㙩 㙪 㙫 㙬 㙭 㙮 㙯 㙰 㙱 㙲 㙳 㙴 㙵 㙶 㙷 㙸 㙹 㙺 㙻 㙼 㙽 㙾 㙿 㚀 㚁 㚂 㚃 㚄 㚅 㚆 㚇 㚈 㚉 㚊 㚋 㚌 㚍
---	----	-----	--	---	--------	---

9	石綿含有建材の除去工事	[9. 1. 1. 3 ～ 5]				3	断熱・防露改修工事	[9. 3. 2 ～ 4]				10	その他	1	フリーアクセスフロア	(2 0. 2. 2)				2	表示	(2 0. 2. 1 1)								
		・ 石綿粉じん濃度測定 測定時期、場所及び測定点						フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆ ・ 断熱材打込み工法								構造						案内用図記号はJIS Z 8210Iによる。 誘導標識、非常用進入口等の表示 ※消防法に適合する市販品 ・ 窓名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等 ※ 図示								
		適用	測定名称	測定時期	測定場所			測定点 (各施工箇所ごと)	種類							厚さ (mm)						施工箇所								
		・ 測定 1	処理作業前	処理作業室内	・ 計 点			・ ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材								・ 25						・								
		・ 測定 2		調査対象室外部の付近	・ 計 点			※ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材 (スキン層なし)								※ 2種bA						※ 25				※ 外壁				
		・ 測定 3	処理作業中	処理作業室内	・ 計 点											・ 3種bA						・ 25				※ スラブ				
		※ 測定 4		セキユリチゾーン入口	・ 計 点											・ 3種bC						・				・				
		※ 測定 5		集じん・排気装置の排出口 (処理作業室外の場合)	出口吹出し風速 1m/ s 以下の位置			・ 計 点								・ 3種bD						・				・				
		※ 測定 6		処理作業室外	・ 施工区画周辺 ・ 敷地境界			・ 計 点	・ 硬質ウレタンフォーム断熱材							・ 25						・				・				
		※ 測定 7	処理作業後 (シート養生中)	処理作業室内	・ 計 点			・ フェノールフォーム断熱材								・ 25						・				・				
・ 測定 8	処理作業後 (シート撤去後 1週間以降)	調査対象室外部の付近	・ 計 点	施工箇所の詳細は、仕上表及び図示による																										
測定方法				自動測定器による測定																										
測定名称		測定方法																												
・ 測定 4	測定 5	粉じん相対濃度計 (デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器 (リアルタイムファイバーモニター) 等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定																												
・ 測定 ()																														
・ JIS K 3850-1Iに基づいた測定																														
測定名称		メンブレンフィルタ直径 (mm)		試料の吸引流量 (l / m i n)		試料の吸引時間 (m i n)																								
・ 測定 4	測定 5	測定 ()	25	5	30																									
・ 測定 ()			47	10	120																									
・ 測定 ()			47	10	240																									
・ 測定 ()																														
石綿含有建材の処理																														
・ 石綿含有吹付け材の除去 (石綿含有保温材等を切断又は破砕して除去する場合を含む)																														
除去対象範囲 ※ 図示																														
除去工法 ※ 改修標準仕様書9.1.3(2) (7) による																														
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※ 湿潤化 ・ 固形化																														
除去した石綿含有吹付け材等の処分																														
・ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)																														
なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により、上記の指定によりがたい場合は、監督職員と協議すること。																														
・ 石綿含有保温材等の除去 (石綿含有けい酸カルシウム板第2種を含む)																														
除去対象範囲 ※ 図示																														
除去工法 ※ 原形のまま、手ばらし ・ 破砕して除去																														
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置 ※ 湿潤化 ・ 固形化																														
除去した石綿含有保温材等の処分																														
・ 埋立処分 (管理型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)																														
・ 石綿含有成形板等けい酸カルシウム板第1種の切断、破砕等による除去																														
除去対象範囲 ※図示																														
隔離養生 (負圧不要) 方法 ※ 図示																														
足場 ※ 図示																														
除去した石綿含有けい酸カルシウム板第1種の処分																														
・ 埋立処分 (安定型最終処分場) ・ 中間処理 (溶融施設又は無害化処理施設)																														
・ 石綿含有成形板の除去 (石綿含有けい酸カルシウム板第1種の手ばらしによる除去を含む)																														
除去対象範囲 ※図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														
養生 ※ 図示																														

計 画 概 要		凡 例				防 火 性 能 認 定 番 号		特 記 事 項							
建物概要		一 般	C M E M C B S L G S W S G P V P V U V B G L A s R D S F T B C B S B L B	: コンクリート : モルタル : エポキシ樹脂系モルタル : コンクリートブロック : 鉄骨 : 軽量鉄骨(一般形鋼、軽量形鋼) : 木組下地 : 配管用炭素鋼鋼管 : 硬質塩化ビニル管(一般管) : 硬質塩化ビニル管(薄肉管) : バイブレーション仕上(ステンレス) : カラーガルバリウム鋼板 : アスファルト : ルーフドレン : 鋼製床組 : トイレブース : カーテンボックス : スクリーンボックス : ライトボックス	左 官	R E : 可とう形改修塗材 R E 外薄塗材 E : 外装合成樹脂エマルジョン系薄付け仕上塗材 複層塗材 E : 合成樹脂エマルジョン系複層仕上塗材		G B－R 厚9.5 : 準不燃 Q M－9828 G B－R 厚12.5～15.0 : 不燃 N M－8619 G B－F 厚9.5～25.0 : 不燃 N M－8615 G B－R H 厚9.5 : 不燃 N M－8645 G B－N C 厚9.5 : 不燃 N M－8613 G B－S 厚9.5～16.0 : 準不燃 Q M－9826 G B－D 厚9.5 : 準不燃 Q M－9824 G B－D 厚12.5～15.0 : 不燃 N M－8614 D R 厚9.0 : 不燃 N M－8599 G W－F : 不燃 N M－8600 G W－B : 不燃 N M－8600 ケイカル板 厚5～12.0 : 不燃 N M－8576		1. 特記なき限り、撤去する周囲にはカッター入を行う。 2. 内部仕上表の下地欄()は既設部分を示す。 3. 御影石の表面仕上げは水磨きとする。 4. 御影石、分電盤等の受注生産品、は納期に留意して発注すること。 5. 6. 7. 8.					
施設名称 建物用途 面積						グリーンヒルおおさ 「G H O」 建築基準法: 宿泊施設 消防用途: (5) 項イ 旅館 建築面積: 683.63㎡ 延床面積: 875.28㎡(1 階: 601.89㎡、2 階: 273.39㎡)		S O P : 合成樹脂調合ペイント塗 O P : 油性調合ペイント塗 V E : 塩化ビニル樹脂エナメル塗 C L : クリヤラッカー F E : フタル酸樹脂エナメル塗 N A D : アクリル樹脂系非水分散形塗料塗 A E : アクリル樹脂エナメル D P : 耐候性塗料塗 E P－G : つや有合成樹脂エマルジョンペイント塗 E P : 合成樹脂エマルジョンペイント塗 E P－T : 合成樹脂エマルジョン模様塗料塗 U C : ウレタン樹脂ワニス塗 M R : マスチック塗材塗 O S : オイルステイン塗 W P : 木材保護塗料塗 E P－A B : 吹付け水性高機能環境配慮型塗料		石綿含有建材 レベル3 : ソフト巾木、ビニルクロス レベル3(みなし): ビニル床タイル厚2.0、ビニル床シート、石綿板厚6.0、バスリブ厚9.0、G B－D 厚9 石綿事前調査者: A K 建築設計事務所 小泉満(修了番号: 2306220711、講習機関名: S A T 株式会社)					
構造 建物高さ 建蔽率 容積率 その他						R C 造 2 階建て 軒高: 8.00m、最高高さ: 10.62m #敷地 説明 建 設 : 1988年(昭和63年)		塗 装		シ ー リ ン グ		参 考 品 番			
工事概要						ボード類		シ ー リ ン グ		床 壁 天井 外構		磁器質モザイクタイル: L I X I L サーマタイル ミルキーD X II SUSグレーチング細目: 中部コーボレーション 一般溝ecoタイプ ローレット加工 SUS排水溝: ダイクレ ビット用みぞぶたプレートタイプ NPD-B-10、PZ(受枠) メラミン不燃化粧板: アイカ セラールウィルテクト 磁器質タイル: L I X I L アルコディ U バスリブ: フクビ 親水バスパネル B T j			
外 部 仕 上 表 (改 修 前 ・ 後)															
部 位		改 修 前			改 修 後			部 位		改 修 前			改 修 後		
屋根		和型瓦葺き、雪止め、瓦桟木 既設のまま アスファルトルーフィング22kg下葺き スカイM厚40下地 既設のまま 棟瓦: がんぶり瓦、のし瓦4段 既設のまま						外 構		庭石一部 撤去 楠木一部 撤去 樋込立上り: C厚150 一部撤去 樋込 一部撤去 A s厚50 路盤 一部撤去			樋込立上り: 複層塗材 E C打放し 一部新設 階段: C直均し 新設、砕石埋戻し 段鼻: ノンスリップ金コテ押え 新設		
軒裏		外薄塗材 E C打放し 既設のまま													
外壁		外薄塗材 E C打放し 既設のまま、一部水洗い(デッキブラシ) アプローチ廻り: 一部磁器質タイル M下地 既設のまま													
根廻り		C打放し 既設のまま													
バルコニー		床: 防水M金コテ 既設のまま 鼻: 外薄塗材 E C打放し 既設のまま アルミ製手すり 既設のまま													
屋外階段		鉄骨現し 既設のまま													
ポーチ		床: 磁器質タイル M下地 既設のまま													
樋		軒樋: フッ素銅板厚0.4加工 既設のまま、一部水洗い(デッキブラシ) 壁樋: S O P 塗 S G P－80A 既設のまま			外壁、樋取合い部ウレタン塗膜防水(X－2)補修 一部カラーV P100新設(壁樋延長)										

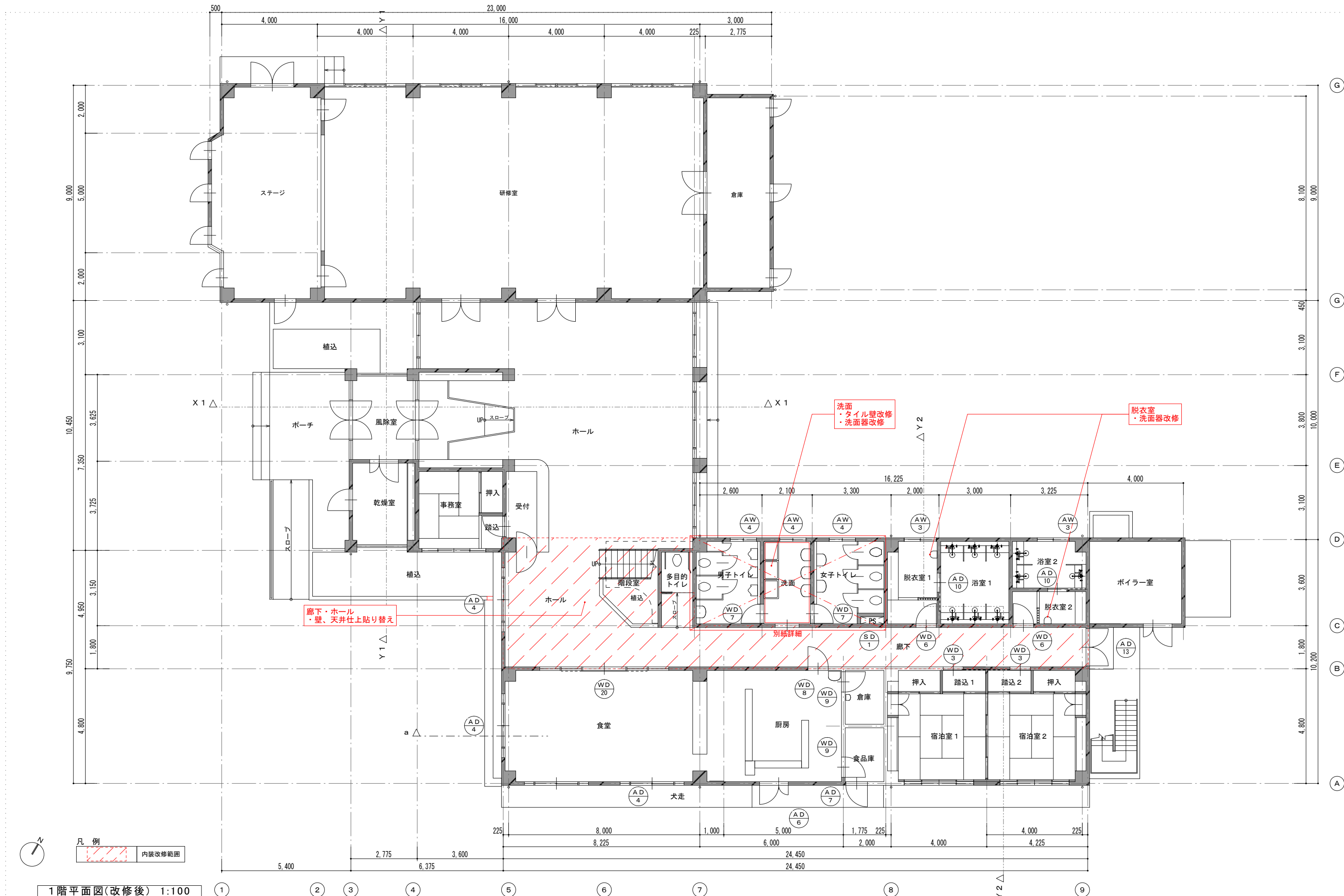
内 部 仕 上 表 (改 修 前 ・ 後)														
階 数	室 名	区 分	床			巾 木	壁			天 井			天井高	備 考
			下地	仕 上	床高		下地	仕 上	腰高	下地	仕 上	廻縁		
1 階	風除室	改修前	C＋M	磁器質タイル 既設のまま	0		C＋M	100角タイル 既設のまま	0	L G S	アルミルーバー 既設のまま	塩ビ製 既設	-	
		改修後	(C＋M)	(磁器質タイル)	0		(C＋M)	(100角タイル)	0	(L G S)	(アルミルーバー)	塩ビ製 既設	-	
	乾燥室	改修前	C＋M	磁器質タイル 既設のまま	0		C＋M	タイル 既設のまま ガラスブロック 既設のまま	0	L G S	岩綿吸音板厚12 G B－R厚9捨て貼り 既設のまま	塩ビ製 既設	-	(室名札)既設のまま
		改修後	(C＋M)	(磁器質タイル)	0		(C＋M)	(タイル) (ガラスブロック)	0	(L G S)	(岩綿吸音板厚12 G B－R厚9捨て貼り)	(塩ビ製)	-	(室名札)
	玄関	改修前	C＋M	磁器質タイル 既設のまま	0	ソフト巾木H75 既設のまま	C	ビニルクロス 既設のまま	0	L G S	岩綿吸音板厚12 G B－R厚9捨て貼り 既設のまま	塩ビ製 既設	-	(下足箱)既設のまま
		改修後	(C＋M)	(磁器質タイル)	0	(ソフト巾木H75)	(C)	(ビニルクロス)	0	(L G S)	(岩綿吸音板厚12 G B－R厚9捨て貼り)	(塩ビ製)	-	(下足箱)
	ホール・階段	改修前	C＋M	カーペット敷き 既設のまま	0	ソフト巾木H75 撤去	C	ビニルクロス 一部撤去 外部側：ビニルクロス 一部撤去 普通合板厚5.5 既設のまま	0	L G S	岩綿吸音板厚12 G B－R厚9捨て貼り 一部撤去	塩ビ製 既設	-	(防煙垂れ壁、CB)既設のまま
		改修後	(C＋M)	(カーペット敷き)	0	ソフト巾木H75 新設	(C)	(ビニルクロス) 外部側：(ビニルクロス 普通合板厚5.5)	0	(L G S)	(岩綿吸音板厚12 G B－R厚9捨て貼り)	(塩ビ製)	-	(防煙垂れ壁、CB) (天井点検口φ450)新設
	廊下	改修前	C＋M	カーペット敷き 既設のまま	0	ソフト巾木H75 撤去	C	ビニルクロス 撤去 ビニルクロス 撤去 G B－R厚12 既設のまま	0	L G S	ビニルクロス 撤去 G B－R厚9 既設のまま	塩ビ製 既設	-	
		改修後	(C＋M)	(カーペット敷き)	0	ソフト巾木H75 新設	(C)	(ビニルクロス) (ビニルクロス G B－R厚12)	0	(L G S)	ビニルクロス 新設 (G B－R厚9)	塩ビ製 既設	-	(天井点検口φ450)新設
	事務室	改修前	C＋M	畳敷き厚55 既設のまま 踏込み：ビニル床タイル 既設のまま	55	畳寄せ 既設のまま 木製H55 既設のまま	C	ビニルクロス G B－R厚12 既設のまま 外部側：ビニルクロス 普通合板厚5.5 既設のまま	0	L G S	和風化粧合板目透し 既設のまま	木製 既設	-	(CB、室名札)既設のまま
		改修後	(C＋M)	(畳敷き厚55) 踏込み：(ビニル床タイル)	55	(畳寄せ) (木製H55)	(C)	(ビニルクロス G B－R厚12) 外部側：(ビニルクロス 普通合板厚5.5)	0	(L G S)	(和風化粧合板目透し)	(木製)	-	(CB、室名札)
	宿泊室1、2	改修前	C＋M	畳敷き厚55 既設のまま 踏込み：カーペット敷き 既設のまま	55	畳寄せ 既設のまま 木製H55 既設のまま	C	ビニルクロス 既設のまま ビニルクロス G B－R厚12 既設のまま	0	L G S	和風化粧合板目透し G B－R厚9捨て張り 既設のまま	木製 既設	-	(室名札、洋服入、床の間)既設のまま
		改修後	(C＋M)	(畳敷き厚55) 踏込み：(カーペット敷き)	55	(畳寄せ) (木製H55)	(C)	(ビニルクロス) (ビニルクロス G B－R厚12)	0	(L G S)	(和風化粧合板目透し G B－R厚9捨て張り)	(木製)	-	(室名札、洋服入、床の間)
食堂	改修前	C＋M	ビニル床タイル 既設のまま	0	ソフト巾木H75 既設のま ま	C	ビニルクロス 撤去 外部側：ビニルクロス 撤去 普通合板厚5.5 既設のまま	0	L G S	岩綿吸音板厚12 G B－R厚9捨て貼り 既設のまま	塩ビ製 既設	-	(CB、室名札、TVハンガー)既設のまま	
	改修後	(C＋M)	(ビニル床タイル)	0	(ソフト巾木H75)	(C)	ビニルクロス 新設 外部側：ビニルクロス 新設 下地調整共(普通合板厚5.5)	0	(L G S)	(岩綿吸音板厚12 G B－R厚9捨て貼り)	(塩ビ製)	-	(CB、室名札、TVハンガー) (天井点検口φ450)新設	
厨房	改修前	C＋M	エポキシ系塗床	-100		C＋M	メラミン化粧合板厚3.0	0	L G S	EP－G塗 石綿板厚6 既設のまま	塩ビ製 既設	-	(室名札、カウンター)既設のまま、(グレーチング)既設のまま	
	改修後	(C＋M)	(エポキシ系塗床)	-100		(C＋M)	(メラミン化粧合板厚3.0)	0	(L G S)	(EP－G塗 石綿板厚6)	(塩ビ製)	-	(室名札、カウンター)、(SUSグレーチング)	
倉庫(厨)	改修前	C＋M	エポキシ系塗床 既設のまま	0	木製H55 既設のまま	C	C素地 既設のまま	0	L G S	EP塗 G B－D厚9 既設のまま	塩ビ製 既設	-	(室名札)既設のまま、(棚)撤去	
	改修後	(C＋M)	(エポキシ系塗床)	0	(木製H55)	C	(C素地)	0	(L G S)	(EP塗 G B－D厚9)	(塩ビ製)	-	(室名札)	
食品庫	改修前		エポキシ系塗床 既設のまま	0			C打放し 既設のまま	0	L G S	EP塗 石綿板厚6 既設のまま	塩ビ製 既設	-	(流し台)既設のまま	
	改修後		(エポキシ系塗床)	0			(C打放し)	0	(L G S)	EP塗替え (石綿板厚6)	(塩ビ製)	-	(流し台)	
脱衣室1、2	改修前	C＋M	ビニル床シート 既設のまま	0	ソフト巾木H75 既設のまま	C	ビニルクロス 既設のまま 外部側：ビニルクロス 普通合板厚5.5 既設のまま	0	L G S	EP塗 石綿板厚6 既設のまま	塩ビ製 既設	-	(格子仕切、脱衣棚)既設のまま	
	改修後	(C＋M)	(ビニル床シート)	0	(ソフト巾木H75)	(C)	(ビニルクロス) 外部側：(ビニルクロス 普通合板厚5.5)	0	(L G S)	(EP塗 石綿板厚6)	(塩ビ製)	-	(格子仕切、脱衣棚)	
浴室1、2	改修前	C＋M 一部撤去	磁器質モザイクタイル 既設のまま	-50		C＋M	バスパネル 既設のまま	0	L G S	バスリブ厚9、防湿シート 既設のまま	アルミ製 既設	-	(室名札)、(面台、桶台、隔て壁)既設のまま	
	改修後	(C＋M)	(磁器質モザイクタイル)	-50		(C＋M)	(バスパネル)	0	(L G S)	(バスリブ厚9、防湿シート)	(アルミ 製)	-	(室名札)、(面台、桶台、隔て壁)	



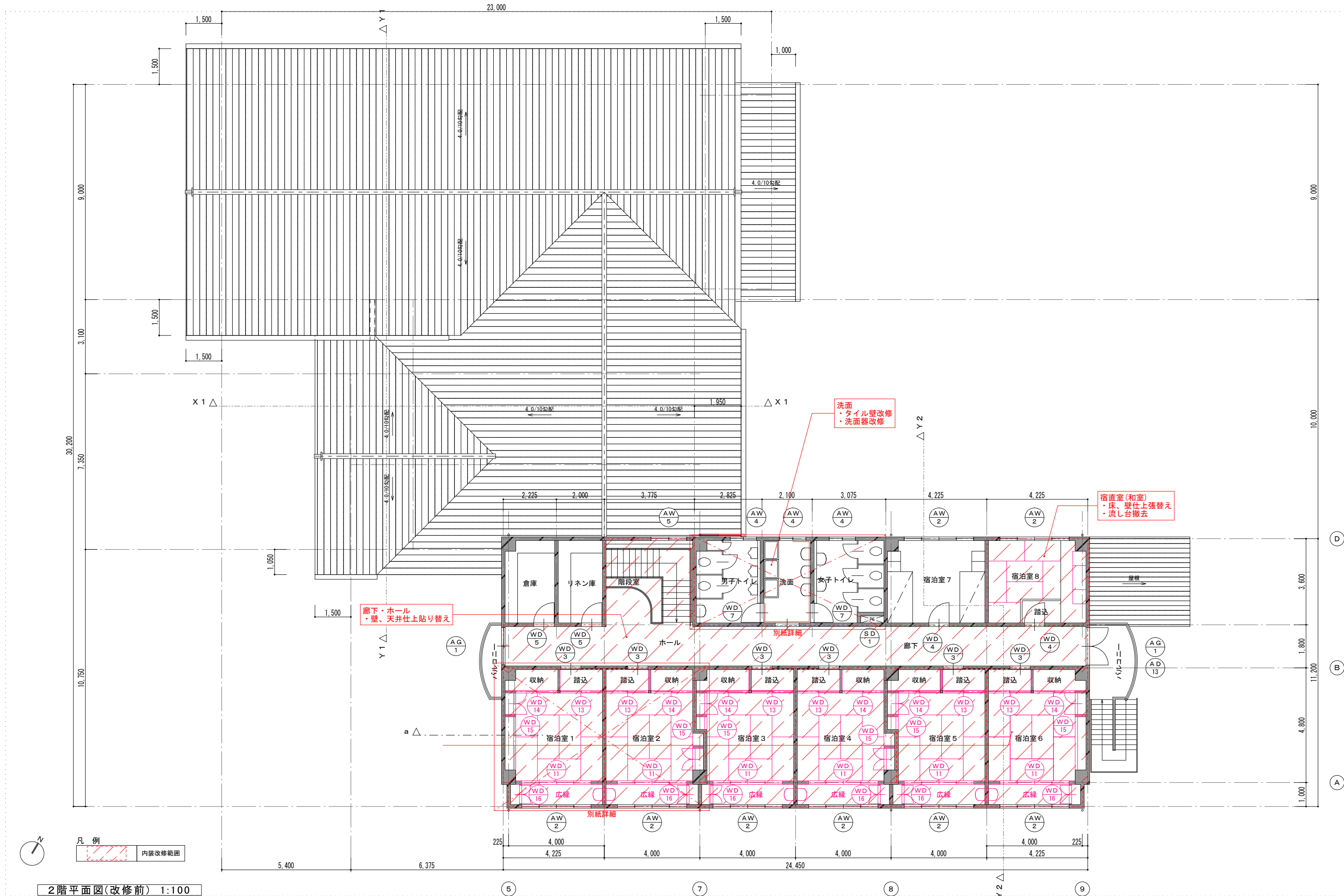
内 部 仕 上 表 (改 修 前 ・ 後)														
階 数	室 名	区 分	床			巾 木	壁			天 井			天井高	備 考
			下地	仕 上	床高		下地	仕 上	腰高	下地	仕 上	廻縁		
1 階	多目的トイレ	改修前	C＋M	モザイクタイル 既設のまま	-100		C＋M	磁器質タイル 既設のまま	0	L.G.S	GB－D厚9 既設のまま	塩ビ製 既設	-	(室名札)既設のまま
		改修後	(C＋M)	(モザイクタイル)	-100		(C＋M)	(磁器質タイル)	0	(L.G.S)	(GB－D厚9)	(塩ビ製)	-	(室名札)
	研修室	改修前	W	複合フローリング 既設のまま	0	ソフト巾木H75 既設のまま	C＋M	ビニルクロス 既設のまま 外部側：ビニルクロス 普通合板厚5.5 既設のまま	0	L.G.S	岩綿吸音板厚12 GB－R厚9捨て貼り 既設のまま	塩ビ製 既設	-	(CB、室名札)既設のまま
		改修後	(W)	(複合フローリング)	0	(ソフト巾木H75)	(C＋M)	(ビニルクロス) 外部側：(ビニルクロス 普通合板厚5.5)	0	(L.G.S)	(岩綿吸音板厚12 GB－R厚9捨て貼り)	(塩ビ製)	-	(CB、室名札)
	ステージ	改修前	W	複合フローリング 既設のまま	200	ソフト巾木H75 既設のまま	C＋M	ビニルクロス 既設のまま 外部側：ビニルクロス 普通合板厚5.5 既設のまま	0	L.G.S	岩綿吸音板厚12 GB－R厚9捨て貼り 既設のまま	塩ビ製 既設	-	(CB)既設のまま
		改修後	(W)	(複合フローリング)	200	(ソフト巾木H75)	(C＋M)	(ビニルクロス) 外部側：(ビニルクロス 普通合板厚5.5)	0	(L.G.S)	(岩綿吸音板厚12 GB－R厚9捨て貼り)	(塩ビ製)	-	(CB)
	控室1、2	改修前	W	複合フローリング 既設のまま	200	ソフト巾木H75 既設のまま	C＋M	ビニルクロス 既設のまま 外部側：ビニルクロス 普通合板厚5.5 既設のまま	0	L.G.S	岩綿吸音板厚12 GB－R厚9捨て貼り 既設のまま	塩ビ製 既設	-	(CB)既設のまま
		改修後	(W)	(複合フローリング)	200	(ソフト巾木H75)	(C＋M)	(ビニルクロス) 外部側：(ビニルクロス 普通合板厚5.5)	0	(L.G.S)	(岩綿吸音板厚12 GB－R厚9捨て貼り)	(塩ビ製)	-	(CB)
	倉庫	改修前	C	M金コテ 既設のまま	0			C打放し 既設のまま	0		C打放し 既設のまま		-	
		改修後	(C)	(M金コテ)	0			(C打放し)	0		(C打放し)		-	
	洗面(共通)	改修前	C＋M	ビニル床シート 既設のまま	0		C＋M	100角タイル 撤去 一部化粧ケイカル板厚6(2階) 既設のまま	0	L.G.S	GB－D厚9 既設のまま	塩ビ製 既設	-	(室名札)既設のまま (乾燥機架台、洗濯機、乾燥機)取外し(1階)、既設のまま(2階)
		改修後	(C＋M)	(ビニル床シート)	0		(C＋M)	化粧ケイカル厚6 新設 下地調整共	0	(L.G.S)	(GB－D厚9)	(塩ビ製)	-	(室名札) (乾燥機架台、洗濯機、乾燥機)再取付(1階)
男子トイレ(共通)	改修前	C＋M	モザイクタイル 一部撤去	-100		C＋M	100角タイル 既設のまま	0	L.G.S	GB－D厚9 一部撤去	塩ビ製 既設	-	(室名札、TB)既設のまま	
	改修後	(C＋M)	モザイクタイル 一部新設	-100		(C＋M)	(100角タイル)	0	(L.G.S)	GB－D厚9 一部新設	(塩ビ製)	-	(室名札、TB)	
女子トイレ(共通)	改修前	C＋M	モザイクタイル 一部撤去	-100		C＋M	100角タイル 既設のまま	0	L.G.S	GB－D厚9 一部撤去	塩ビ製 既設	-	(室名札、TB)既設のまま	
	改修後	(C＋M)	モザイクタイル 一部新設	-100		(C＋M)	(100角タイル)	0	(L.G.S)	GB－D厚9 一部新設	(塩ビ製)	-	(室名札、TB)	
物入、押入(共通)	改修前	W	普通合板厚9 既設のまま	0		W	普通合板厚5.5 既設のまま	0	L.G.S	普通合板厚4.0 既設のまま	木製 既設	-		
	改修後	(W)	(普通合板厚9)	0		(W)	(普通合板厚5.5)	0	(L.G.S)	(普通合板厚4.0)	(木製)	-		
2 階	廊下	改修前	C＋M	カーペット敷き 既設のまま	0	ソフト巾木H75 撤去	C	ビニルクロス 撤去 ビニルクロス 撤去 GB－R厚12 既設のまま	0	L.G.S	ビニルクロス 撤去 GB－R厚9 既設のまま	塩ビ製 既設	-	
		改修後	(C＋M)	(カーペット敷き)	0	ソフト巾木H75 新設	(C)	ビニルクロス 新設 ビニルクロス 新設 (GB－R厚12)	0	(L.G.S)	(ビニルクロス 新設 (GB－R厚9)	(塩ビ製)	-	
	宿泊室1～6	改修前	W 撤去	畳敷き厚55 撤去 踏込み：カーペット敷き 既設のまま 広縁：複合フローリング 撤去	55	畳寄せ 撤去 木製H55 既設のまま	C	ビニルクロス 撤去 ビニルクロス GB－R厚12 一部撤去 外部側：ビニルクロス 撤去 普通合板厚5.5 既設のまま	0	L.G.S	和風化粧合板目透し GB－R厚9捨て張り 撤去	木製 一部撤去	-	(室名札)既設のまま (洋服入、床の間)撤去
		改修後	W床組 新設	無垢桧フローリング厚15(塗装品) 耐水合板厚12 新設 乾式二重床 新設 縁無し畳厚30、構造用合板厚24 新設 踏込み：(カーペット敷き)	55	WP塗 桧巾木H60 新設 (木製H55)	(C) L.G.S	ビニルクロス 新設 ビニルクロス GB－R厚12.5 一部新設 外部側：ビニルクロス新設 (普通合板厚5.5)	0	(L.G.S)	ビニルクロス GB－R厚9.5 新設	木製 一部新設	-	(室名札) (棚、手すり)新設
	宿泊室7	改修前	C＋M	カーペット敷き 既設のまま	0	O.S.C.L塗 木製H75 既設のまま	C	ビニルクロス 既設のまま ビニルクロス GB－R厚12 既設のまま 外部側：ビニルクロス 普通合板厚5.5 既設のまま	0	L.G.S	GB－D厚9 既設のまま	塩ビ製 既設	-	(CB、室名札、2段ベッド、ロッカー)既設のまま
		改修後	(C＋M)	(カーペット敷き)	0	(O.S.C.L塗 木製H75)	(C)	(ビニルクロス) (ビニルクロス GB－R厚12) 外部側：(ビニルクロス 普通合板厚5.5)	0	(L.G.S)	(GB－D厚9)	(塩ビ製)	-	(CB、室名札、2段ベッド、ロッカー)
宿泊室8	改修前	C＋M	カーペット敷き、複合フローリング 既設のまま 上り框 既設のまま 畳敷き厚55 撤去	55	O.S.C.L塗 木製H75 既設のまま	C	ビニルクロス 撤去 ビニルクロス 撤去 GB－R厚12 既設のまま 外部側：ビニルクロス 撤去 普通合板厚5.5 既設のまま	0	L.G.S	GB－D厚9 既設のまま	塩ビ製 既設	-	(CB、室名札)既設のまま (冷蔵庫、収納棚)取外し (流し台、コンロ台、レンジフード)撤去	
	改修後	(C＋M)	(カーペット敷き、複合フローリング) (上り框) 畳敷き厚55 新設	55	(O.S.C.L塗 木製H75)	(C)	(ビニルクロス) (ビニルクロス GB－R厚12) 外部側：(ビニルクロス 普通合板厚5.5)	0	(L.G.S)	(GB－D厚9)	(塩ビ製)	-	(CB、室名札) (冷蔵庫、収納棚)再取付	



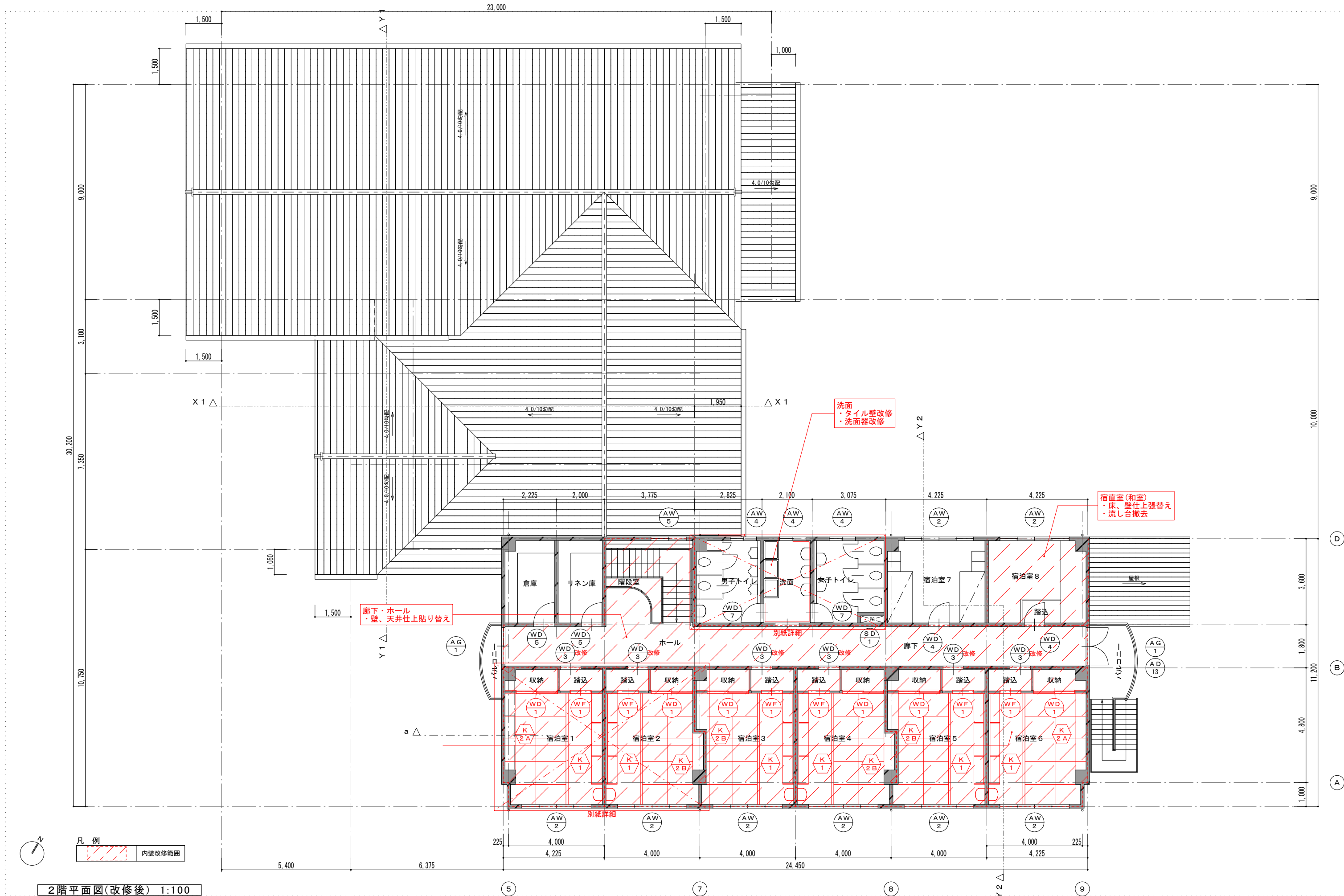
内 部 仕 上 表 （ 改 修 前 ・ 後 ）														
階 数	室 名	区 分	床			巾 木	壁			天 井			天井高	備 考
			下地	仕 上	床高		下地	仕 上	腰高	下地	仕 上	廻縁		
2 階	収納	改修前	W	普通合板厚9 既設のまま	0	雑巾摺 既設のまま	W	普通合板厚5.5 既設のまま	0	L.G.S	普通合板厚5.5 既設のまま	木製 既設	-	中段 既設のまま
		改修後	(W)	(普通合板厚9)	0	(雑巾摺)	(W)	(普通合板厚5.5)	0	(L.G.S)	(普通合板厚5.5)	(木製)	-	(中段)
	リネン庫	改修前	C	M金コテ 既設のまま	0	ソフト巾木H75 既設のまま	C	C打放し 既設のまま 普通合板厚5.5 既設のまま	0	L.G.S	石綿板厚6 既設のまま	塩ビ製 既設	-	(室名札、棚)既設のまま
		改修後	(C)	(M金コテ)	0	(ソフト巾木H75)	(C)	(C打放し) (普通合板厚5.5)	0	(L.G.S)	(石綿板厚6)	(塩ビ製)	-	(室名札、棚)
	倉庫	改修前	C	M金コテ 既設のまま	0	ソフト巾木H75 既設のまま	C	C打放し 既設のまま 普通合板厚5.5 既設のまま	0	L.G.S	石綿板厚6 既設のまま	塩ビ製 既設	-	(室名札、棚)既設のまま
		改修後	(C)	(M金コテ)	0	(ソフト巾木H75)	(C)	(C打放し) (普通合板厚5.5)	0	(L.G.S)	(石綿板厚6)	(塩ビ製)	-	(室名札、棚)



1階平面図(改修後) 1:100



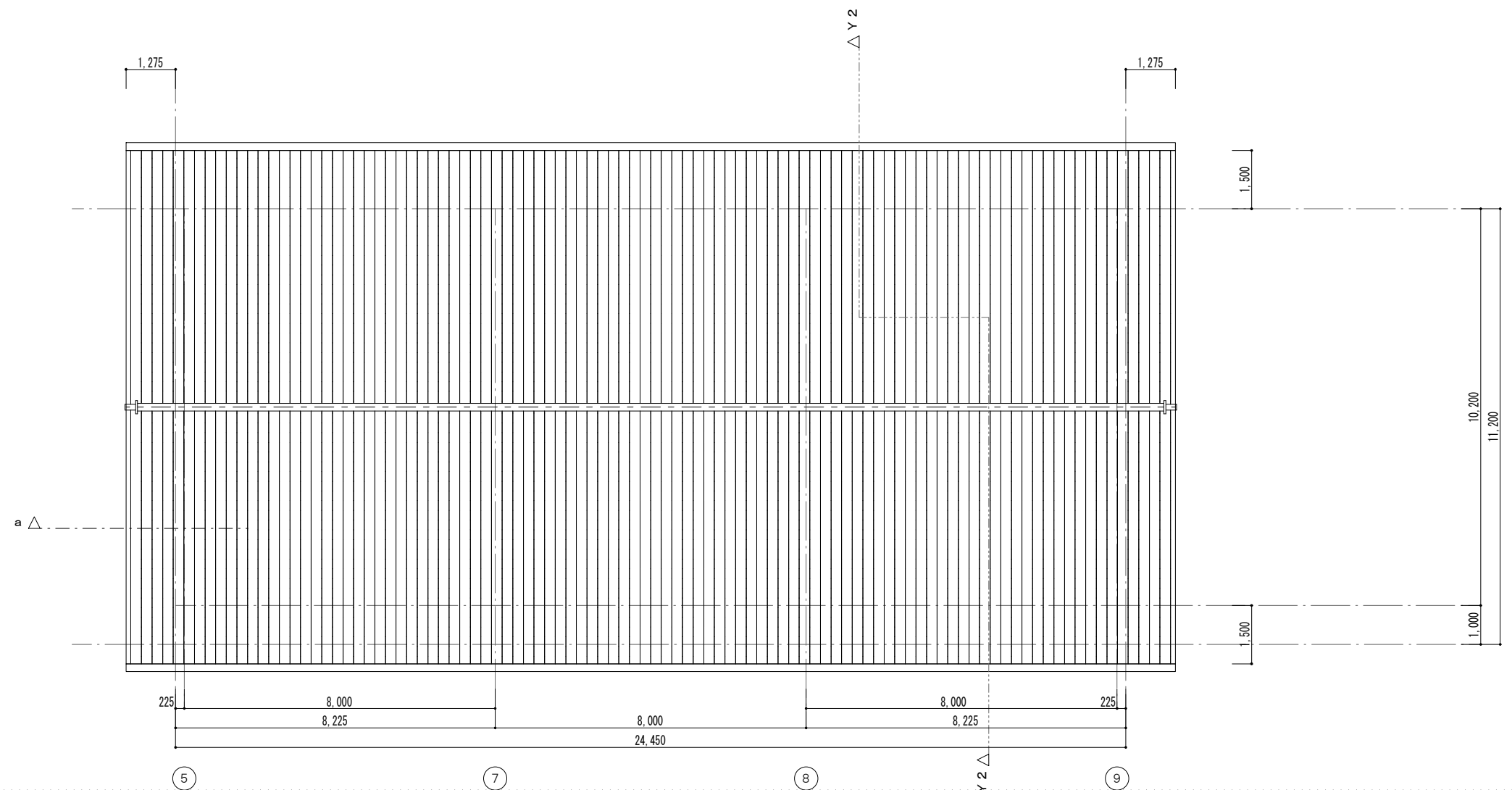
2階平面図(改修前) 1:100

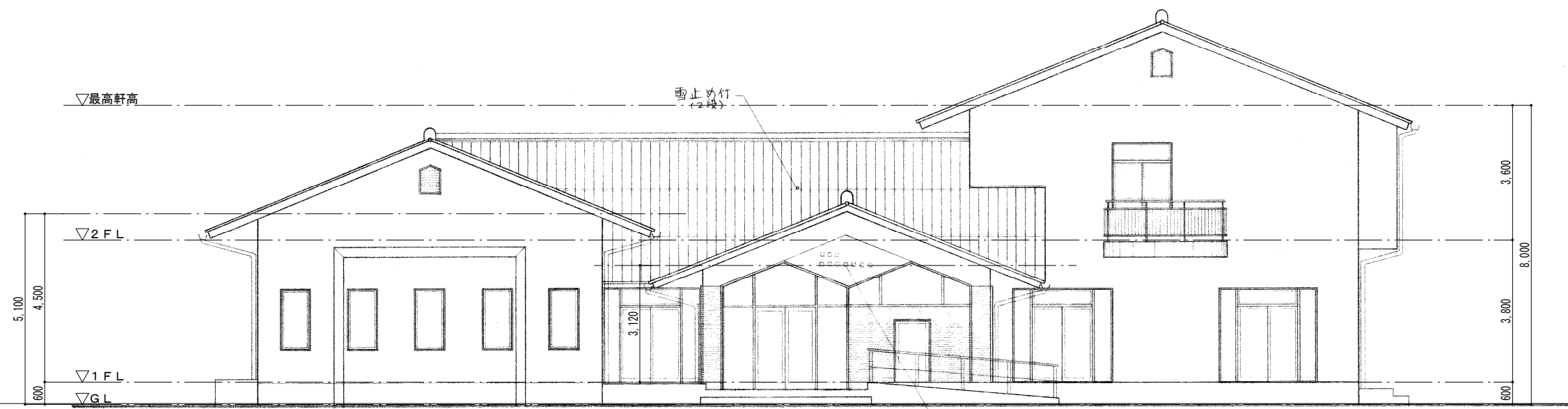


2階平面図(改修後) 1:100



屋根伏図(改修前) 1:100

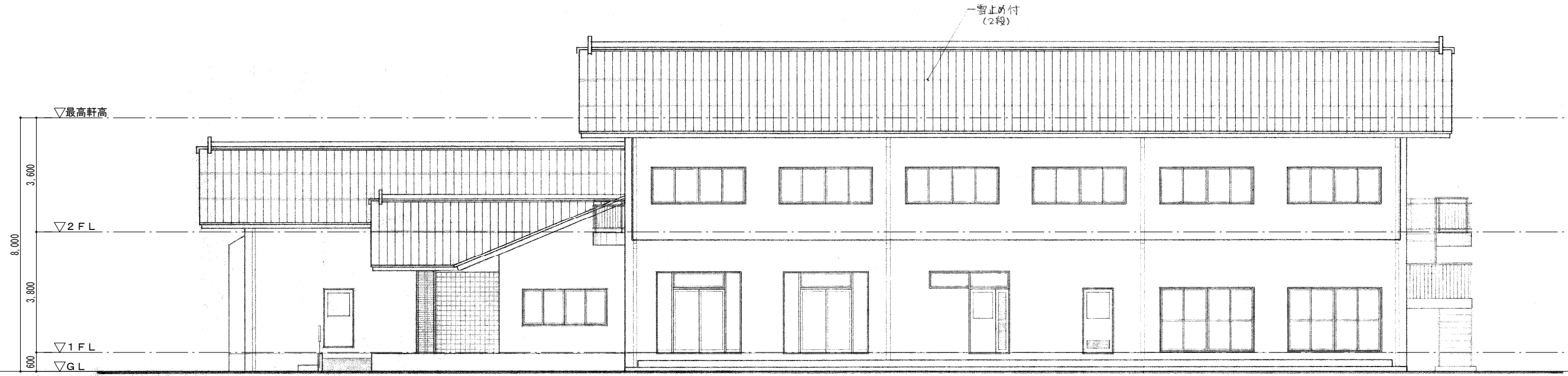




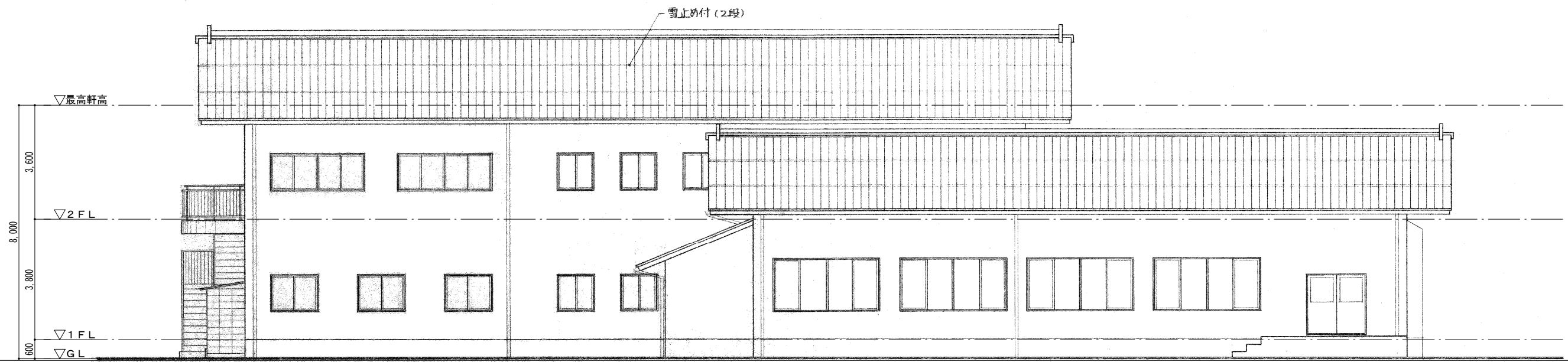
西側立面図 1:100



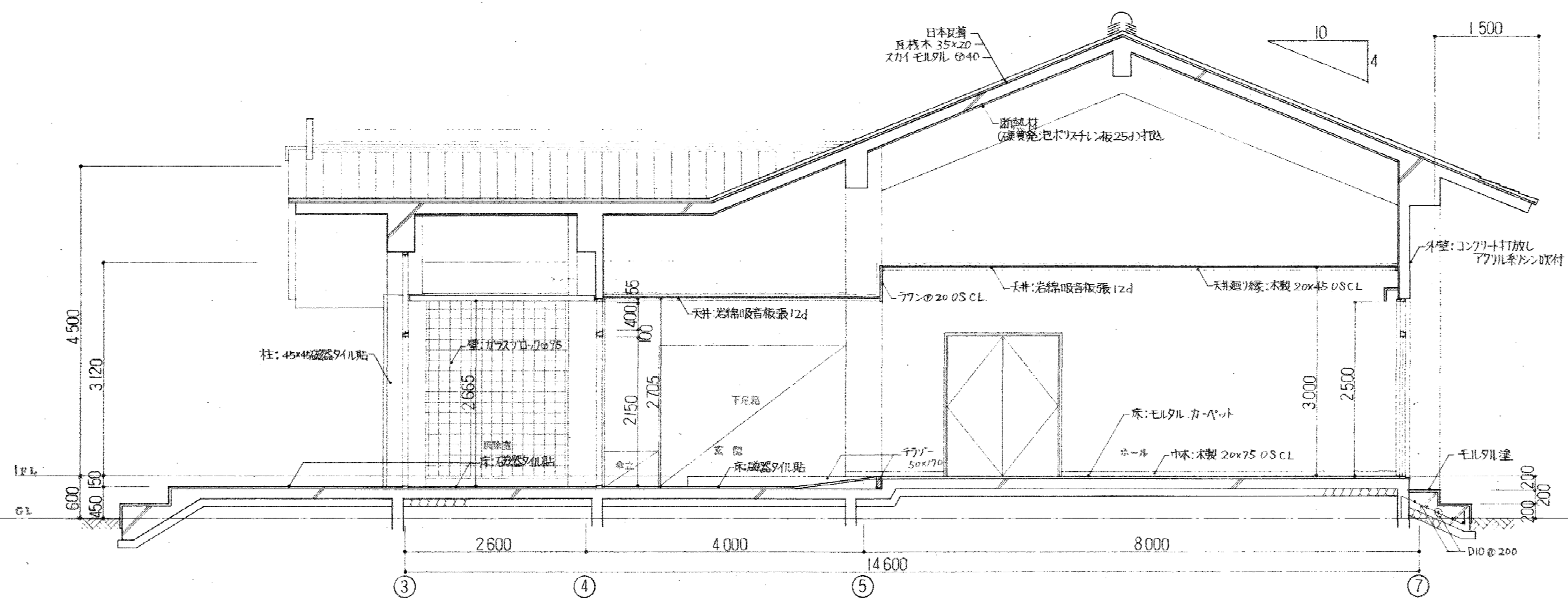
東側立面図 1:100



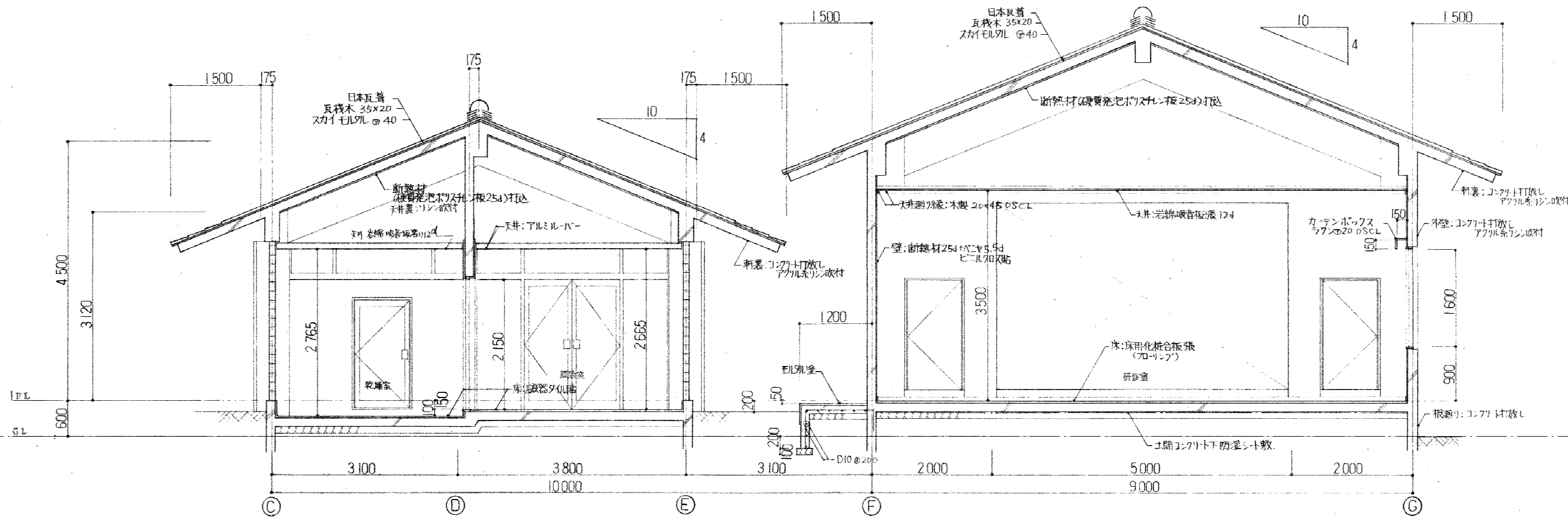
南側立面図 1:100



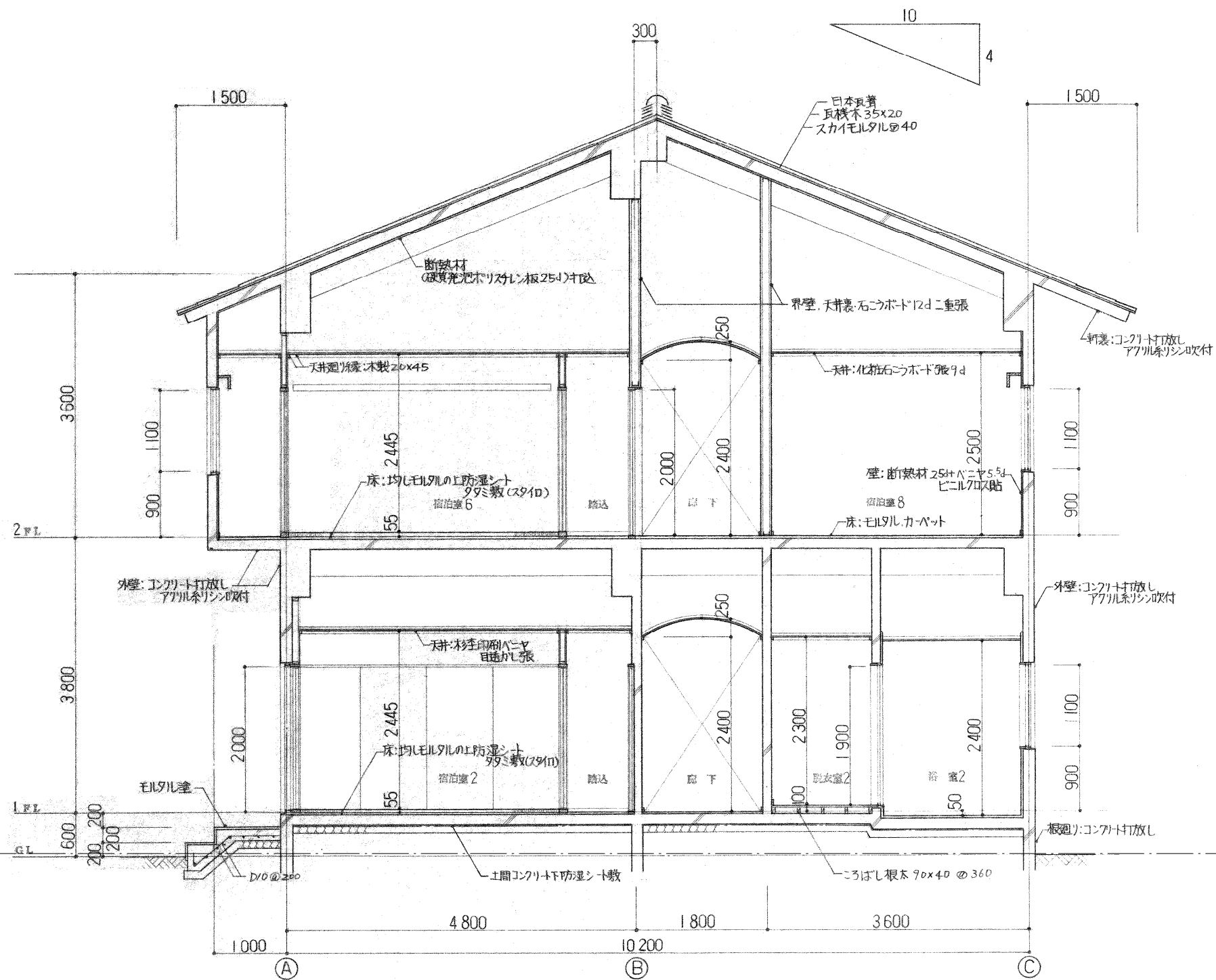
北側立面図 1:100



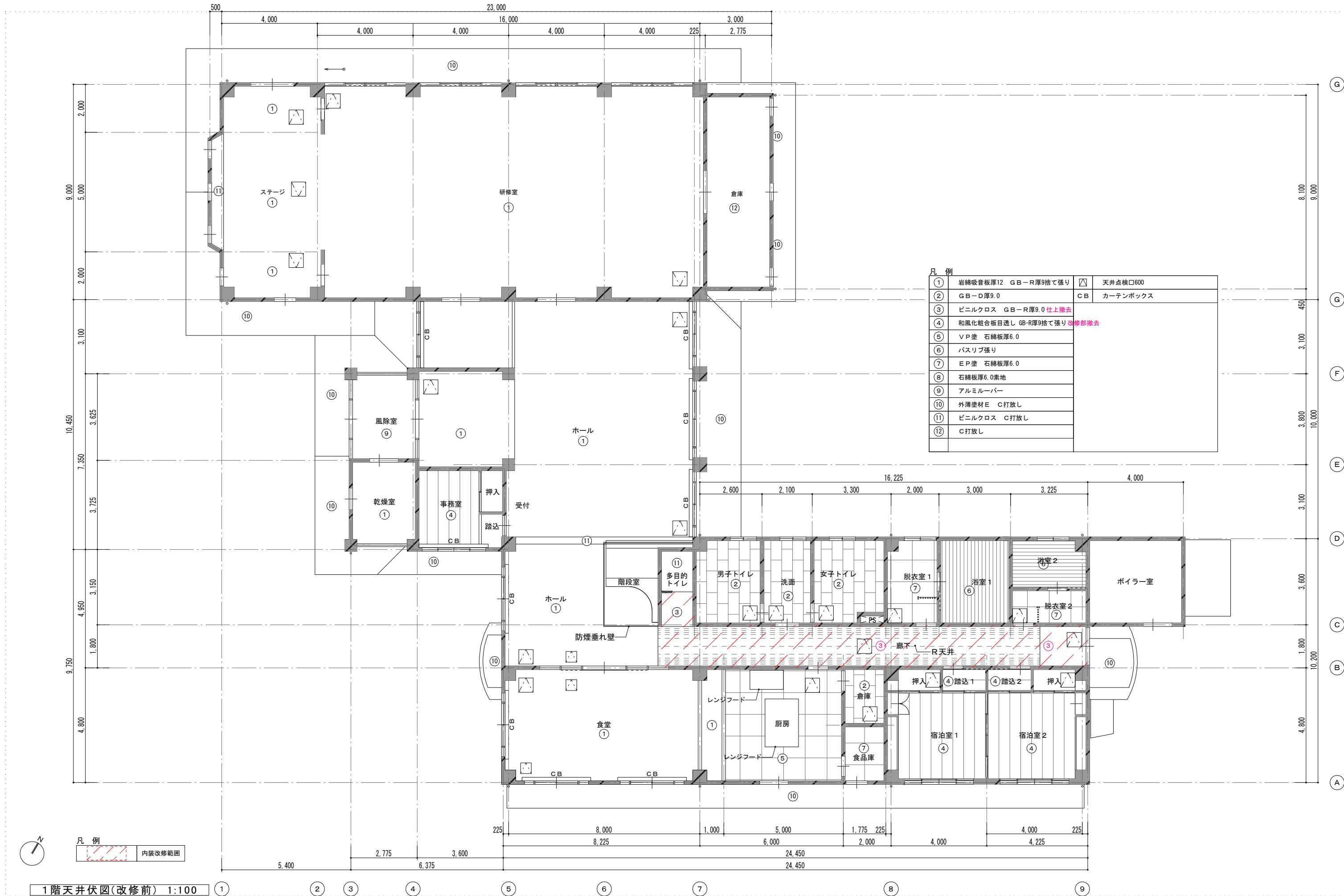
X1断面詳細図 1:50

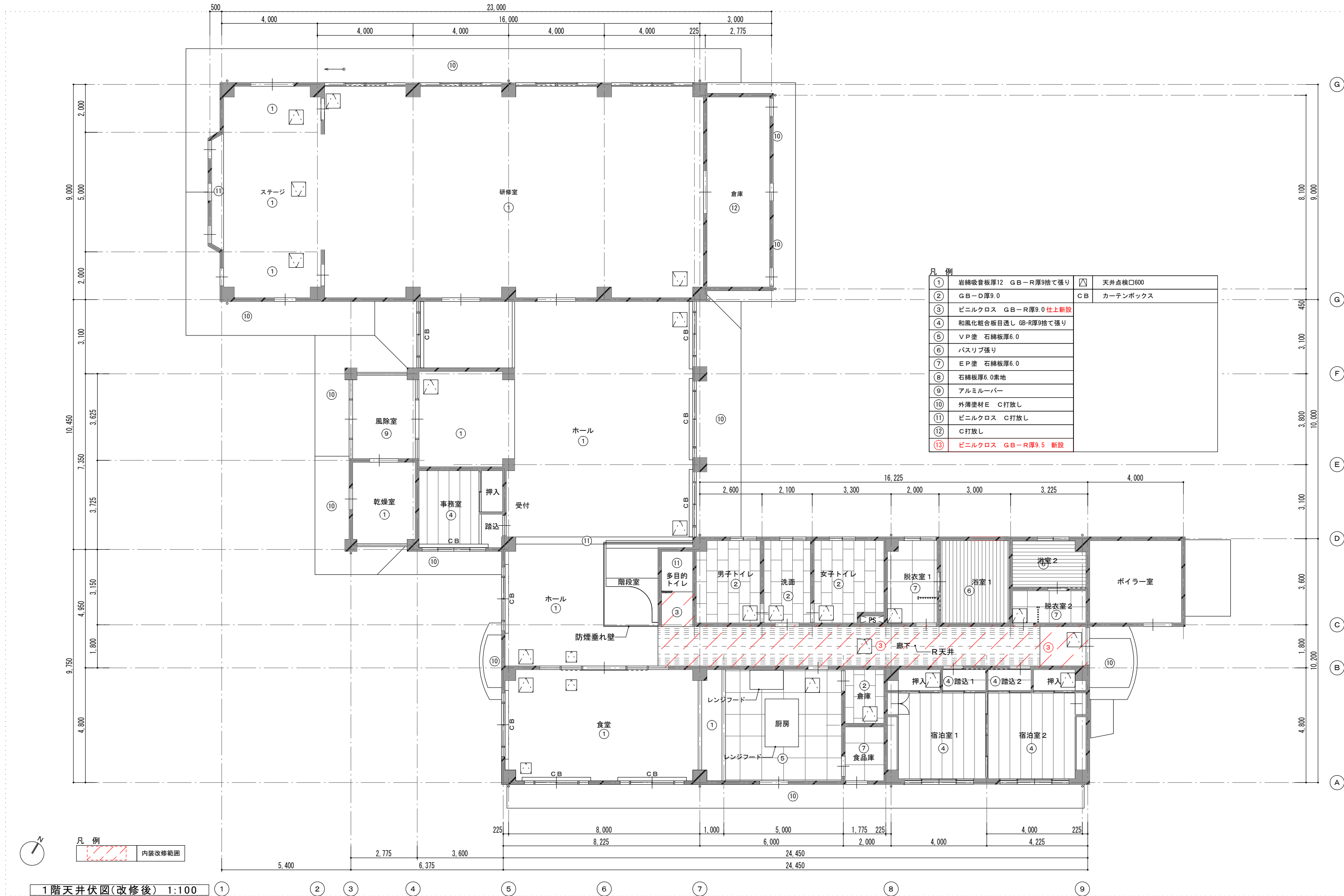


Y1断面詳細図 1:50

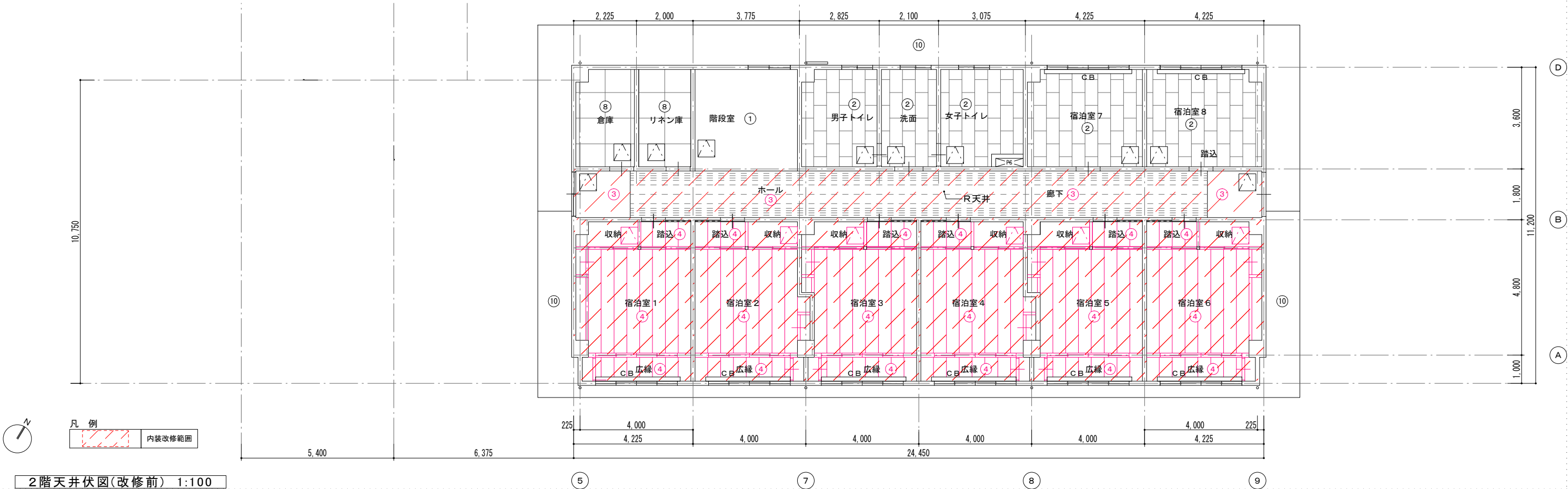


Y2断面詳細図 1:50

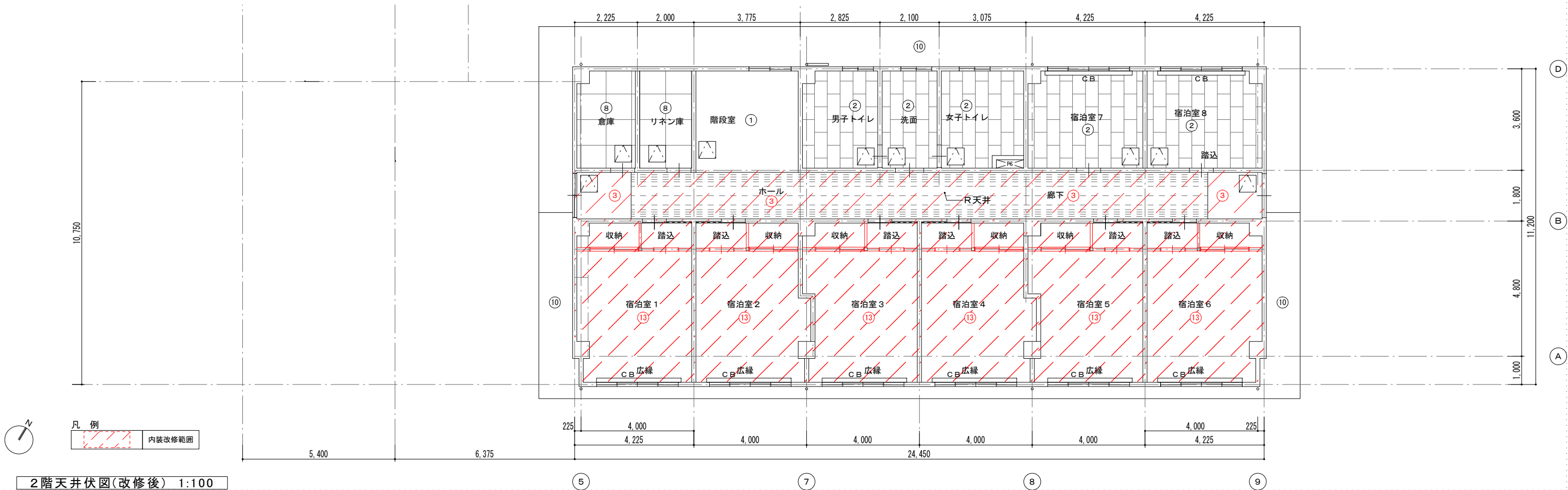


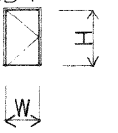
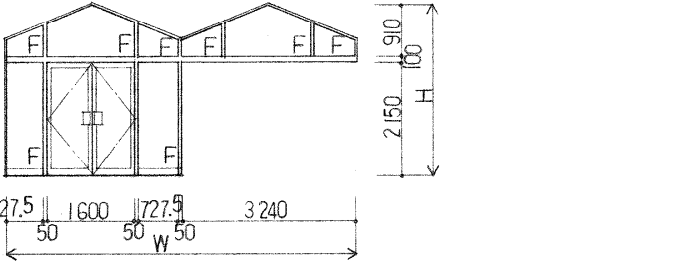
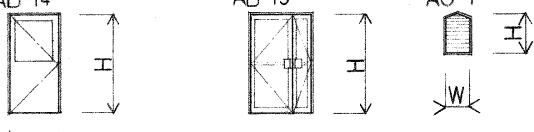


凡 例		
①	岩綿吸音板厚12 GB-R厚9捨て張り	▽ 天井点検口600
②	GB-D厚9.0	CB カーテンボックス
③	ビニルクロス GB-R厚9.0 仕上新設	
④	和風化粧合板目透し GB-R厚9捨て張り	
⑤	VP塗 石綿板厚6.0	
⑥	バスリブ張り	
⑦	EP塗 石綿板厚6.0	
⑧	石綿板厚6.0素地	
⑨	アルミルーバー	
⑩	外薄塗材E C打放し	
⑪	ビニルクロス C打放し	
⑫	C打放し	
⑬	ビニルクロス GB-R厚9.5 新設	



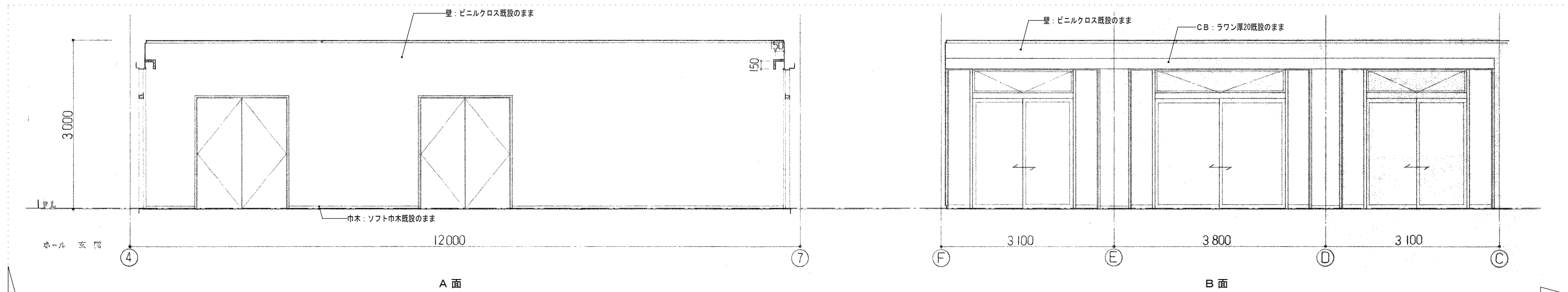
凡 例		
①	岩綿吸音板厚12 GB-R厚9捨て張り	▽ 天井点検口600
②	GB-D厚9.0	CB カーテンボックス
③	ビニルクロス GB-R厚9.0 仕上新設	
④	和風化粧合板目透し GB-R厚9捨て張り	
⑤	VP塗 石綿板厚6.0	
⑥	バスリブ張り	
⑦	EP塗 石綿板厚6.0	
⑧	石綿板厚6.0素地	
⑨	アルミルーバー	
⑩	外薄塗材E C打放し	
⑪	ビニルクロス C打放し	
⑫	C打放し	
⑬	ビニルクロス GB-R厚9.5 新設	



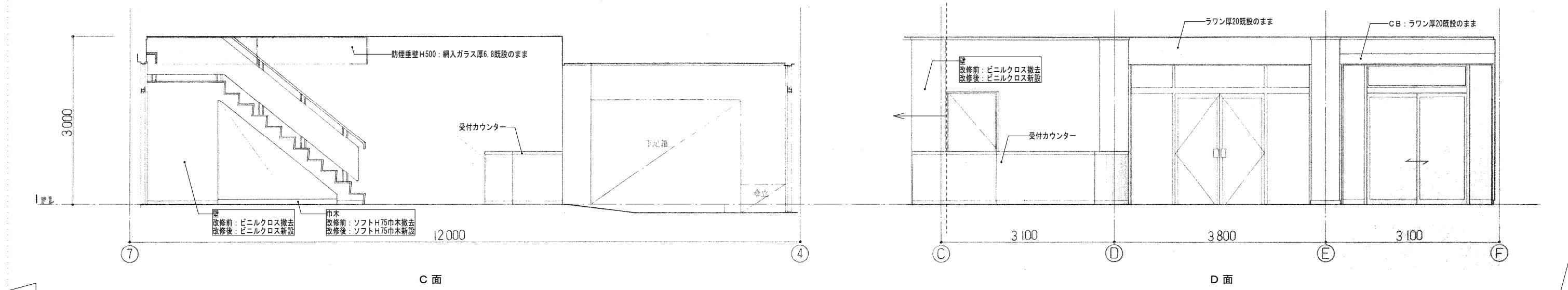
姿	図	記 号	寸 法		法		ガラリ寸法		枠見込 建具見込	建具位置：数量												合 計	ガ ラ ス	附 属 金 物	備 考
			W	H	W	H	1階	2階																	
SD-1 		1 SD	600	1 000					100	1	1								2		丁番, ケースハットル, 本締錠	SoP塗			
AD-1 		1 AD	6 445	3 160					70	1									1	扉：70+5d ランマ：ブロンズガラス	フロアヒンジ, 揚落とし金物, 押板, ピンタンプラ-本締錠 回転式ストッパー	ステンレス省摺			
		2 AD	3 210	2 650					70	1										1	70+5d	押板, ピンタンプラ-本締錠 フロアヒンジ, 揚落とし金物 回転式ストッパー			
		3 AD	3 200	2 500					70	1										1	70+5d	附属金物一式	排煙用フック棒 (手動式) 網戸付		
		4 AD	2 675	2 500					70	7										7	70+5d	——〃——	排煙用フック棒 (手動式) 網戸付		
		5 AD	2 900	1 945					70	2										2	70+5d	——〃——	網戸付		
		6 AD	2 450	2 500	200	1 750	70	1												1	扉：型4d ランマ：70+3d	シンダー-掘込錠, ドアチェック	排煙用フック棒 (手動式)		
		7 AD	900	2 000	800	250	70	1												1	型4d	——〃——, ——〃——			
		8 AD	900	1 800			70	1												1	70+5d	押板, ピンタンプラ-本締錠 ドアチェック (ストッパー付)	ステンレス省摺		
		9 AD	1 800	1 800			70	1												1	型4d	シンダー-掘込錠, アムストッパー			
		10 AD	800	1 900			70	2												2	型4d	附属金物一式			
		11 AD	1 565	2 500			70		1											1	上：70+5d 下：型4d	——〃——	排煙用フック棒 (手動式)		
		12 AD	1 100	1 800			70	1												1		シンダー-掘込錠, アムストッパー			
		13 AD	1 565	2 500			70	1	1											2	70+3d	——〃——, ——〃——	排煙用フック棒 (手動式)		
		14 AD	900	1 800			70	1												1	型4d	——〃——, ——〃——			
		15 AD	1 200	2 150			70	1												1	型6d	押板, ピンタンプラ-本締錠 ドアチェック (ストッパー付)			
AG-1 		1 AG	450	700						2	2								4		附属金物一式				

正

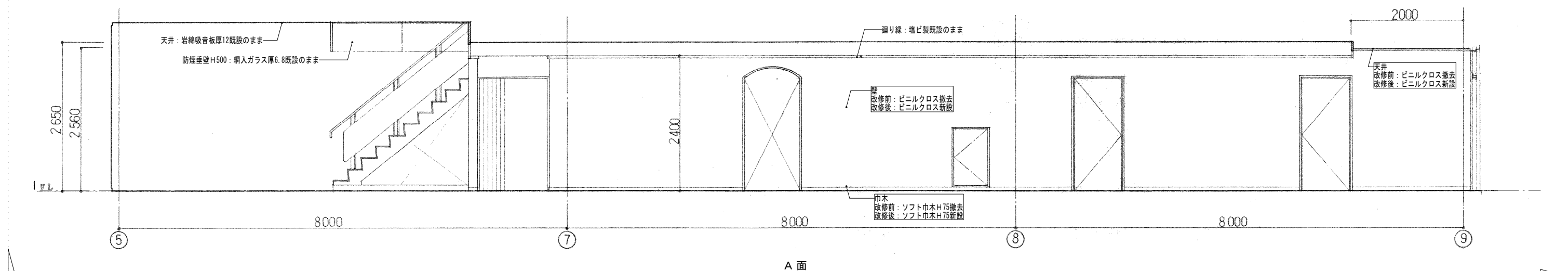
姿	図	記 号	寸 法		ガラリ寸法		枠見込 建具見込	建具位置：数量												合 計	ガ ラ ス	附 属 金 物	備 考
			W	H	W	H		1階	2階														
AW-1 AW-2,7 AW-3,4,5 AW-6,8	1	3 300	1 600			70	4									4	70-15d	附属金物一式	網戸付				
	2	2 900	1 100			70		8									8	70-13d	—— " ——	—— " ——			
	3	1 340	1 100			70	3										3	70-13d	—— " ——	—— " ——			
	4	1 100	1 100			70	3	3									6	70-13d	—— " ——	—— " ——			
	5	1 500	660			70		1									1	70-13d	—— " ——				
	6	750	1 600			70	5										5	70-15d	—— " ——				
	7	2 675	1 100			70	1										1	70-13d	—— " ——	網戸付			
	8	750	1 100			70	3										3	型4d	—— " ——				
WD-1 WD-2 WD-3 WD-4 WD-5 WD-6 WD-7 WD-8	1	1 600	2 000	150	800	36	2									2	型4d	丁番(ステンレス), アームストッパー 空錠, 香摺(ステンレス)	ポリ化粧合板貼(フラッシュ)				
	2	900	1 800			36	2										2		丁番(ステンレス), アームストッパー 空錠	—— " —— (—— " ——)			
	3	850	2 000			36	2	6									8	型4d	片引き戸用錠(内部, サムターン) フラッターレール				
	4	850	2 000			36		2									2	型4d	丁番(ステンレス), アームストッパー シリンダー錠(内部, サムターン)	ポリ化粧合板貼(フラッシュ)			
	5	850	2 000	650	200	36		2									2		丁番(ステンレス), 戸当り シリンダー錠	—— " —— (—— " ——) 片面: シナ合板			
	6	850	2 000			36	2										2	型4d	丁番(ステンレス), 戸当り 空錠, 香摺(ステンレス)	—— " —— (—— " ——) 片面: ビニルクロス貼			
	7	800	2 000	150	800	36	2	2									4	型4d	丁番(ステンレス), 戸当り 空錠	—— " —— (フラッシュ)			
	8	850	2 000			36	1										1		丁番(ステンレス), ドアチェック シリンダー錠	ポリ化粧合板貼(フラッシュ) 片面: ビニルクロス貼			



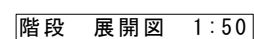
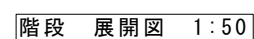
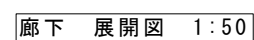
ロビー 展開図 1:50

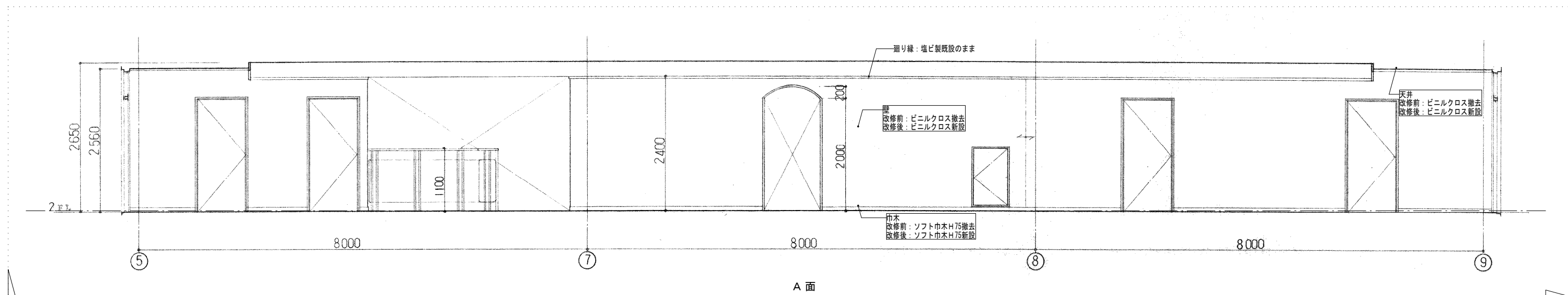


ロビー 展開図 1:50

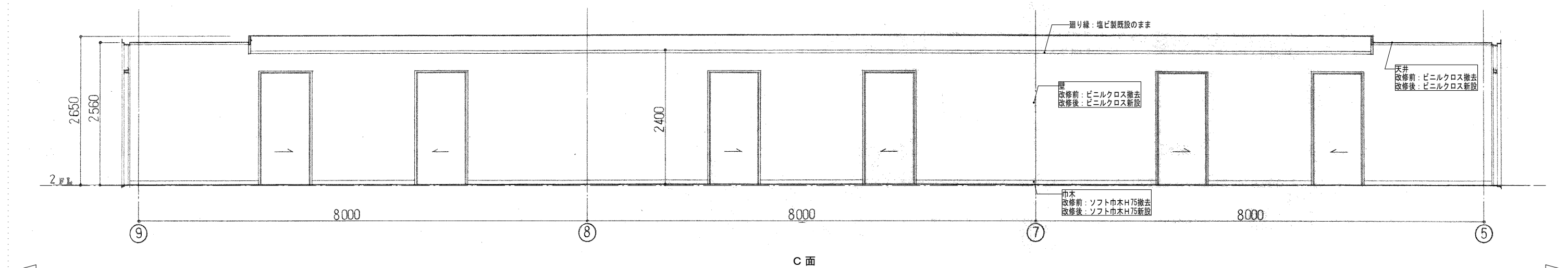


廊下 展開図 1:50

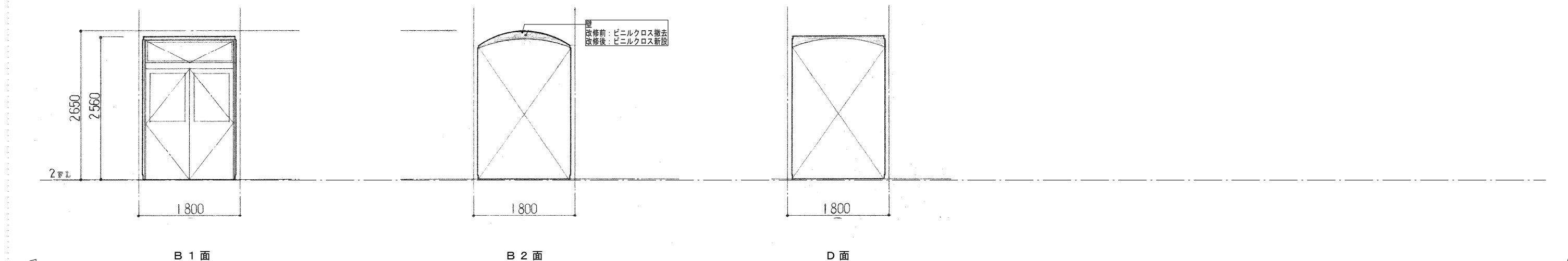




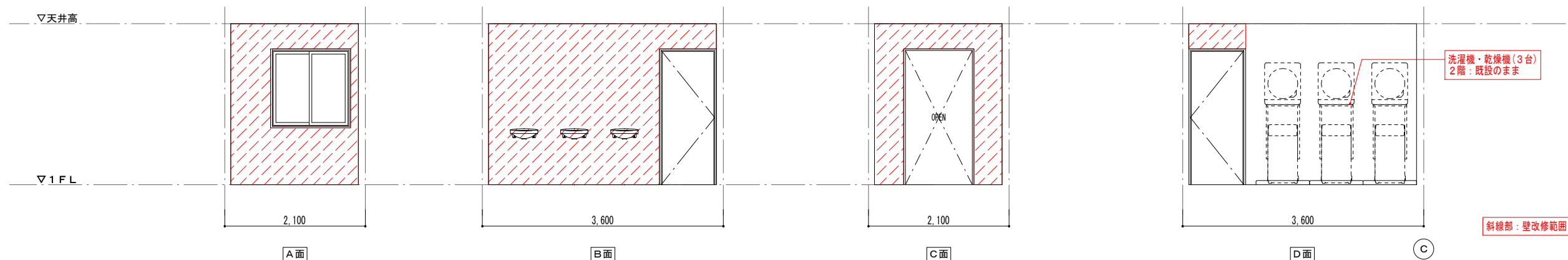
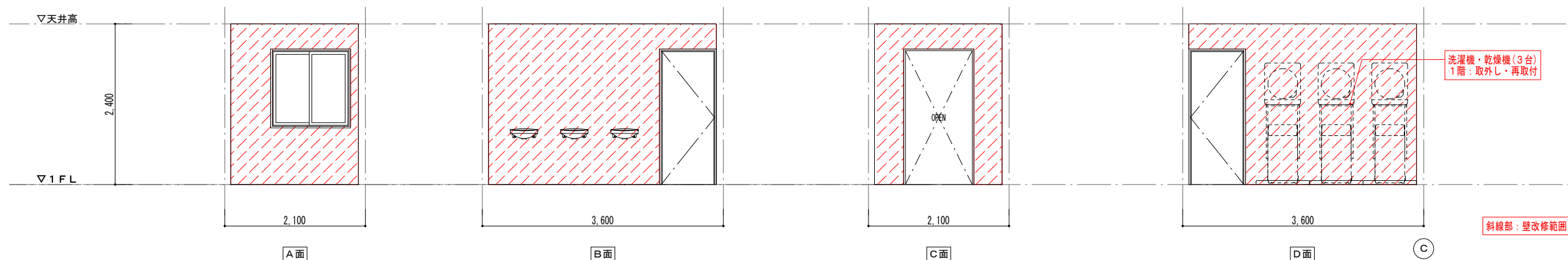
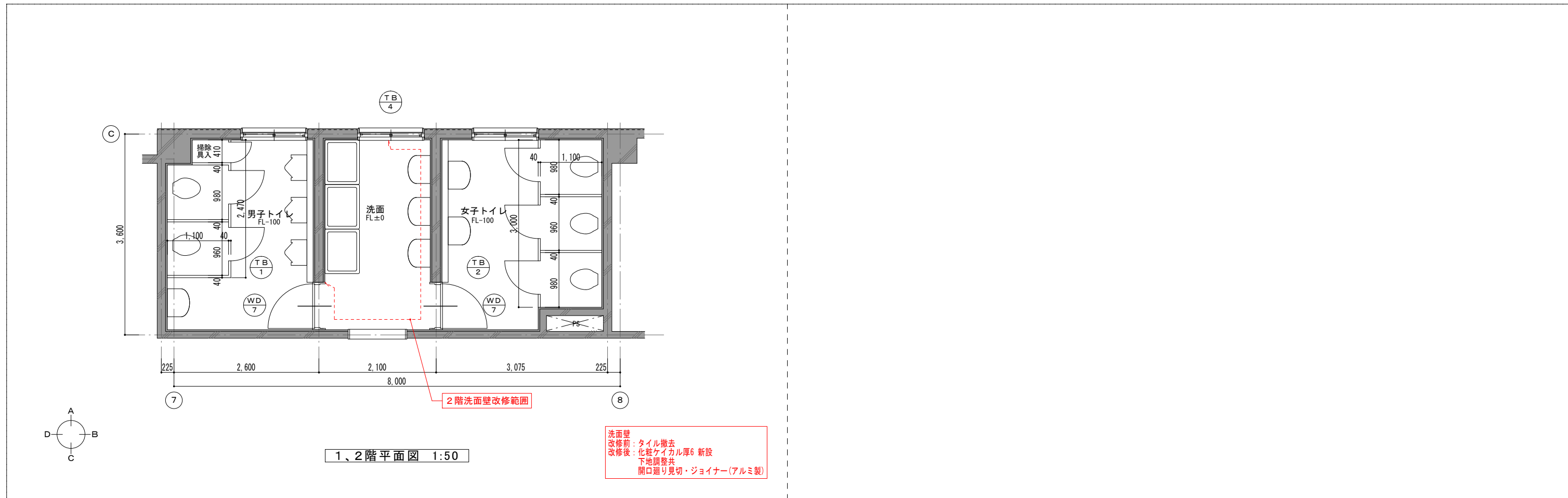
廊下 展開図 1:50

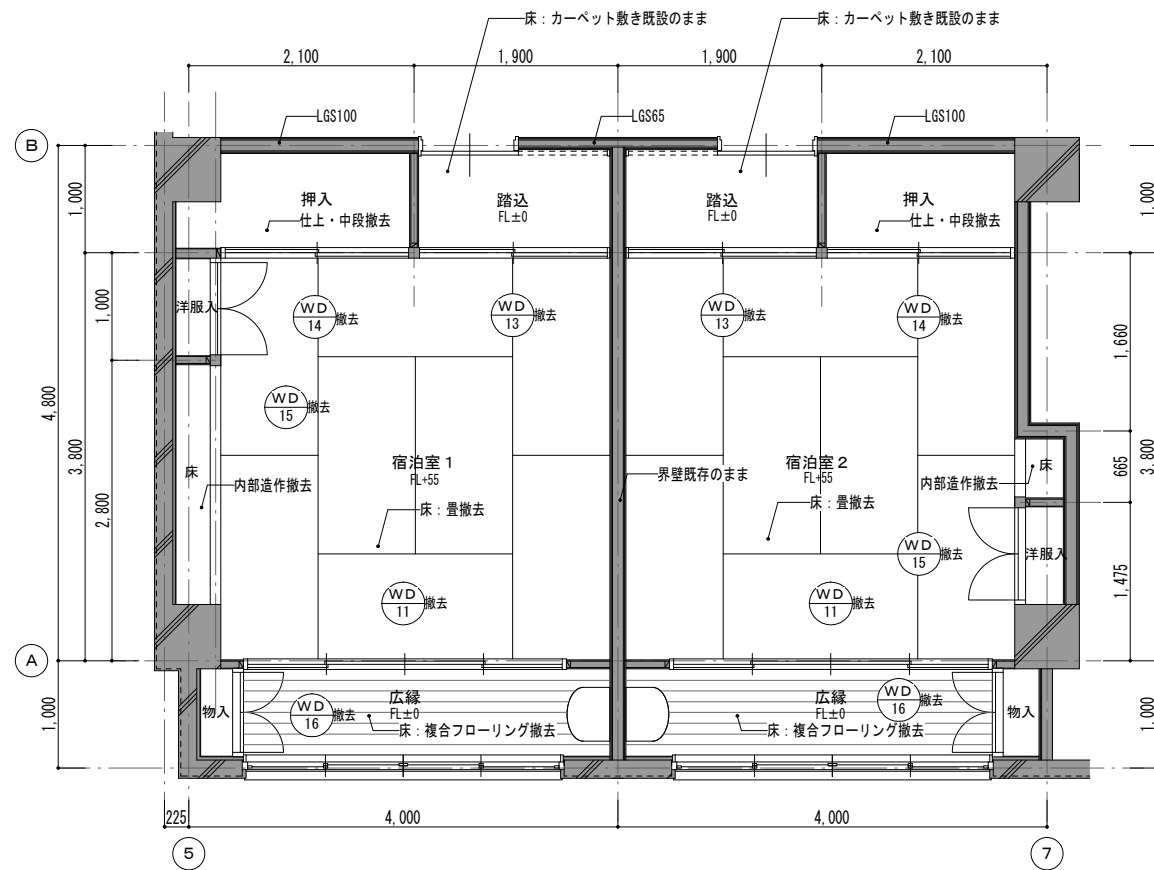


廊下 展開図 1:50

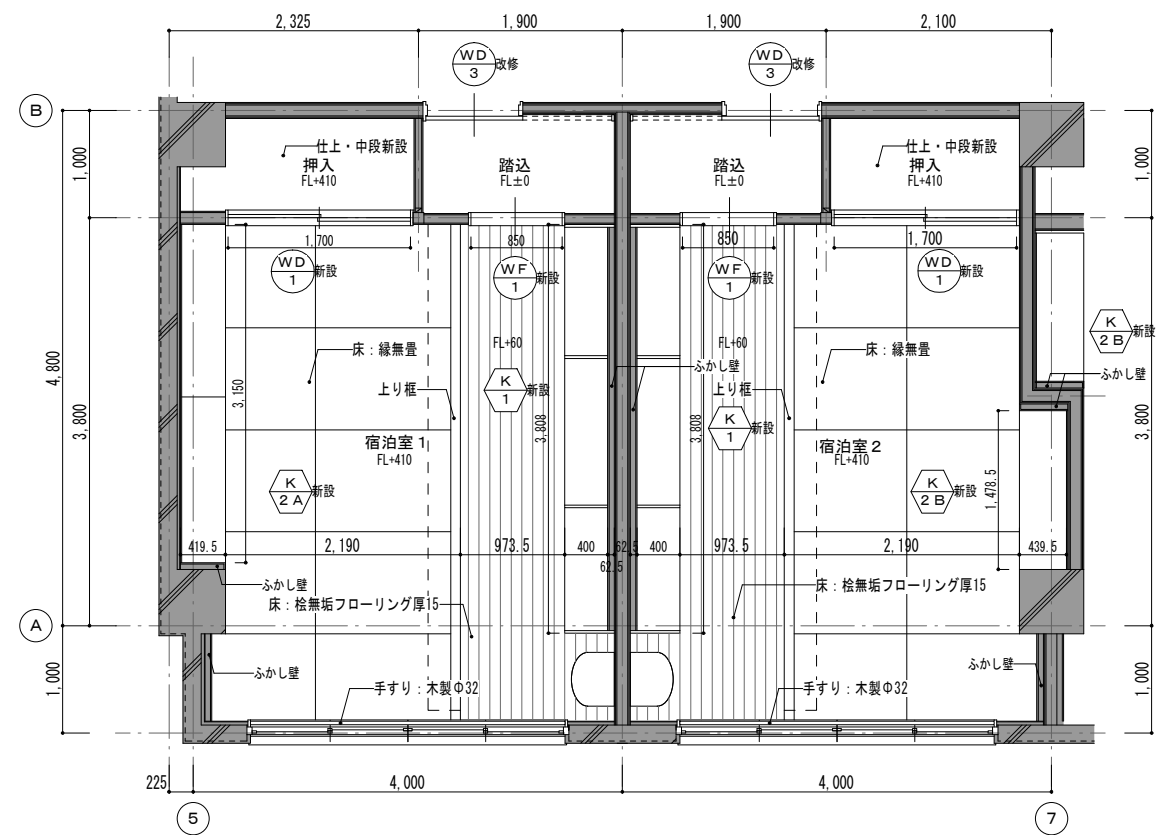


廊下 展開図 1:50



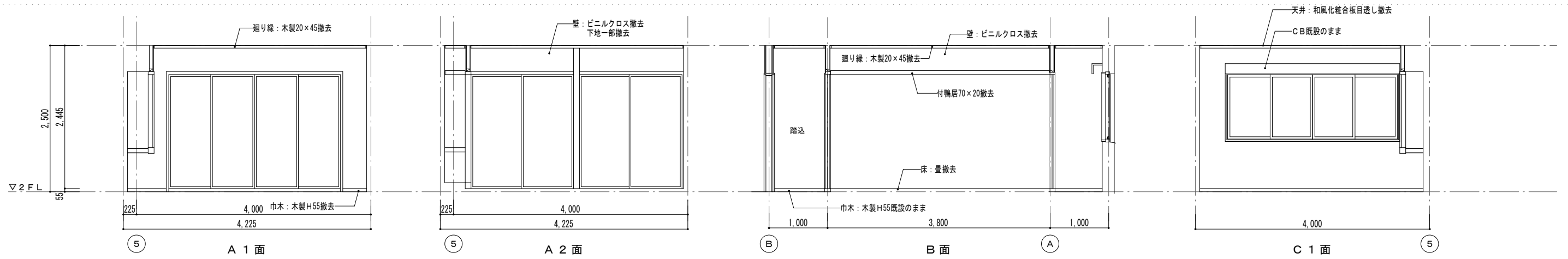


平面詳細図(改修前) 1:50

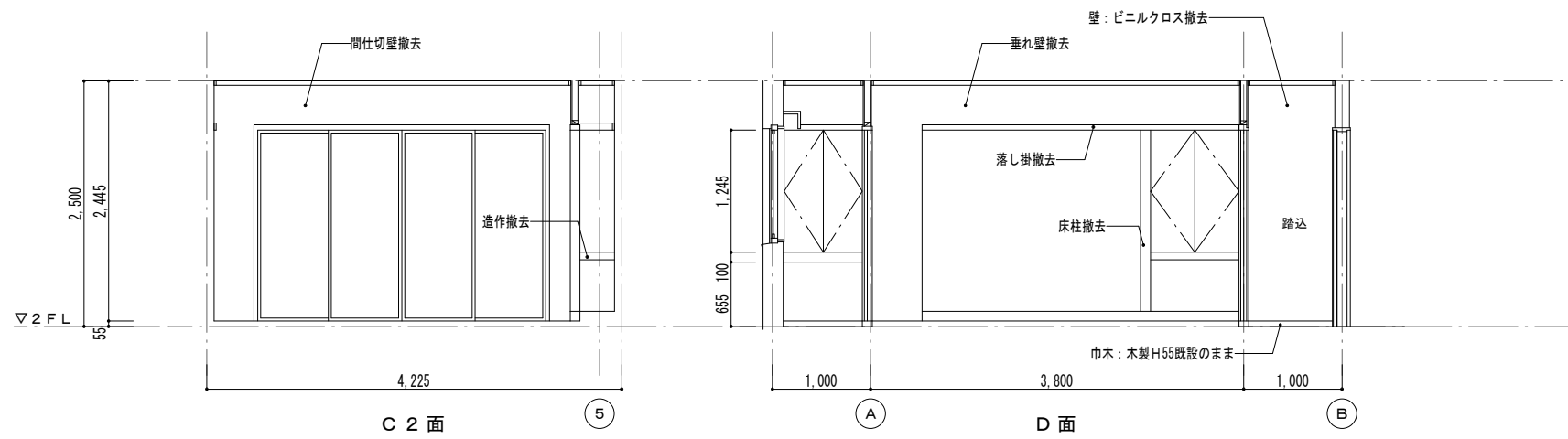


平面詳細図(改修後) 1:50

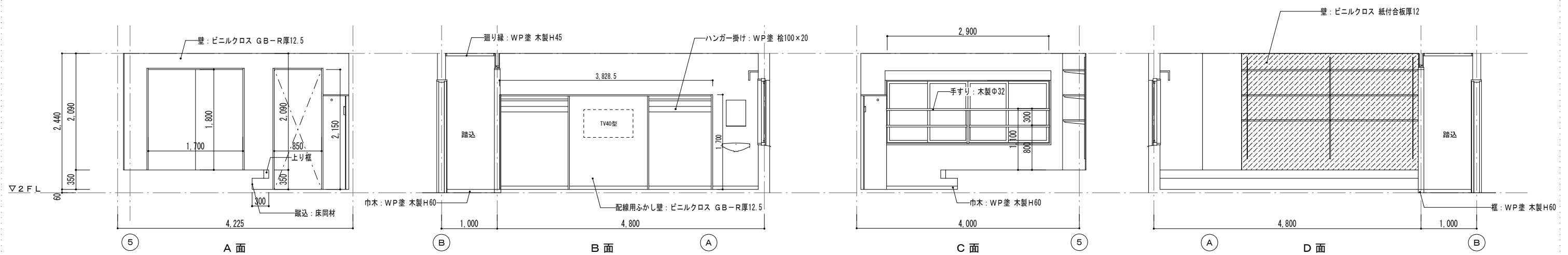
記号・場所・数量	WD 3 改修 踏込	6	WF 1 新設 踏込	6	WD 1 新設 押入	6
見込・形式	片引き框戸 W850×H2000		3方枠		33 引違いフラッシュ戸 W1700×H1800	
材質・塗装	既設のまま 姿図はA-28参照		桧、WP塗		シナ合板フラッシュ、WP塗	
ガラス部	改修前：型ガラス厚4 撤去 改修後：アクリル(型ガラス調)厚4 新設					
金物	既設のまま				引手、戸車、埋込Vレール	
備考		敷居：桧 WP塗 見付25、見込125			枠：桧 WP塗 見付25、見込145	



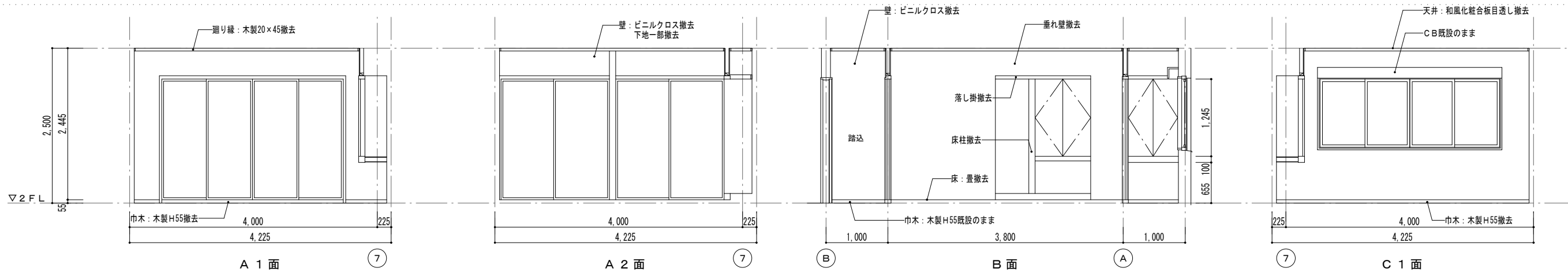
宿泊室 1 展開図 (改修前) 1:50



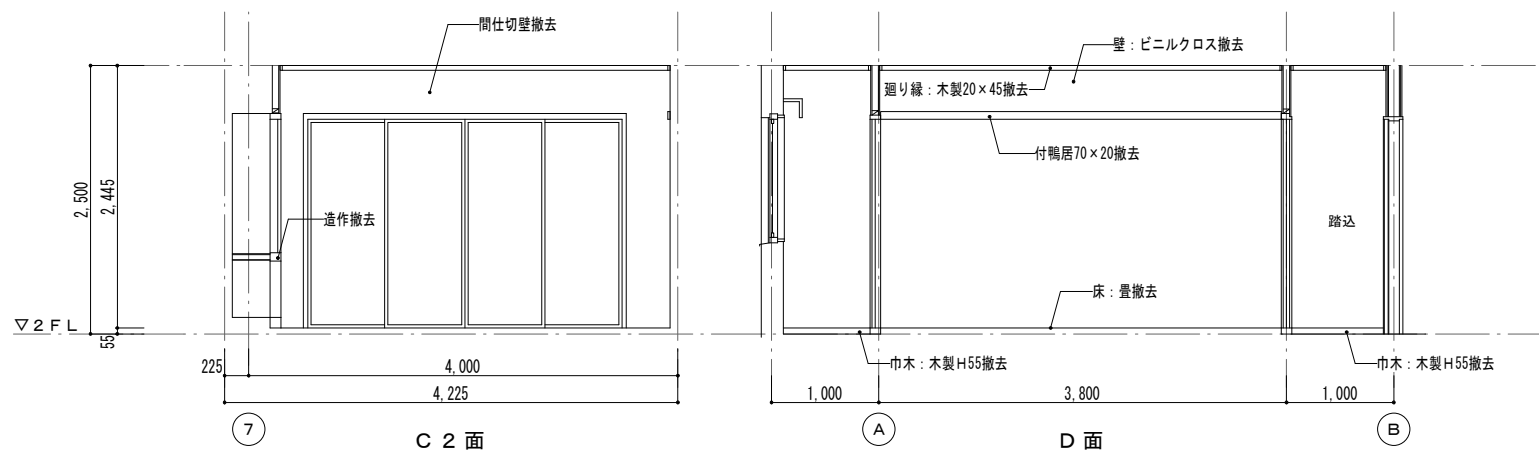
宿泊室 1 展開図 (改修前) 1:50



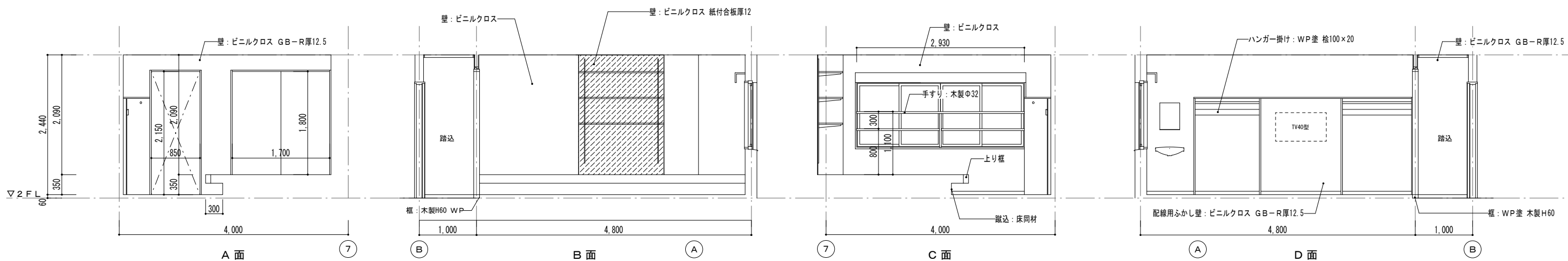
宿泊室 1 展開図 (改修後) 1:50



宿泊室 1 展開図 (改修前) 1:50

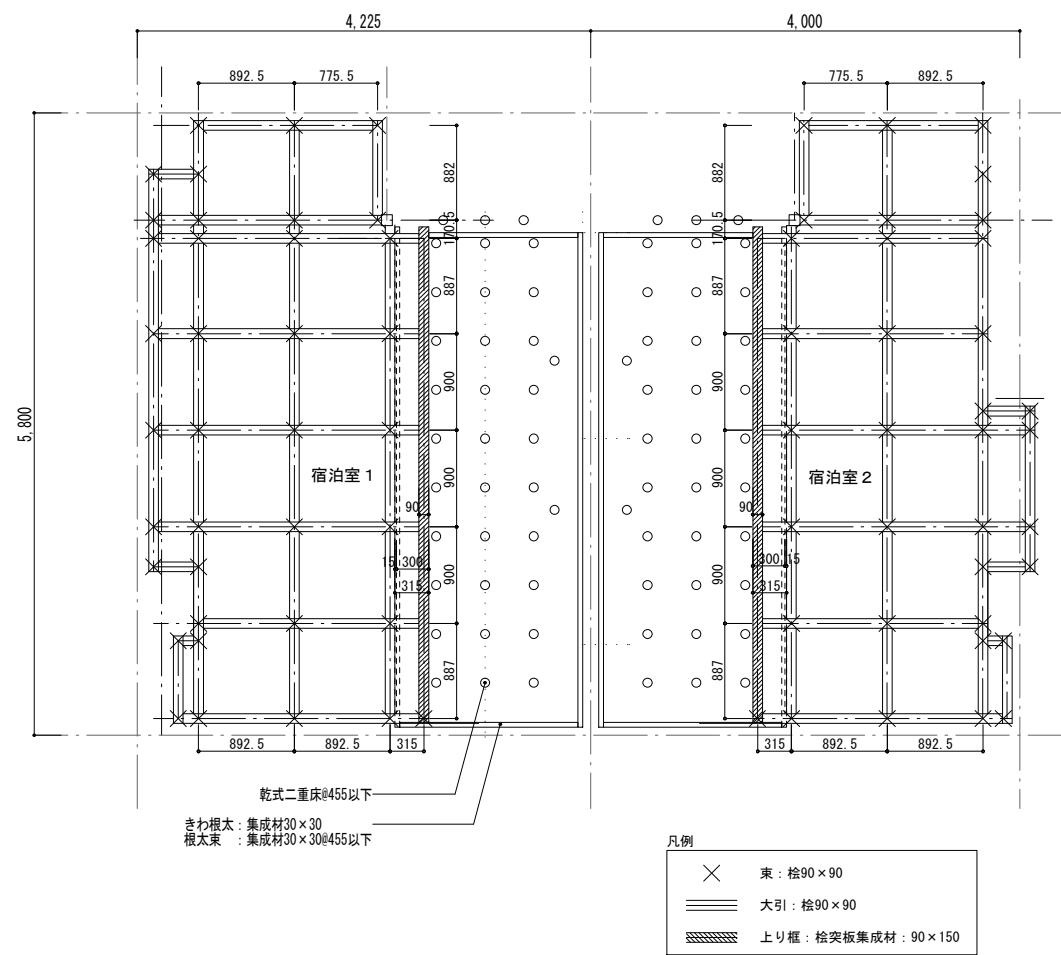


宿泊室 1 展開図 (改修前) 1:50

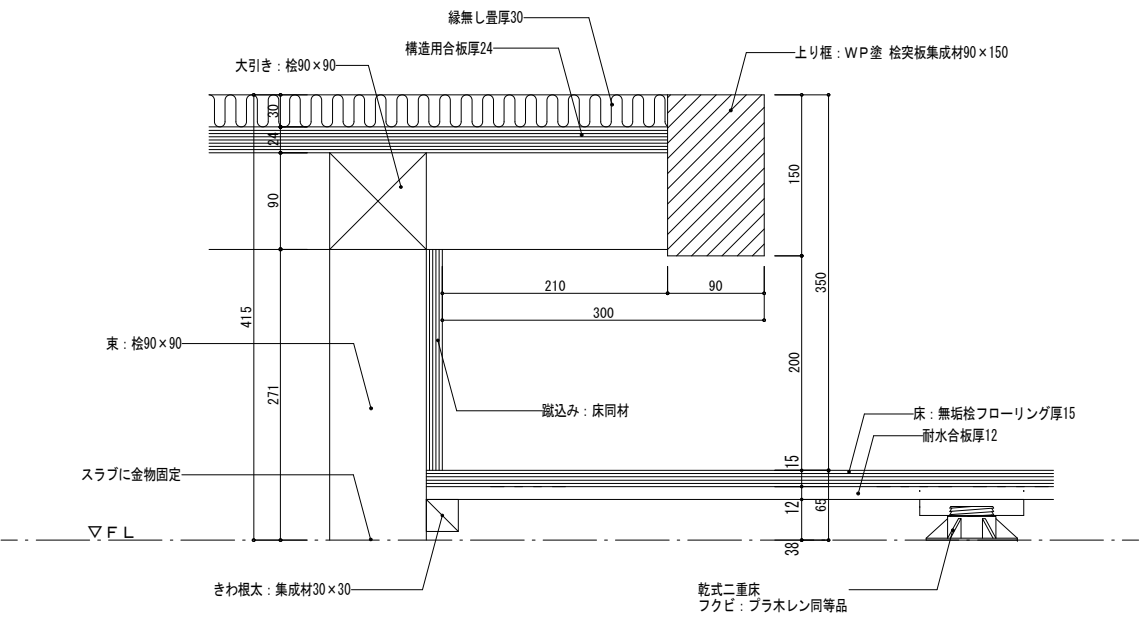


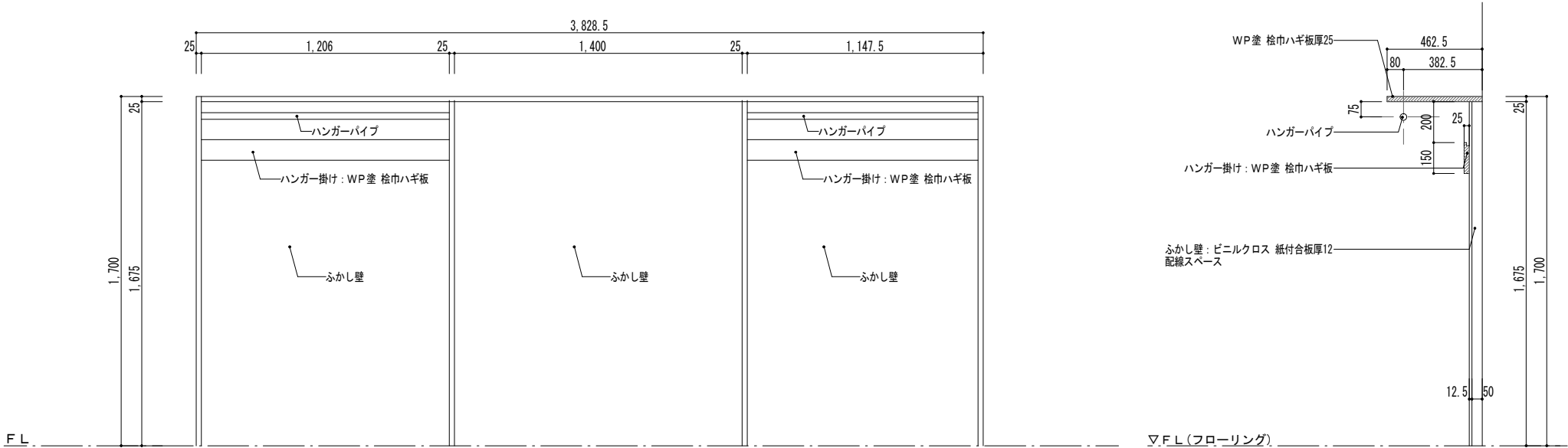
宿泊室 1 展開図 (改修後) 1:50

床伏図 1:50



上り框詳細図 1:5

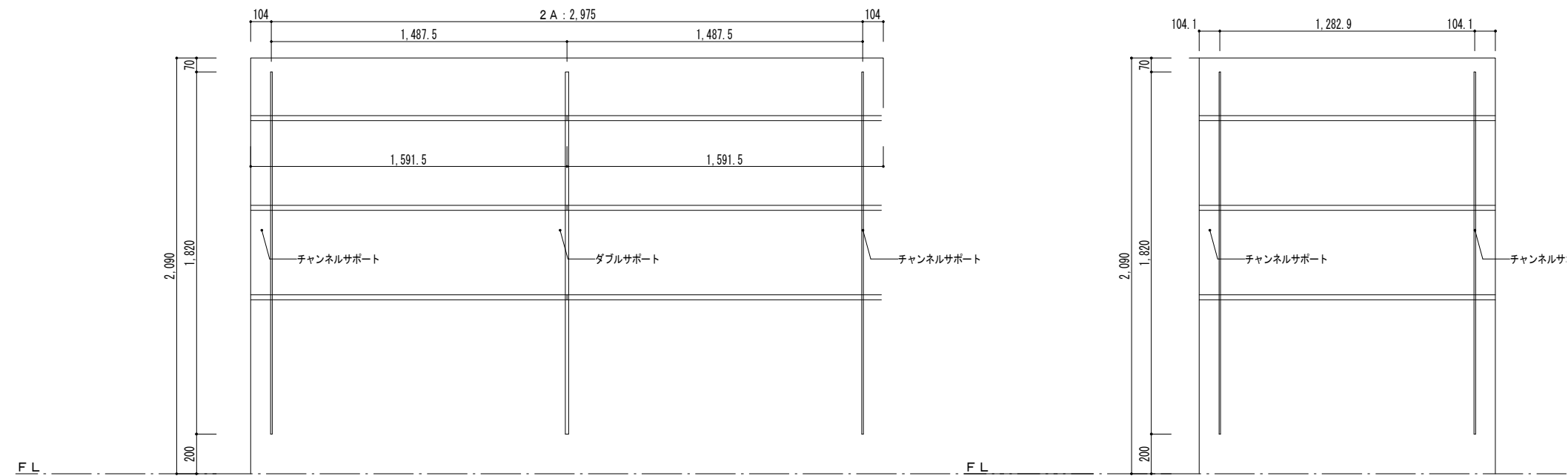




展開図

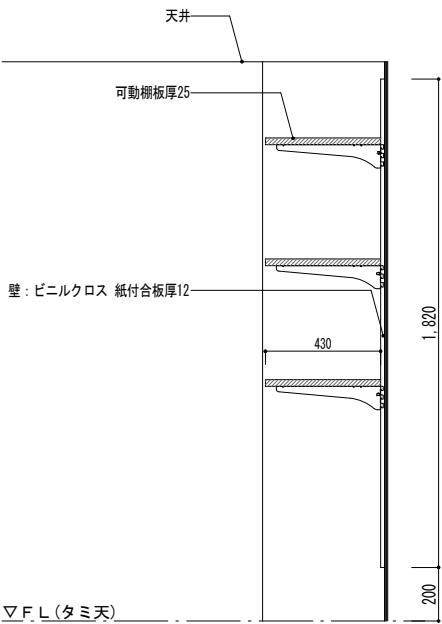
断面図 ※棚板の巾及び奥行きは壁の仕上がりにあわせること。

仕 様		6 か所
見え掛	WP 塗	桧巾ハギ板厚25
金 物	ハンガーパイプ：Φ32、クロームメッキ、受金具共	



展開図

展開図



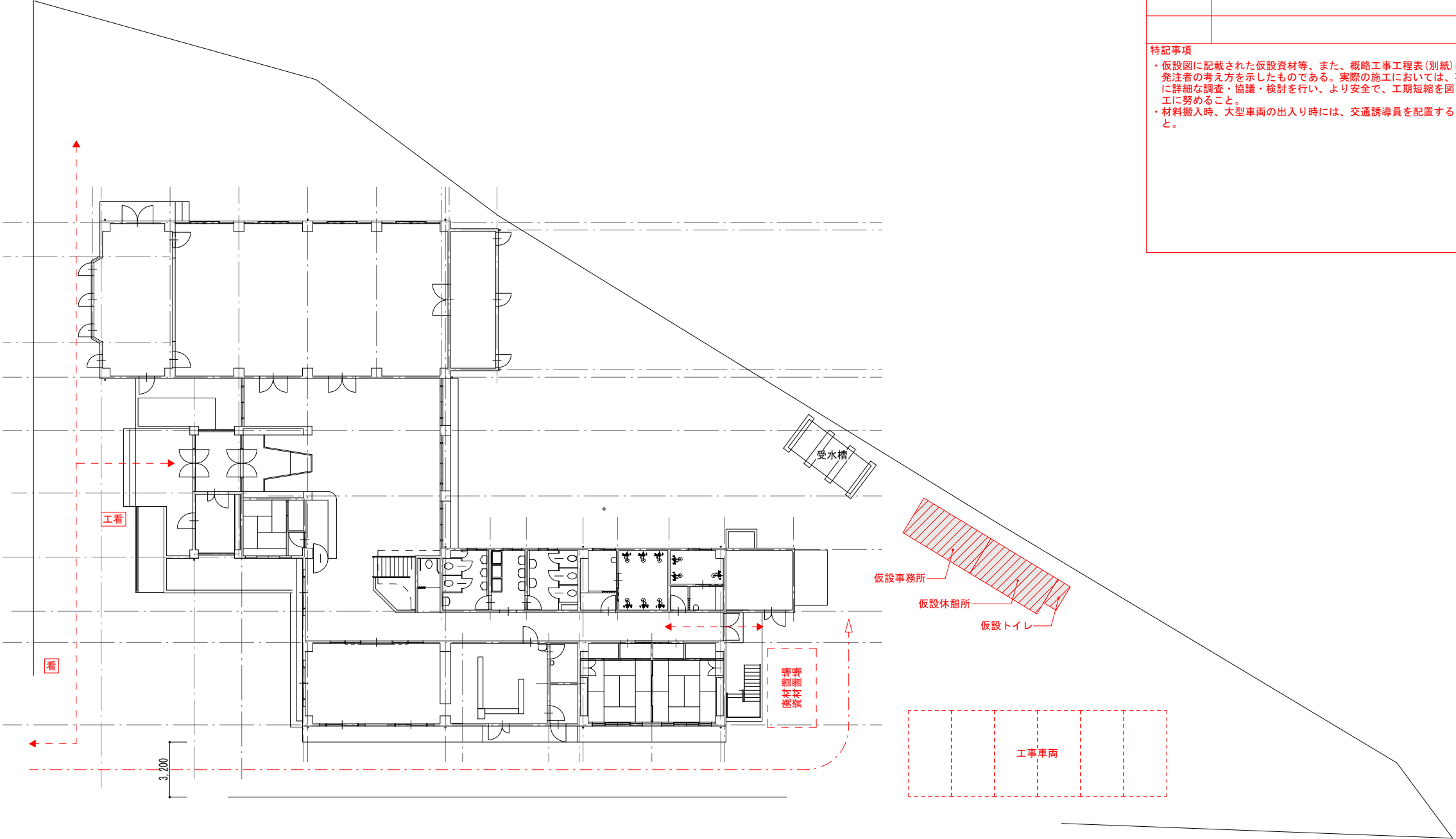
仕 様		2 A：2 か所、2 B：4 か所
見え掛	WP 塗	桧巾ハギ板厚25 3 段
金 物	可動棚システム(ロイヤル：SS システム) チャンネルサポート L1820 ダブルサポート(K-2 A) 木棚用ブラケット K-2 A：D400 K-2 B：D400	

凡例

⇐ - - -	動線：工事関係進入経路
← - - -	動線：施設利用者
—仮—	バリケードH1800程度
———	カラーコーン、コーンバー
⑧	誘導員(臨時)
看	工事中協力用看板
工看	工事用看板

特記事項

- 仮設図に記載された仮設資材等、また、概略工事工程表(別紙)は、発注者の考え方を示したものである。実際の施工においては、事前に詳細な調査・協議・検討を行い、より安全で、工期短縮を図る施工に努めること。
- 材料搬入時、大型車両の出入り時には、交通誘導員を配置すること。

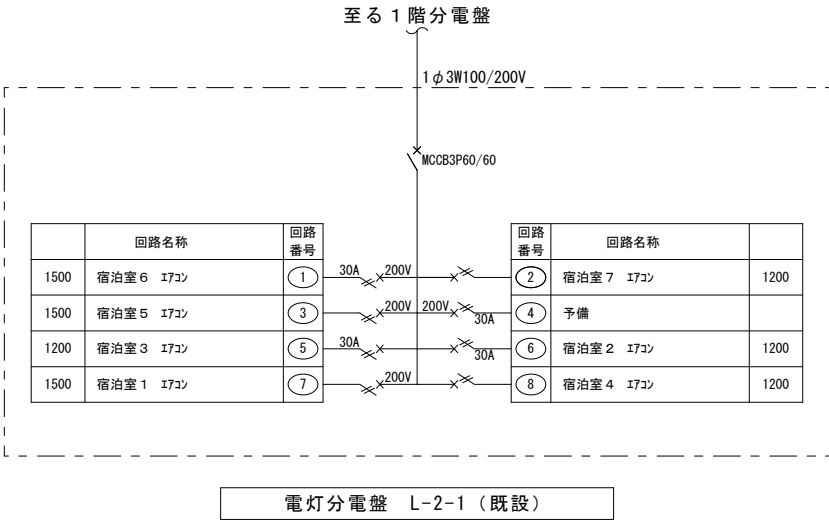
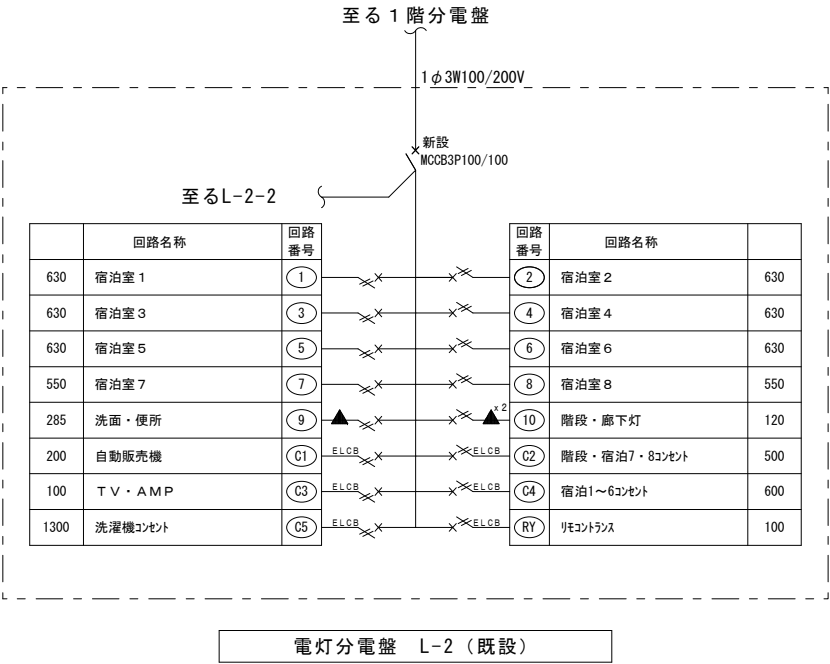


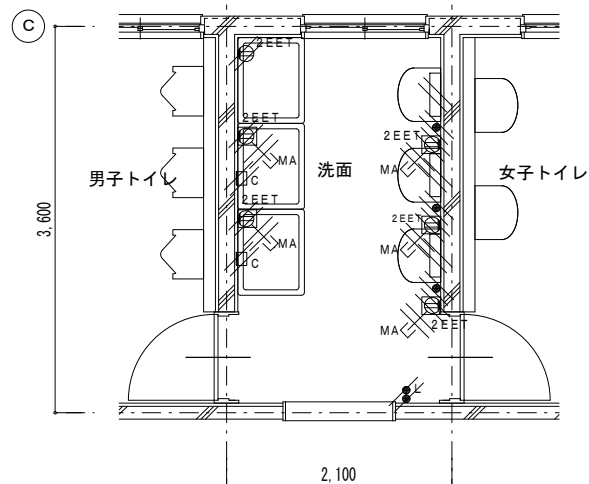
[illegible]

凡 例	
記 号	品 名
	電灯分電盤
	電灯動力分電盤
	誘導灯
	非常灯
	シーリングライト
	ペンダントライト
	ダウンライト
	壁付手元灯
	足元保安灯
	フラットライト
	スイッチ 片切
	スイッチ ON表示灯付
	コンセント 2P15Ax2
	コンセント 2P15Ax2 接地極付
	コンセント 2P15Ax2 接地極接地端子付
	コンセント 2P15A/20Ax1兼用接地極接地端子付
	コンセント 2P15A/20Ax1兼用接地極接地端子付 200V
	カバープレート
	消し忘れキースタックス
	コンセントを露出スイッチキースタックスに取付
	露出部を1種金属線び(A型)にて保護
	トリプル呼出ボタン
	天井扇（機械設備工事）
	壁貫通補修 特記無きはφ100
	取外しを示す。（再使用あり） ※一部保管あり
	撤去を示す。（再使用なし）
	取外し品再取付を示す。
※改修後の図中点線は既設を示す。	

注 記			
1. 特記なき配管配線は、下記の通りとする。			
・改修後			
_____ 2F3 _____	EM-EEF2.0-3C	(PF22)	
_____ 2F2 _____	EM-EEF2.0-2C	(PF22)	
_____ _____	EM-EEF1.6-2C	(PF16)	
_____ F3 _____	EM-EEF1.6-3C	(PF16)	
_____ F4 _____	EM-EEF1.6-2Cx2	(PF16)	
・改修前			
_____ // _____	1V2.0x2 (19)		
_____ _____	1V1.6x2 (19)		
_____ /// _____	1V1.6x3 (19)		
_____ // // _____	1V1.6x4 (25)		
_____ // // // _____	1V1.6x5 (25)		
※二重天井内はケージ配線とする。			

SP-1	ダウンライト 100形電球1灯器具相当	SP-2	ダウンライト 100形ダイクル電球1灯器具相当
LEDフラットランプφ70 クラス700 1灯（口金GX53-1） 温白色（3500K）、Ra83 器具光束700lm、消費電力7.3W、電圧100V 拡散タイプ、高気密SB形 枠：銅板（ホワイトつや消し） 光源寿命40000時間（光束維持率70%） 埋込穴φ100 パナソニック ダウンライトXAD3100VKCE1		LEDフラットランプφ70 クラス700 1灯（口金GX53-1） 温白色（3500K）、Ra83 器具光束700lm、消費電力7.3W、電圧100V 集光タイプ、高気密SB形 枠：銅板（ホワイトつや消し） 光源寿命40000時間（光束維持率70%） 埋込穴φ100 パナソニック ダウンライトXAD3120VKCE1	





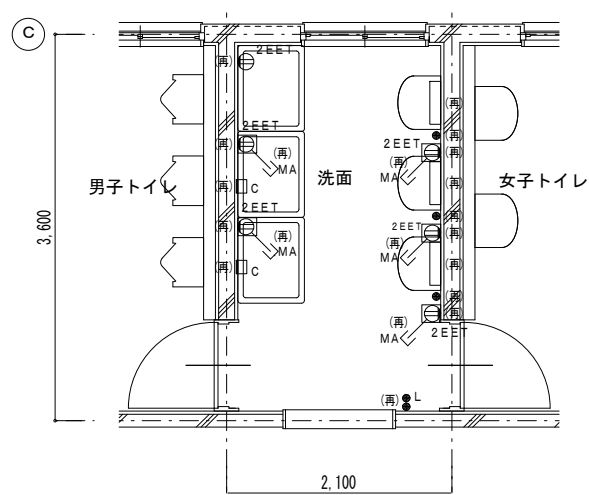
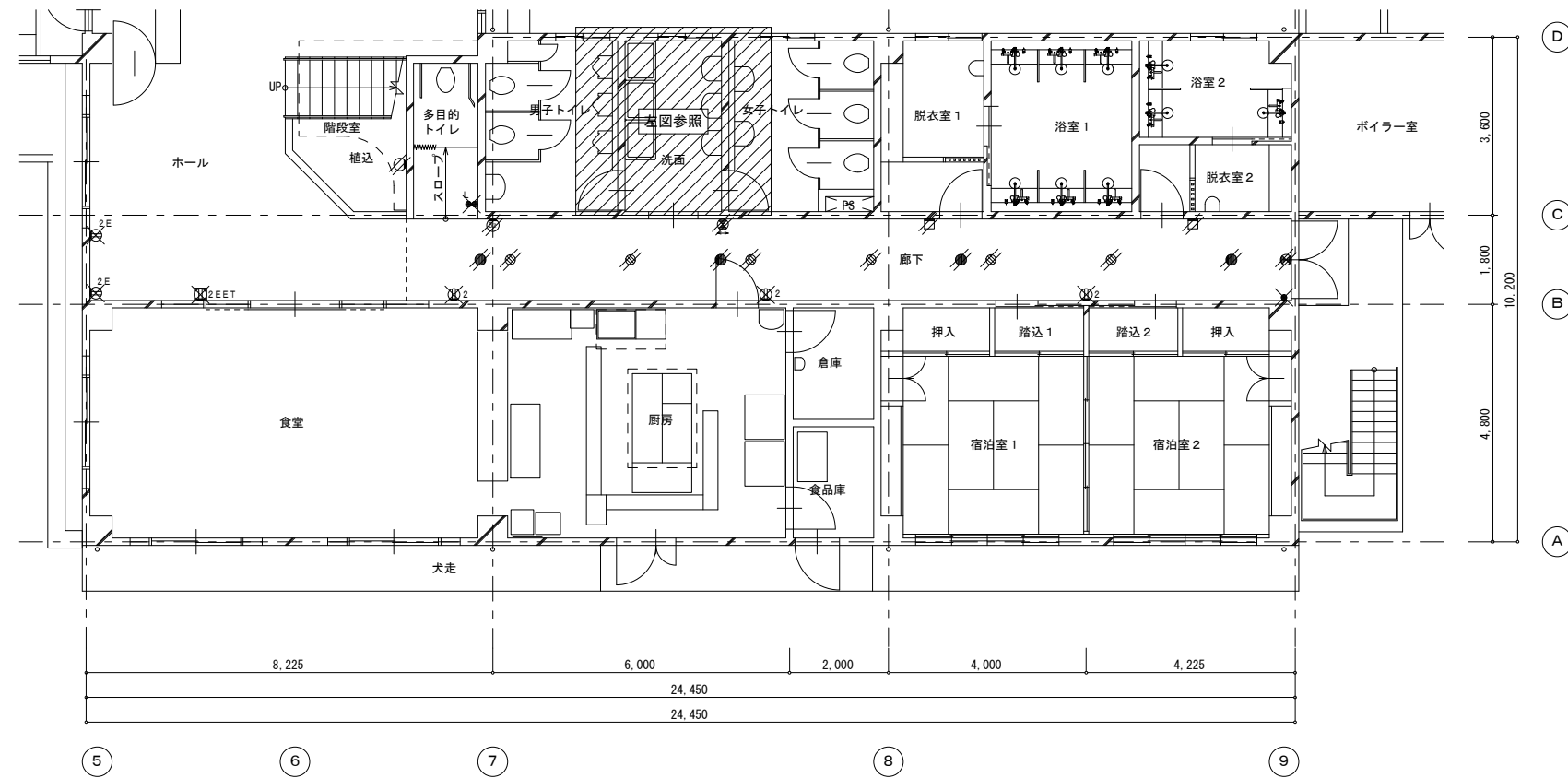
洗面廻り平面詳細図(改修前) 1:50

洗面		
LEDﾌﾗｯｸｯﾄ	1	取外

階段室		
ﾌﾗｯｸｯﾄ	1	取外

1階			
LED非常灯 天井埋込型	4	取外	
誘導灯 (小形) 吊下型	1	取外	
誘導灯 (小形) 壁埋込型	1	取外	
LEDﾗﾝﾀﾞｲﾄ 100φ	6	取外	
足元保安灯	2	取外	

1階平面図(改修前) 1:100



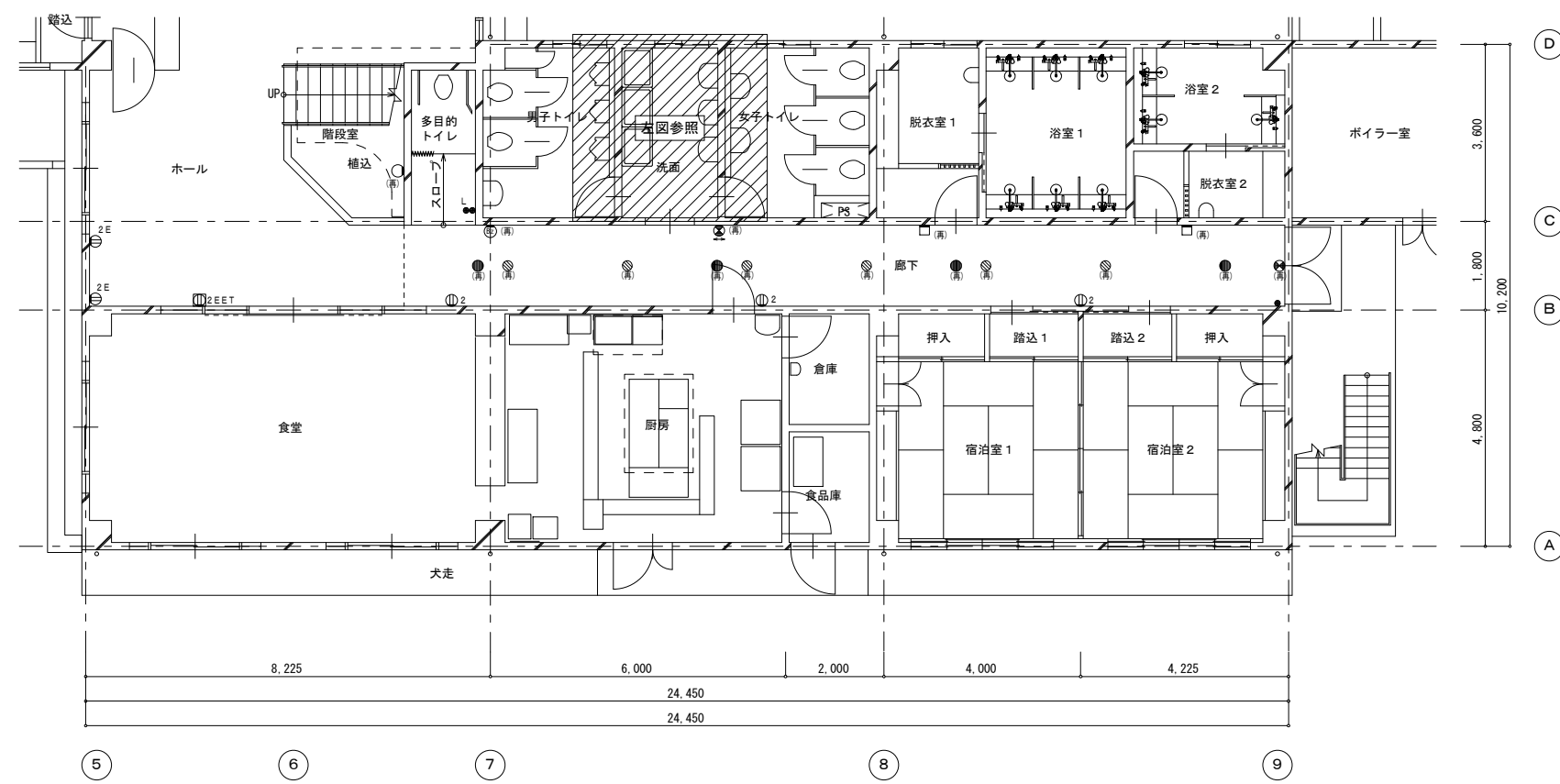
洗面廻り平面詳細図(改修後) 1:50

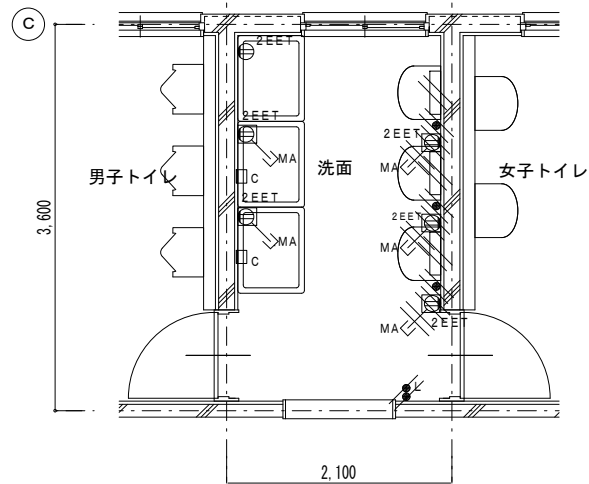
洗面		
LEDﾌﾗｯｸｯﾄ	1	再取付

階段室		
ﾌﾗｯｸｯﾄ	1	再取付

1階			
LED非常灯 天井埋込型	4	再取付	
誘導灯 (小形) 吊下型	1	再取付	
誘導灯 (小形) 壁埋込型	1	再取付	
LEDﾗﾝﾀﾞｲﾄ 100φ	6	再取付	
足元保安灯	2	再取付	

1階平面図(改修後) 1:100





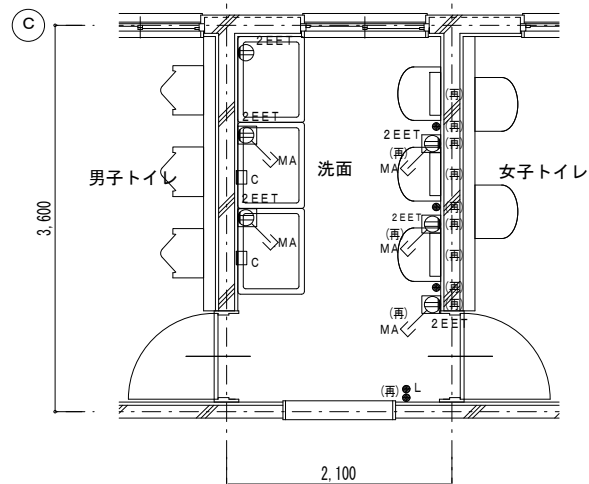
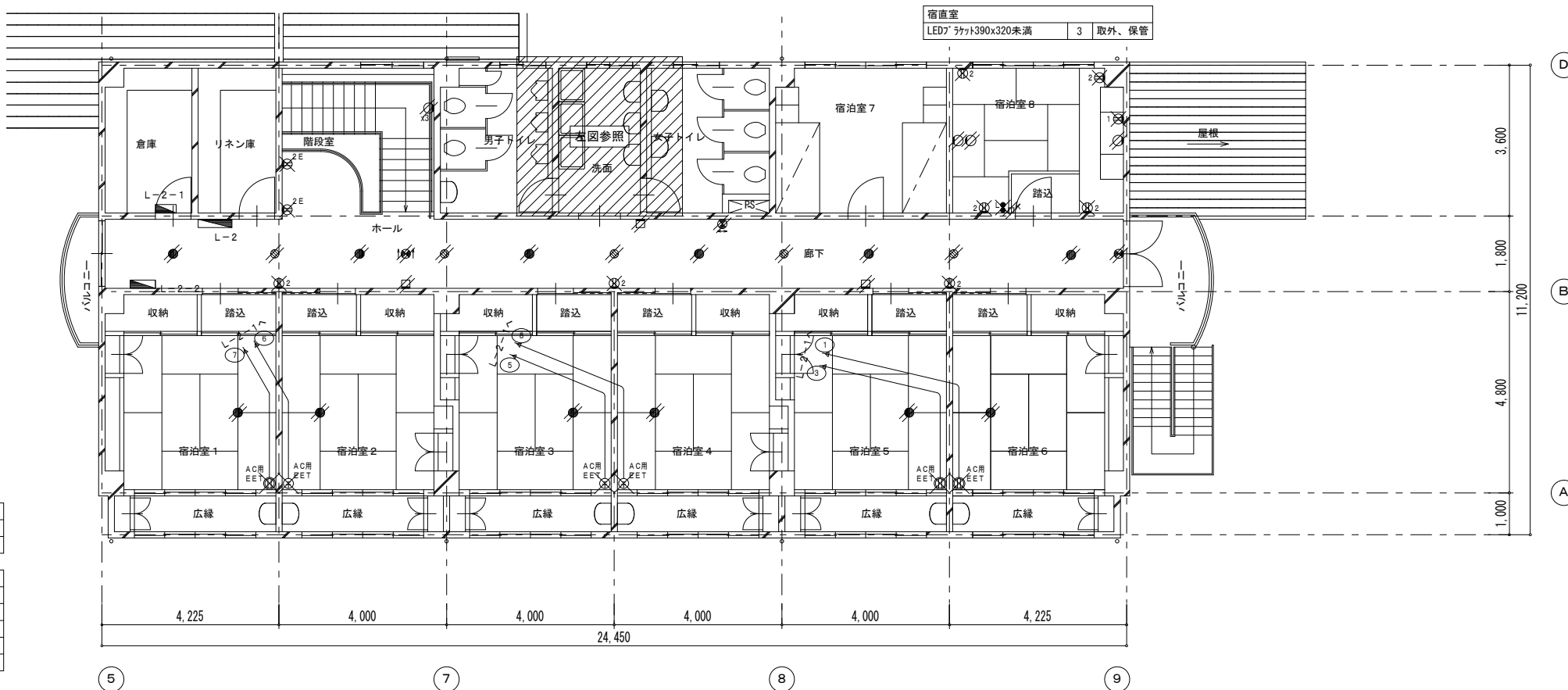
洗面廻り平面詳細図(改修前) 1:50

洗面		
LED7' ライト390x320未満	1	取外

階段室		
7' ライト	3	取外

2階		
LED非常灯 天井埋込型	12	取外
誘導灯 (中形) 吊下型	2	取外
誘導灯 (小形) 壁埋込型	1	取外
LED9' クラウド 100φ	5	取外
足元保安灯	3	取外

2階平面図(改修前) 1:100



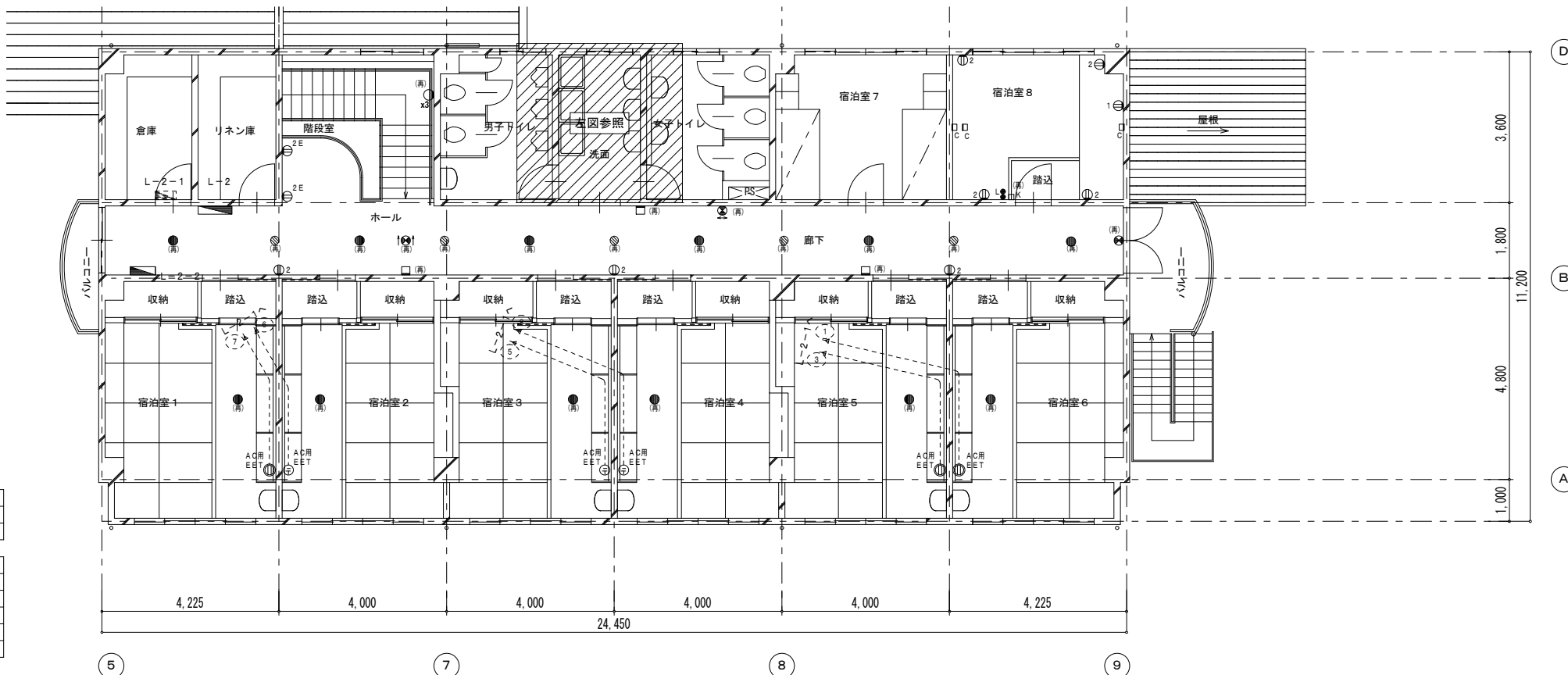
洗面廻り平面詳細図(改修後) 1:50

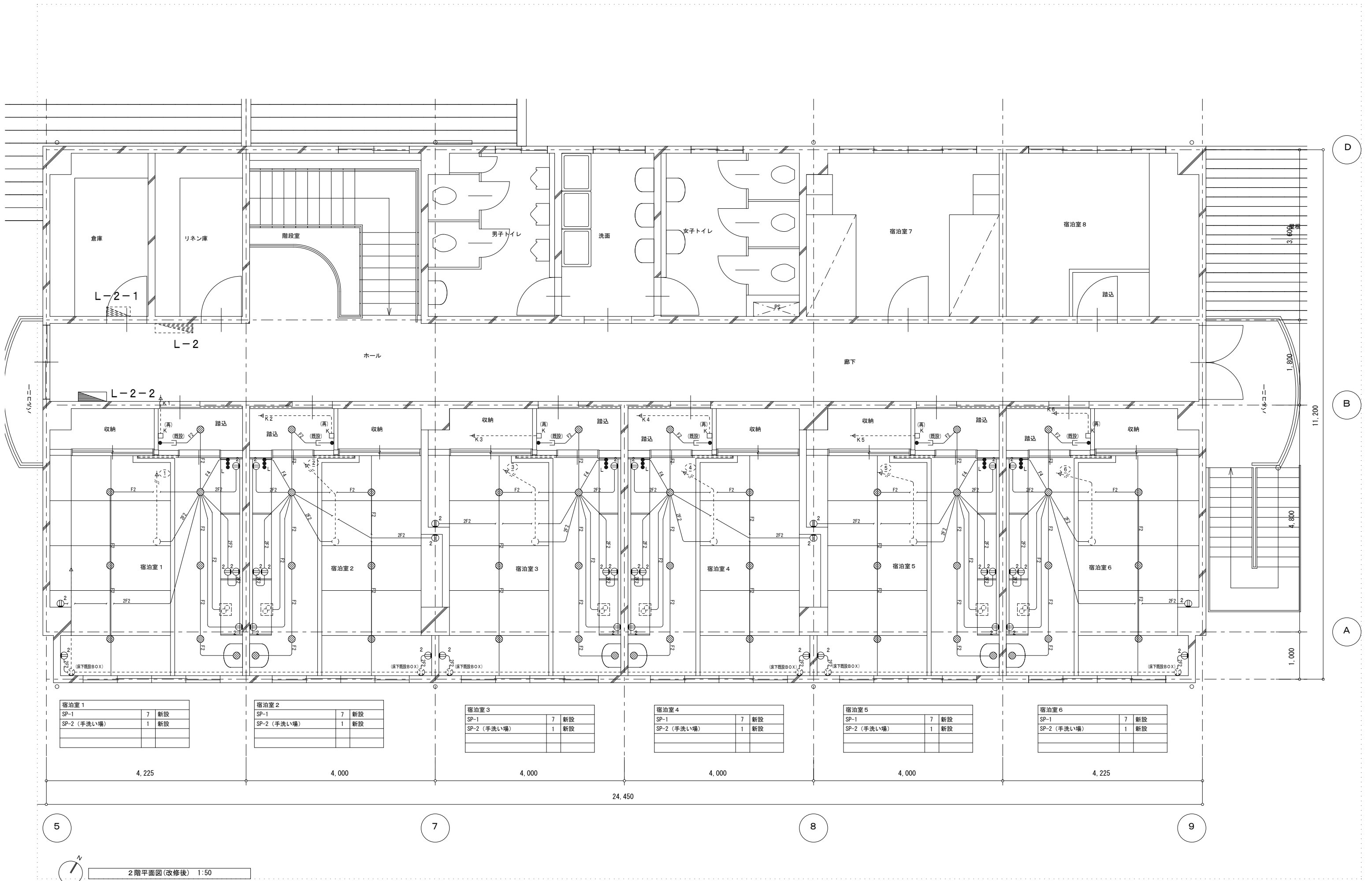
洗面		
LED7' ライト390x320未満	1	再取付

階段室		
7' ライト	3	再取付

2階		
LED非常灯 天井埋込型	12	再取付
誘導灯 (中形) 吊下型	2	再取付
誘導灯 (小形) 壁埋込型	1	再取付
LED9' クラウド 100φ	5	再取付
足元保安灯	3	再取付

2階平面図(改修後) 1:100





宿泊室 1		
SP-1	7	新設
SP-2 (手洗い場)	1	新設

4,225

宿泊室 2		
SP-1	7	新設
SP-2 (手洗い場)	1	新設

4,000

宿泊室 3		
SP-1	7	新設
SP-2 (手洗い場)	1	新設

4,000

宿泊室 4		
SP-1	7	新設
SP-2 (手洗い場)	1	新設

4,000

宿泊室 5		
SP-1	7	新設
SP-2 (手洗い場)	1	新設

4,000

宿泊室 6		
SP-1	7	新設
SP-2 (手洗い場)	1	新設

4,225

24,450

11,200

3,600

1,800

4,800

1,000

5

7

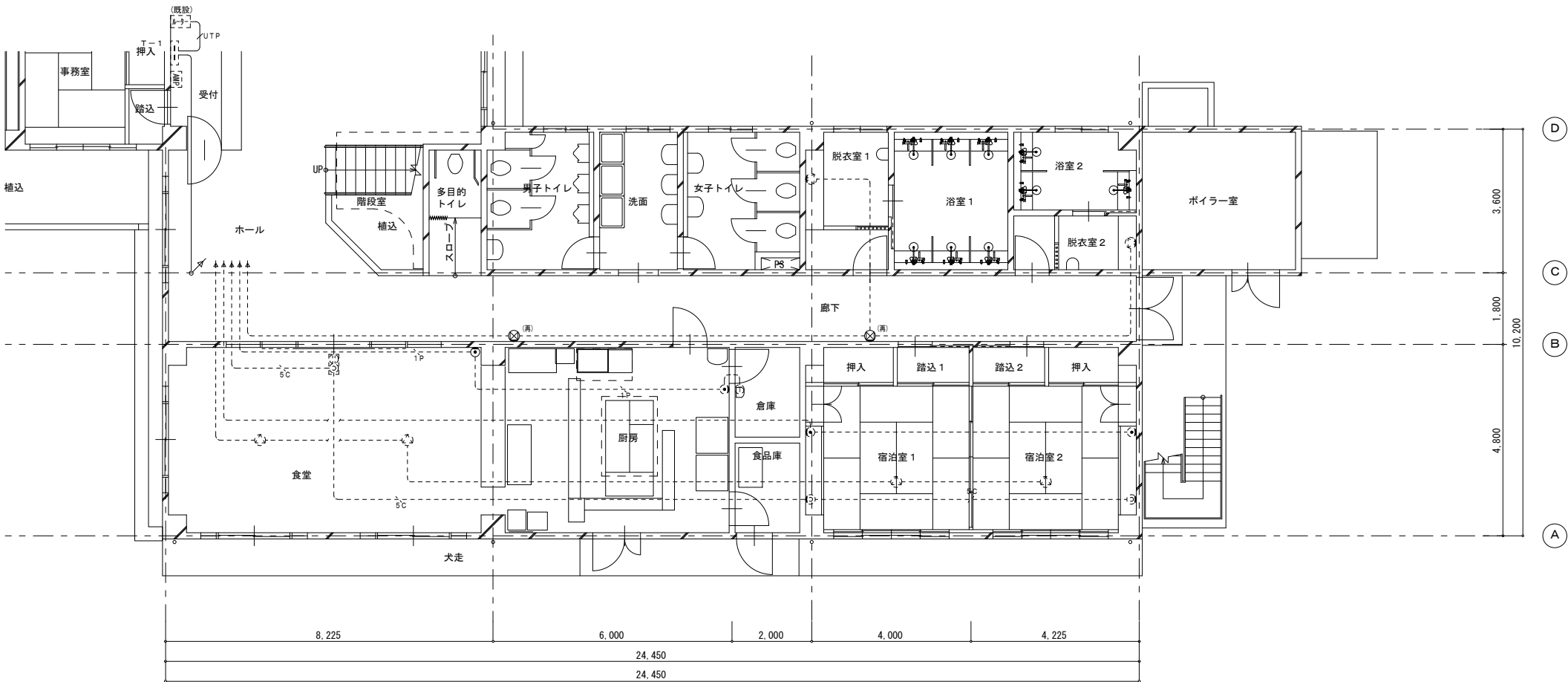
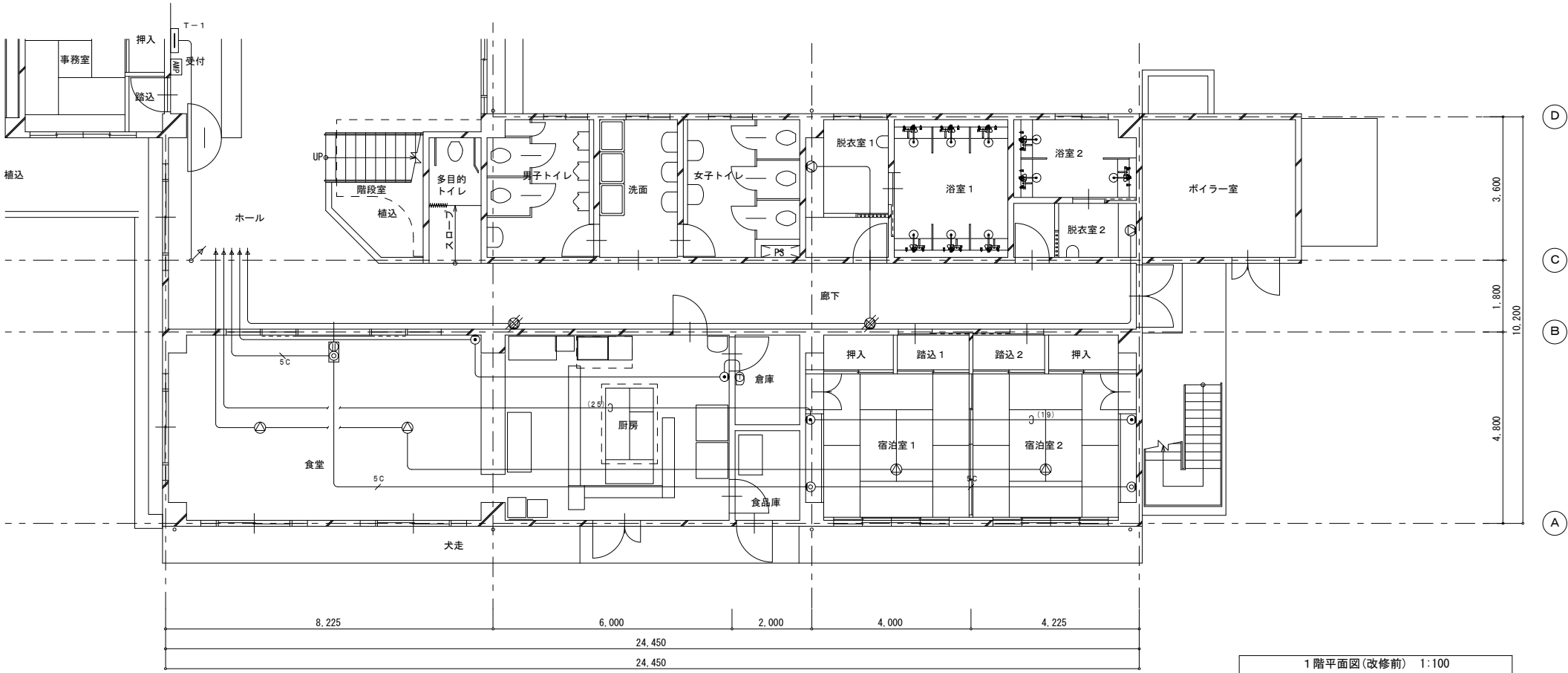
8

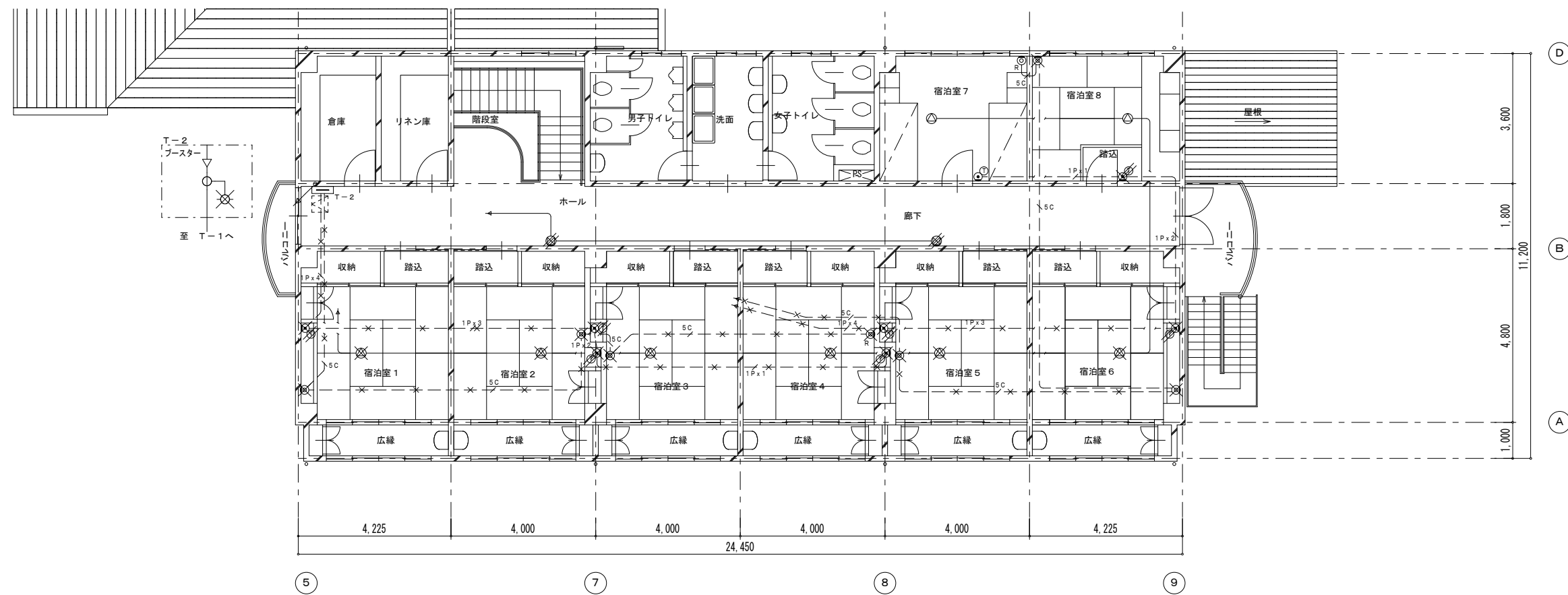
9

2 階平面図 (改修後) 1:50

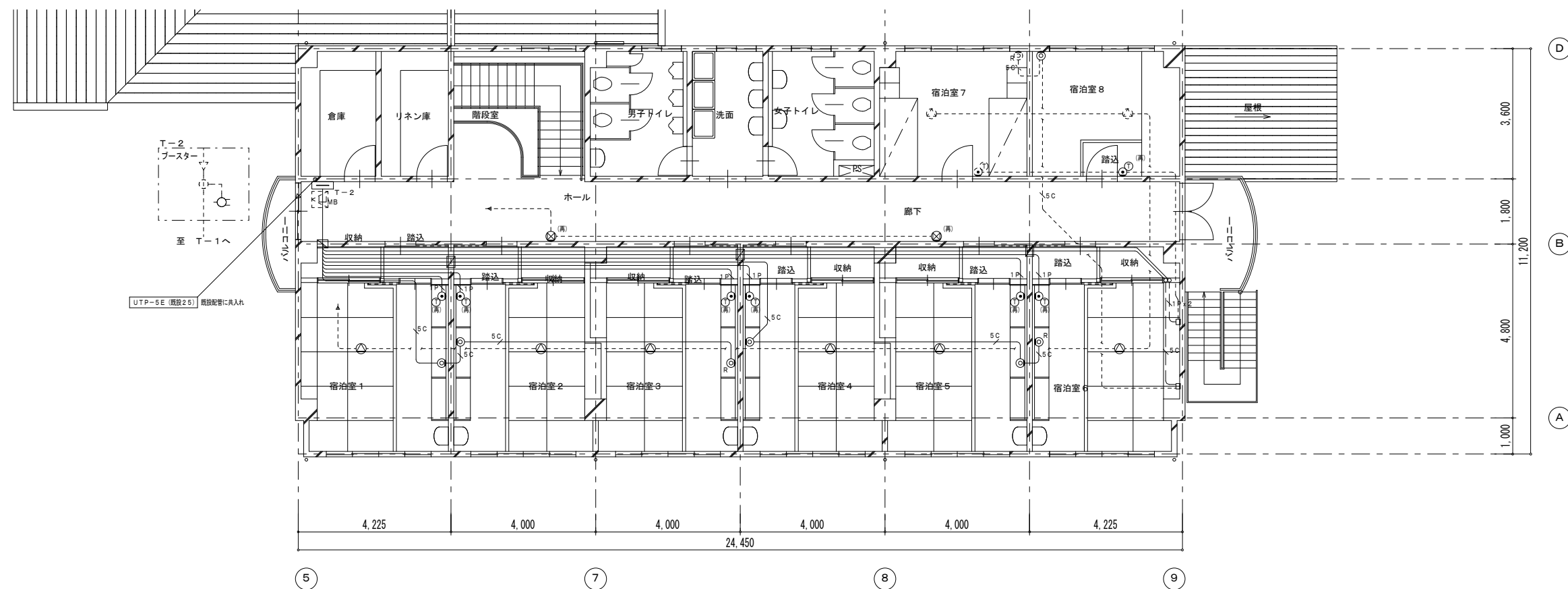
凡 例		プレートは全て新金とする。	
記 号	品 名	記 号	品 名
テレビ共聴設備		放送設備	
▽	ブースター UHF	AMP	アンプ
⊕	1分岐器	⊙	天井埋込スピーカー
⊖	2分配器	⊗	壁付スピーカー両面型
⊙	3分配器	⊖	壁付スピーカー
⊙	直列ユニット 中間型	Ⓜ	マイクジャック 呼出マイク付
⊙R	直列ユニット 端末型	×	撤去を示す。(再使用なし)
□	防雨入線カバー	〳	取外しを示す。(再使用あり)
電話設備		(再)	取外し品再取付を示す。
⊙	電話受け口		
①	電話機	※改修後の図中点線は既設を示す。	
電話設備			
⌈→⌋	既設ルーター		
AP	Wi-Fiアクセシブリティ 参考：パナソニック WAPS-1266		

注 記
1. 特記なき配管配線は、下記の通りとする。
・改修前
5C S-5C-FB (19)
7C S-7C-FB (19)
1P ET10.65-1P (19)
1Px _n ET10.65-1Px _n (25)
AE1.2-3C (19)
・改修後
5C EM-S-5C-FB (PF16)
1P EM-BT1EE0.55-1P (PF16)
EM-AE1.2-3C (PF16)
UTP UTP5E-4P
但し二重天井内はケーブル配線とする。





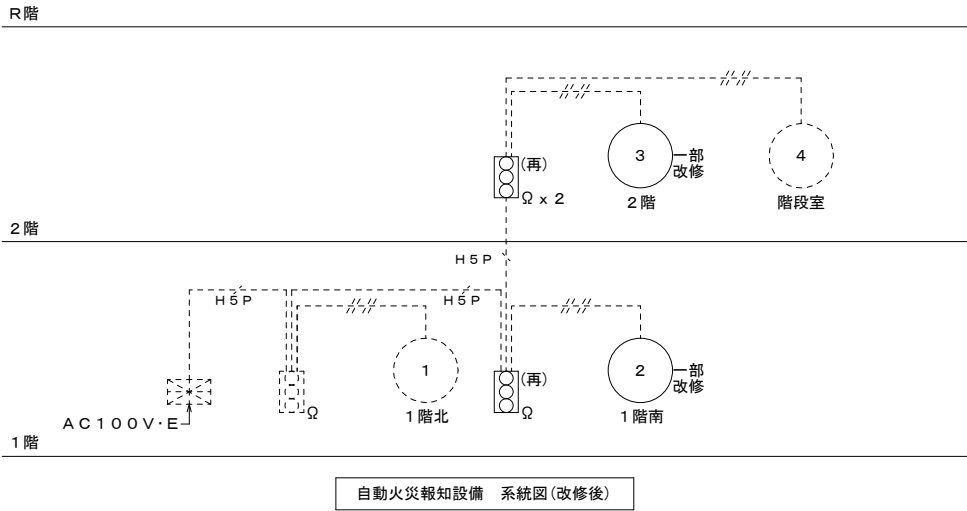
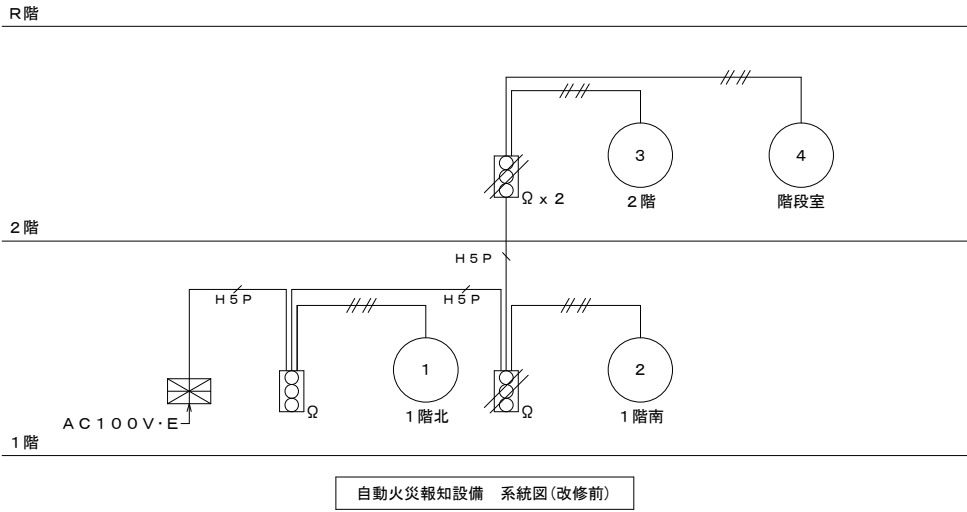
2階平面図(改修前) 1:100

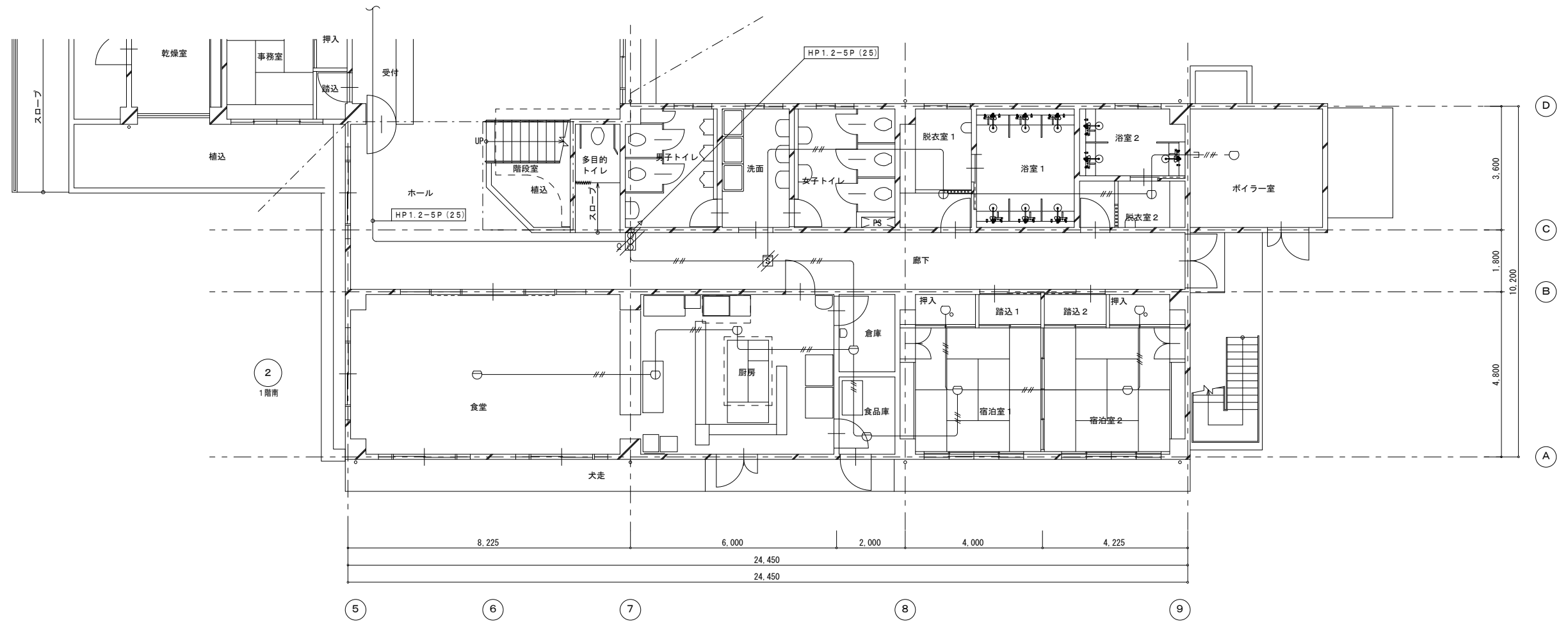


2階平面図(改修後) 1:100

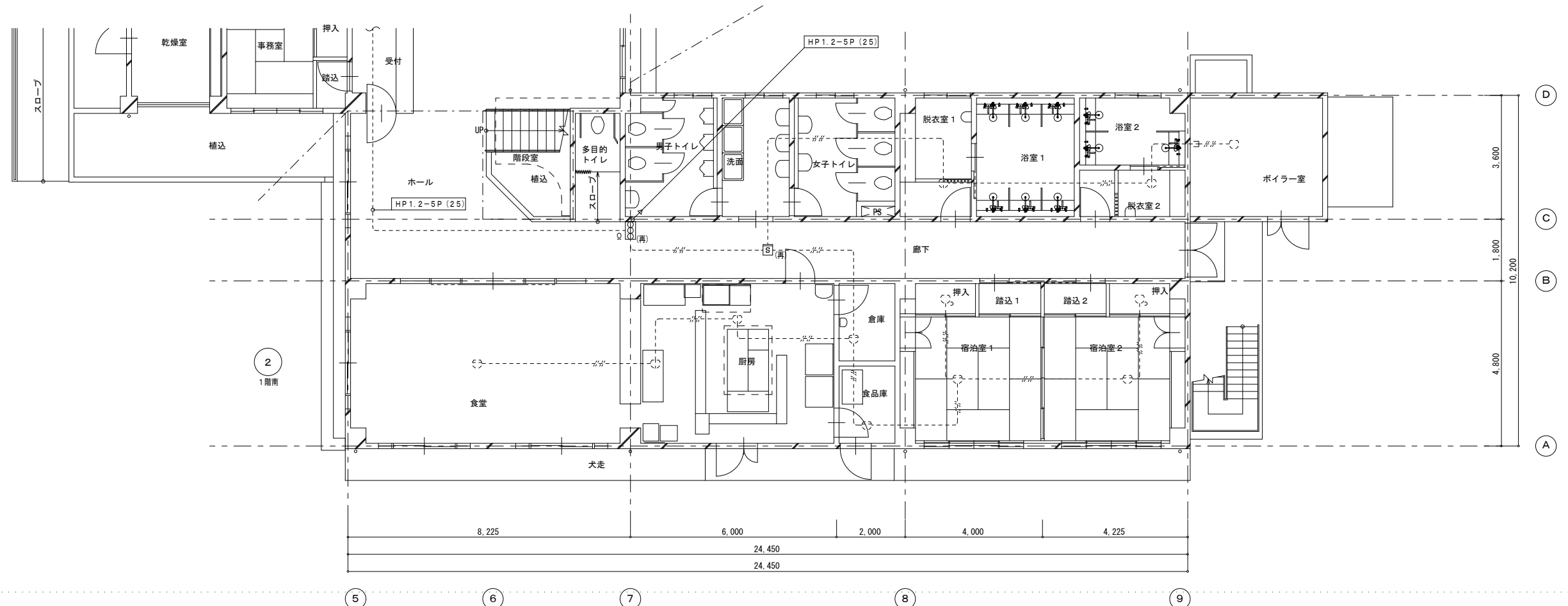
凡 例		
記 号	名 称	摘 要
	受信機・・・・・・・・	P型2級5窓 壁掛型
	総合盤・・・・・・・・	埋込型 (P Ⅰ B 取付)
	発 信 機	P型2級
	表 示 灯	AC24V
	電 鈴	DC24V 150φ
	スポット型感知器・・・	差動式 2種 露出型
	スポット型感知器・・・	定温式 1種 露出型 防水型
	スポット型感知器・・・	定温式 1種 露出型
	スポット型感知器・・・	定温式 特種 露出型
	煙感知器・・・・・・・・	光電式 2種 露出型
	終 端 器	
	警 戒 区 域 番 号	自火報用
	警 戒 区 域・・・・	
	壁貫通補修	防火区画貫通処理含む
	撤去を示す。(再使用なし)	
	取外しを示す。(再使用あり)	
	取外し品再取付を示す。	
※改修後の図中点線は既設を示す。		

注 記
1 図中記入なき配管配線は下記とする。
・改修前
AE 0.9-4C (19)
HP 0.9-5P (25)
但し二重天井内はケーブル配線とする。
・改修後
EM-AE 0.9-4C
但し二重天井内はケーブル配線とする。

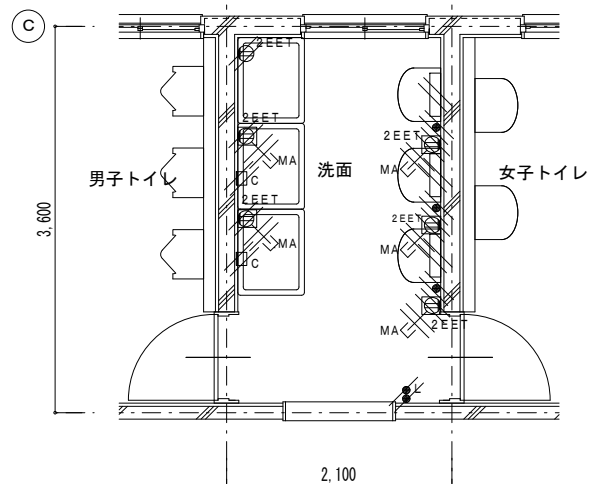




1階平面図(改修前) 1:100



1階平面図(改修後) 1:100



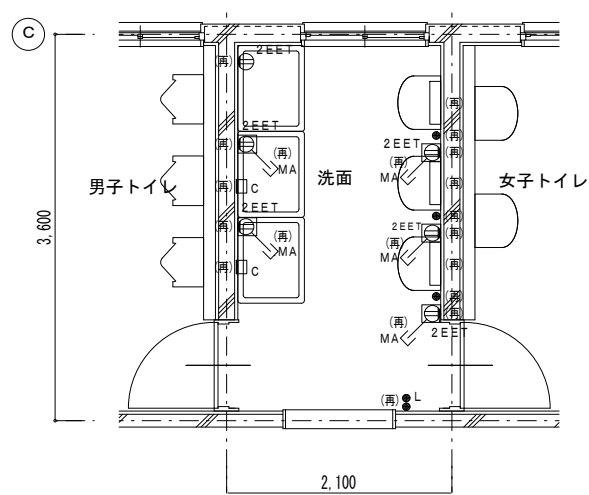
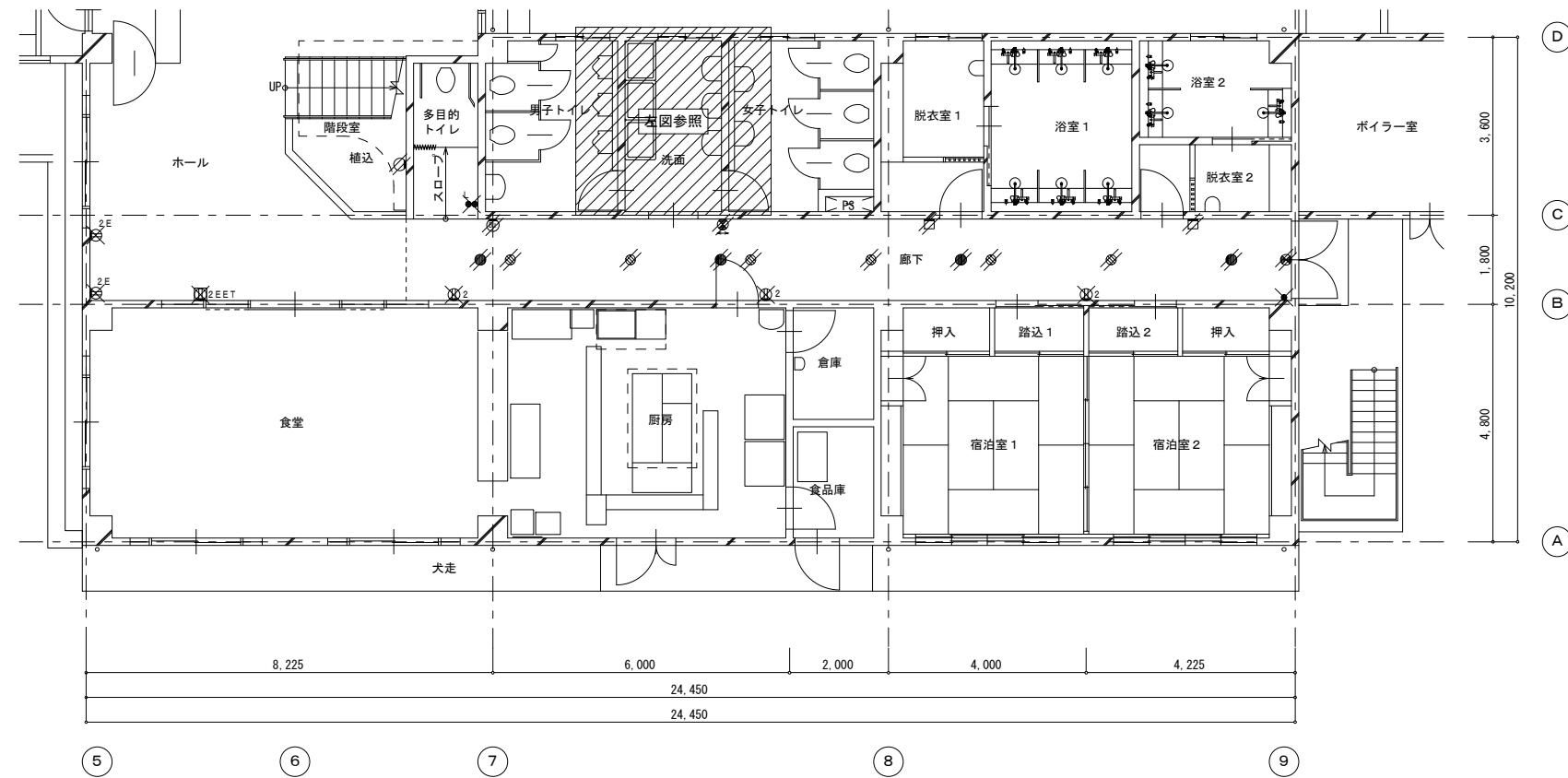
洗面廻り平面詳細図(改修前) 1:50

洗面		
LEDﾌﾗｯｸﾄ	1	取外

階段室		
ﾌﾗｯｸﾄ	1	取外

1階			
LED非常灯 天井埋込型	4	取外	
誘導灯 (小形) 吊下型	1	取外	
誘導灯 (小形) 壁埋込型	1	取外	
LEDﾗｲｸﾞﾋｯﾄ 100φ	6	取外	
足元保安灯	2	取外	

1階平面図(改修前) 1:100



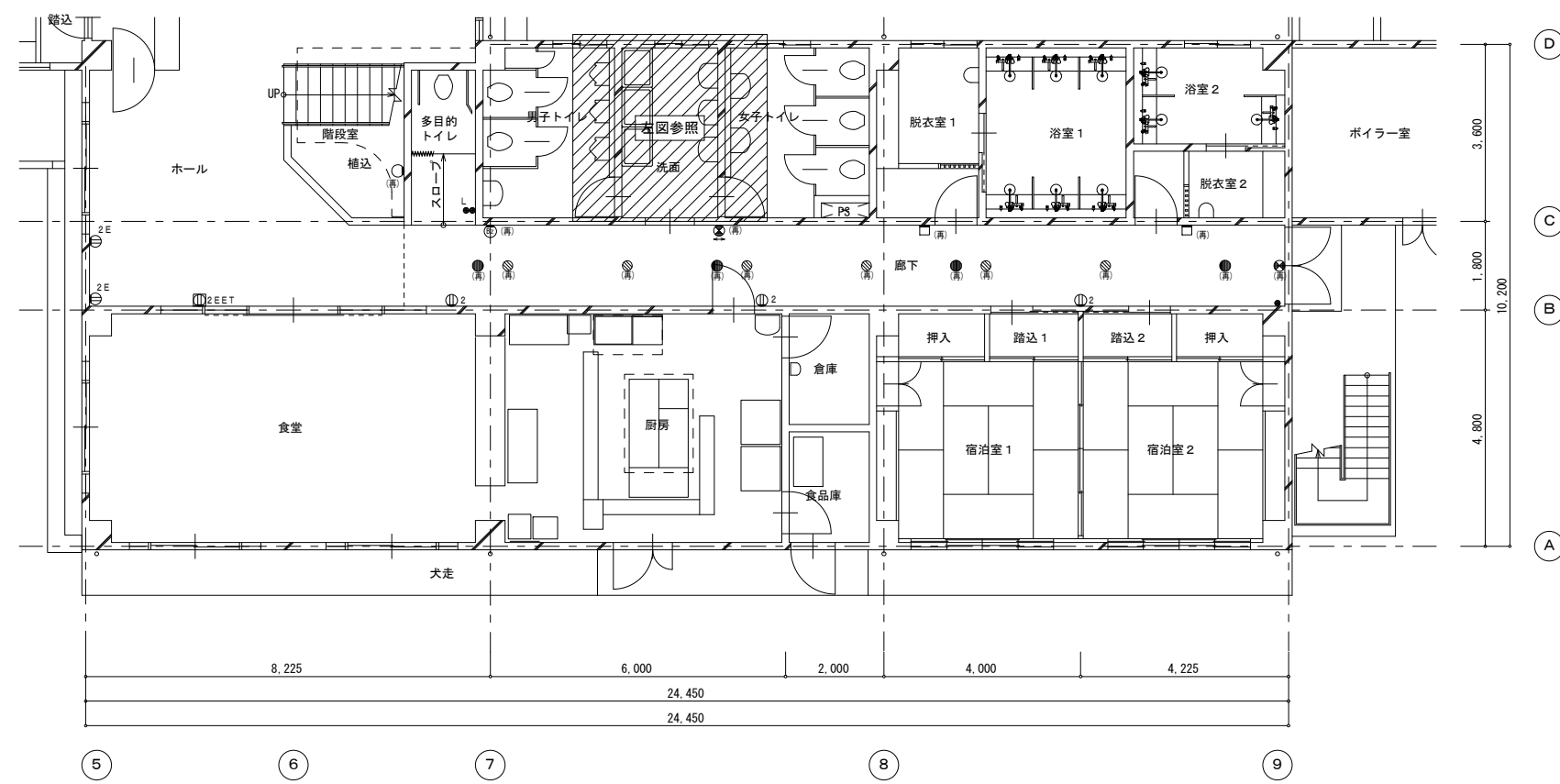
洗面廻り平面詳細図(改修後) 1:50

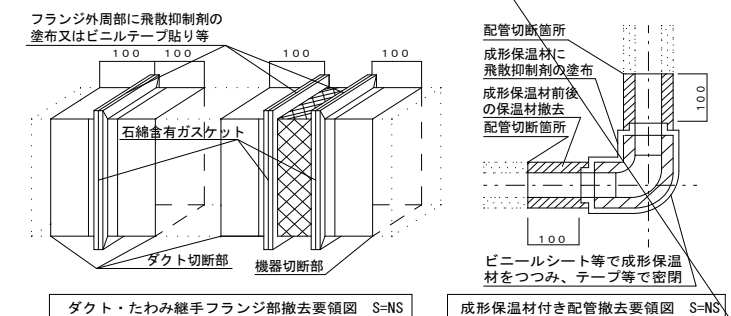
洗面		
LEDﾌﾗｯｸﾄ	1	再取付

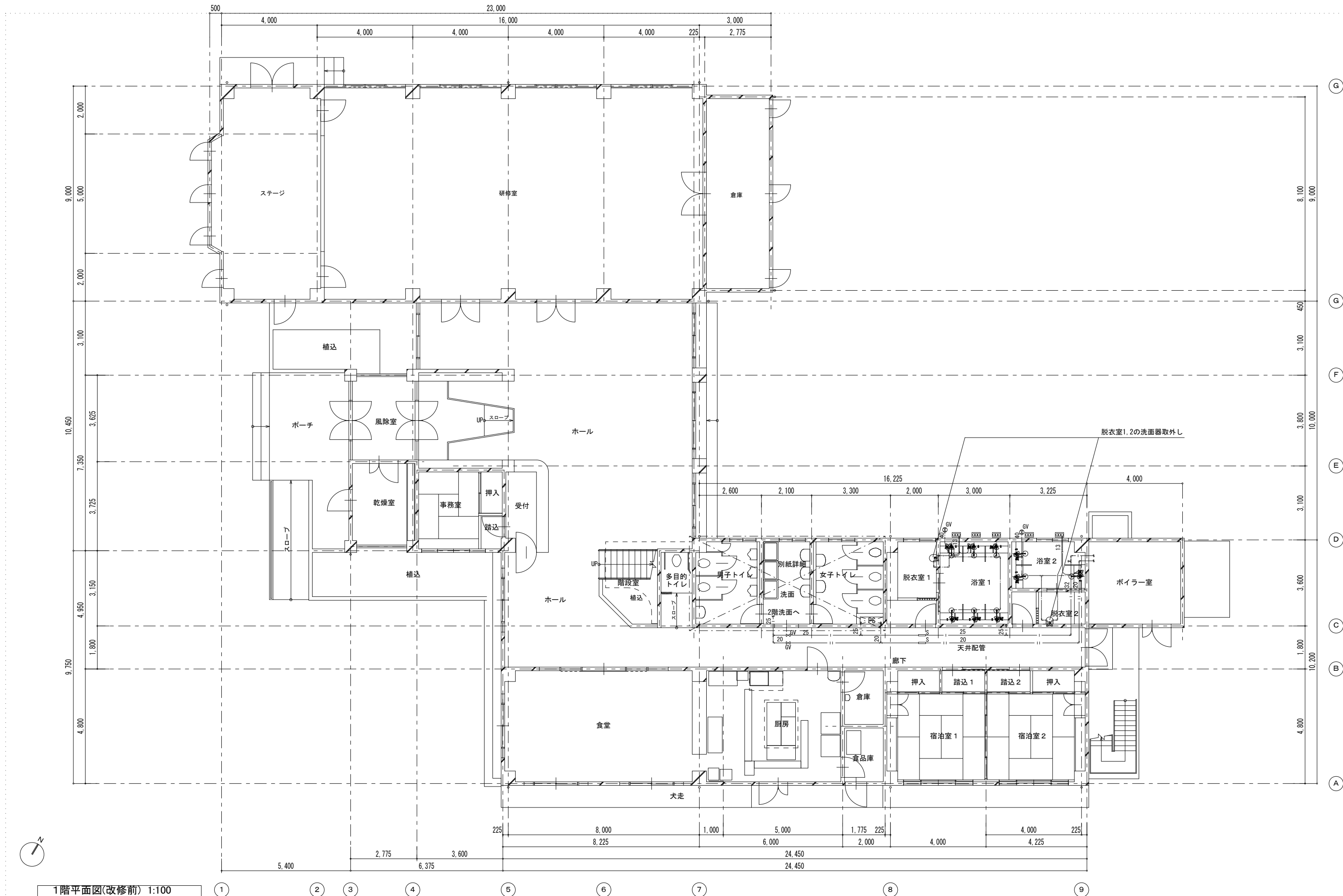
階段室		
ﾌﾗｯｸﾄ	1	再取付

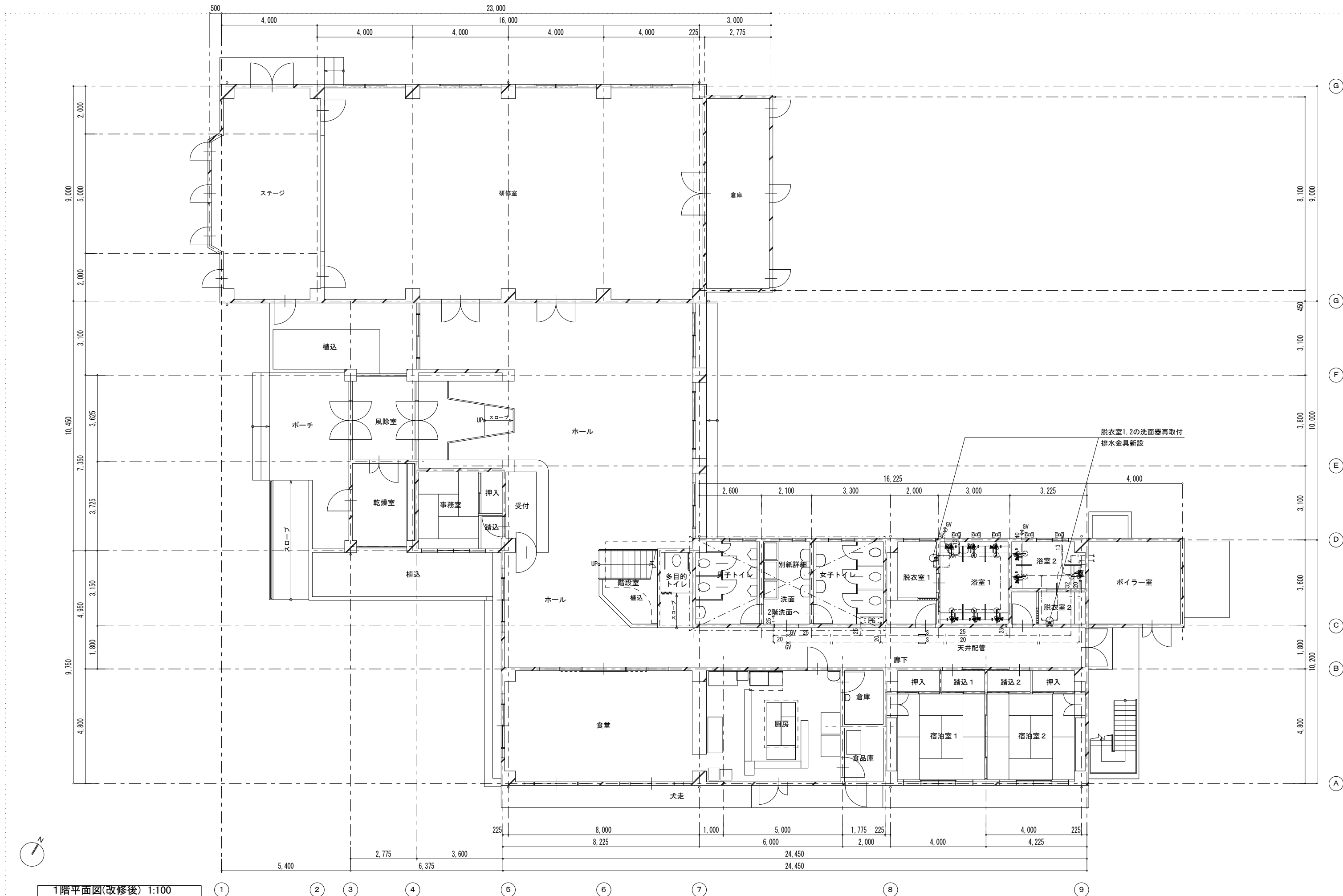
1階			
LED非常灯 天井埋込型	4	再取付	
誘導灯 (小形) 吊下型	1	再取付	
誘導灯 (小形) 壁埋込型	1	再取付	
LEDﾗｲｸﾞﾋｯﾄ 100φ	6	再取付	
足元保安灯	2	再取付	

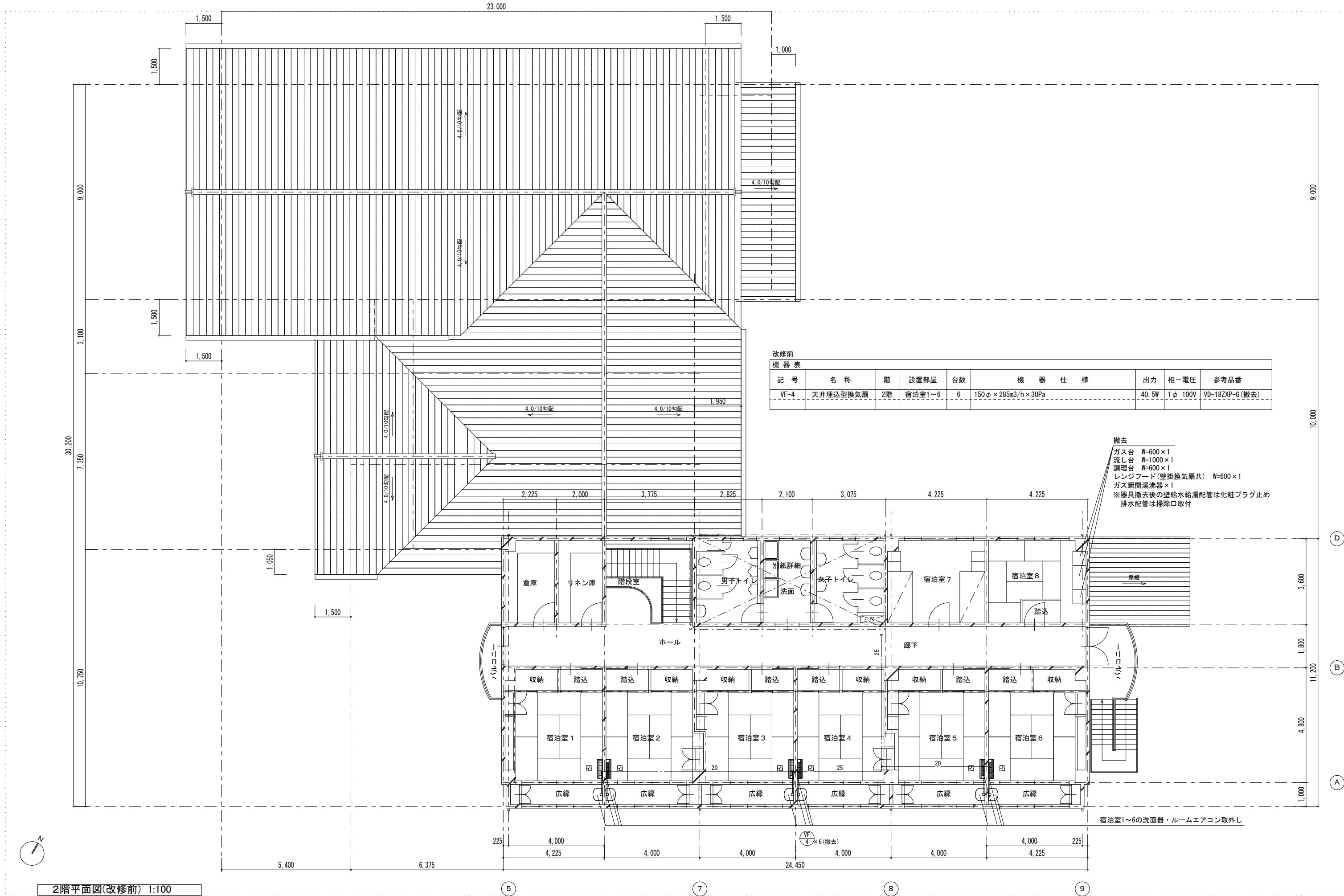
1階平面図(改修後) 1:100



空調設備	1. 設計用温湿度条件	<table><tr><th colspan="2" rowspan="2">外 気 条 件</th><th colspan="4">室 内 (調整目標値)</th></tr><tr><th colspan="2">一 般 系 統</th><th colspan="2"></th></tr><tr><th>温度(ＤＢ)</th><th>湿 度</th><th>温度(ＤＢ)</th><th>湿 度</th><th>温度(ＤＢ)</th><th>湿 度</th></tr><tr><td>夏季 34. 9℃</td><td>51. 0%</td><td>28. 0℃</td><td>50%</td><td></td><td></td></tr><tr><td>冬季 -0. 2℃</td><td>69. 9%</td><td>19. 0℃</td><td>40%</td><td></td><td></td></tr></table>	外 気 条 件		室 内 (調整目標値)				一 般 系 統				温度(ＤＢ)	湿 度	温度(ＤＢ)	湿 度	温度(ＤＢ)	湿 度	夏季 34. 9℃	51. 0%	28. 0℃	50%			冬季 -0. 2℃	69. 9%	19. 0℃	40%			28. 消音内貼り	1) 空調用の吹出口接続チャンパー及び図示したダクト並びにチャンパー類とする。 2) 内貼りチャンパー類の寸法は、外法寸法とする。 3) 吹出口接続チャンパー以外の内貼りしたチャンパーには点検口を取付ける。点検口の大きさは、原則として400×600とする。	排水設備	4) 屋外排水管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (VU) ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) (車道部)	石綿含有設備資材の処理について Ⅰ 石綿を含有する設備資材の撤去方法 1 工事受注者は、施工に先立ち以下の報告を行うこと。 撤去に先立ち、「大気汚染防止法」の他「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき関係機関と協議を行い、監督職員に報告を行う。 2. 各部位の撤去方法は、以下の内容及び撤去要領図を参考とし、監督職員に計画書を提出し承諾を得ること。 (1) ダクトフランジ部 ダクトフランジ部の撤去は、原則として切断による方法とする。 1) ダクトの切断に先立ち、飛散防止措置としてダクトフランジ外周部分に、飛散抑制剤の塗布又はビニルテープ貼り等を施す。 2) ダクトの切断は、フランジ部分の両側約100mmの箇所において慎重に行う。 3) ダクト片側の切断終了後、フランジ内周部分に外周同様に飛散防止措置を施し、もう片側の切断を行う。 (2) たわみ継手フランジ部 たわみ継手フランジ部の撤去は、原則として切断による方法とする。 1) ダクト及び機器の切断に先立ち、飛散防止措置としてダクトフランジ外周部分に、飛散抑制剤の塗布又はビニルテープ貼り等を施す。 2) ダクト及び機器の切断は、フランジ部分の約100mmの箇所において慎重に行う。 3) ダクト及び機器の切断終了後、フランジ内周部分に外周同様に飛散防止措置を施す。 (3) 配管フランジ部 配管フランジ部におけるガスケット撤去は、原則として切断による方法とする。 1) 配管の切断は、フランジ部分にかけられない箇所において行う。 (4) 成形保温材付き配管の曲線部の撤去は、原則として切断による方法とする。 1) 配管の切断に先立ち、飛散防止措置として成形保温材に飛散抑制剤の塗布を施すとともに、成形保温材前後の保温材を撤去する。 2) ビニールシート等で成形保温材を包み配管表面でテープ止めとし密閉する。 3) 配管の切断は、密閉部分の両側約100mmの箇所において慎重に行う。 Ⅱ 石綿を含有する設備資材の処理方法 (※撤出費・運搬費・処分費は別途) (1) 処理に先立ち、関係機関と協議を行い監督職員へ計画書を提出し承諾を得る。 (2) 石綿含有廃棄物であることを表示すると共に、石綿飛散防止対策として「大気汚染防止法」の他、「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき構外搬出適切処理とする。 (3) 構外搬出適切処理後、監督職員へ報告書を提出する。 (4) 石綿含有設備機器については、施設管理者及び監督職員と協議の上、適切に処理を行う。 
	外 気 条 件				室 内 (調整目標値)																														
一 般 系 統																																			
温度(ＤＢ)	湿 度	温度(ＤＢ)	湿 度	温度(ＤＢ)	湿 度																														
夏季 34. 9℃	51. 0%	28. 0℃	50%																																
冬季 -0. 2℃	69. 9%	19. 0℃	40%																																
② 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による	1) 冷水・温水・冷温水 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白管) 2) 膨張・空気抜・補給水 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白管) 3) 冷却水 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白管) 4) 蒸気給気 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (黒管) 5) 蒸気還水 ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管 (STPG370Sch40) 6) 油・油用通気 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (黒管) 7) 冷媒 ・ 断熱材被覆鋼管 8) 空調用給水 ・ ステンレス鋼管 (SUS304) 9) 空調用排水 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (VP) ・ 結露防止層付硬質塩化ビニル管 図面に特記なき場合の耐圧は、5Kとする。 トロップの形式はフロートボール式 (床置型) ※ FRP製保温型 1) 厚さ ※ 3. 2mm ・ 4. 5mm 2) ばい煙濃度計 ・ 取付ける ・ 取付けない ・ 取付座を取付ける 3) ばいじん量測定口 (80φ×2) ※ 取付ける ・ 取付けない 4) 伸縮継手及び掃除口は図示による。 投光器及び受光器は、送風器付きとする。 標準型、低騒音型、超低騒音型の規定は、日本冷却塔工業会の騒音基準値による。 コイル通過後のケーシングに講じる表面結露対策は、 ※ 不要 ・ 図示による。 風量30. 000m3/hを超える機器の許容騒音レベルは、図示による。 冷温水管の接続部 (往・還) にはボール弁を取付ける。 ※ 流量調整弁 ・ 定流量弁 を取付ける。 (定流量弁の場合は ・ ダイアフラム式流量可変式 ・ カートリッジオリフィス形) 床置形にはサブドレンパンを設ける。材質等はドレンパンに準ずる。 インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。 内外渡線は、原則として冷媒管と共巻きとする。(エアコン含む) パッケージ形空調機と機 パッケージ形空調機と機 集中管理リモコン ・ 個別リモコン	29. 機器用基礎 30. 空調用流体の水質基準 31. フィルターの予備品	1) 日本冷凍空調工業会 (冷凍空調機器用水質ガイドライン) による。 空気調和機器等又は7/16-7/16の装着枚数の100%を予備品 (枠付) として納める。 7/16-7/16は総枚数の (・ 50% ・ 100%) に当たる7/16-7/16を予備品 (枠付) として納める。 自動巻取り形及びグリースフィルターは装着単位の100%を予備品として納める。	給湯設備	1) ・ 保温付被覆鋼管 ・ 鋼管 ・ ステンレス鋼管 ・ 耐熱性ライニング鋼管 ・ 架橋ポリエチレン管 (SGP-VS) 2) 湯沸器、給湯機廻りの付属配管等は製造業者標準品とする。 図面に特記なき場合の耐圧は、5Kとする。 ただし、公営水道に直結する部分及び特記部分は、10Kとする。 湯沸器の給排水箇の隠ぺい箇所は保温 H・(イ)・DCを行う。																														
3. 弁類 4. 空調機用トロップ 5. 鋼板製煙道	1) 厚さ ※ 3. 2mm ・ 4. 5mm 2) ばい煙濃度計 ・ 取付ける ・ 取付けない ・ 取付座を取付ける 3) ばいじん量測定口 (80φ×2) ※ 取付ける ・ 取付けない 4) 伸縮継手及び掃除口は図示による。 投光器及び受光器は、送風器付きとする。 標準型、低騒音型、超低騒音型の規定は、日本冷却塔工業会の騒音基準値による。 コイル通過後のケーシングに講じる表面結露対策は、 ※ 不要 ・ 図示による。 風量30. 000m3/hを超える機器の許容騒音レベルは、図示による。 冷温水管の接続部 (往・還) にはボール弁を取付ける。 ※ 流量調整弁 ・ 定流量弁 を取付ける。 (定流量弁の場合は ・ ダイアフラム式流量可変式 ・ カートリッジオリフィス形) 床置形にはサブドレンパンを設ける。材質等はドレンパンに準ずる。 インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。 内外渡線は、原則として冷媒管と共巻きとする。(エアコン含む) パッケージ形空調機と機 パッケージ形空調機と機 集中管理リモコン ・ 個別リモコン	3. 排煙口開放及び復帰方式 4. 排煙風量測定	1) 建築設備定期検査業務基準書2016年版 (一財) 日本建築設備・昇降機センター) の排煙風量の検査方法に準ずる。	消火設備	1) 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による 2. 消火栓弁の耐圧 3. 保温 4. 屋内消火栓 5. 屋外消火栓	1) 屋内消火栓 一般配管用 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白管) 地中配管用 ・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管ビット内 (SGP-VS) 2) 連結送水管 一般配管用 ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管 (Sch40) 地中配管用 ・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管 (STPG370-VS) 3) 一般配管用 ※ 10K ・ 16K 1) 呼吸タンクの保温 ※ 施工しない ・ 施工する 2) 充水タンクの保温 ※ 施工しない ・ 施工する 3) 消火配管の保温は次による。 (屋外露出・寒冷地は保温種別 e2・(ハ)・Ⅶ による) ・ 屋内消火栓 ※ 施工しない ・ 施工する ・ スプリンクラー ※ 施工しない ・ 施工する ・ 連結送水 ※ 施工しない ・ 施工する ・ 連結散水 ※ 施工しない ・ 施工する ※ 広範囲型2号消火栓 ・ 2号消火栓 ・ 易操作1号消火栓 ・ 1号消火栓 開閉弁の材質は ・ 鋳鉄製 (要部青銅製) ・ ステンレス鋼製 箱の材質は ※ 鋼板製 ・ ステンレス鋼板製																													
6. ばい煙濃度計 7. 冷却塔 8. ユニット形 空気調和機 9. ファンコイルユニット 10. パッケージ形 空気調和機 11. マルチパッケージ形 空気調和機 12. 集中管理リモコン ・ 個別リモコン 13. 空気清浄装置 14. オイルポンプ 15. 開放形膨張タンク 16. 地下 オイルタンク 17. オイルサーピスタック 18. ダクト 19. チャンパー等 20. 吹出口・吸込口の ボックス 21. グリス除去装置 22. 風量測定口 23. 温度計 24. 圧力計 25. ダンパー 26. 定風量・変風量 ユニット 27. 冷温水管等のエア抜き	集中管理リモコンの機能は、 ※ 標準仕様書に記載されている機能 ・ 外部信号を受け一括停止機能 ・ 図示する機能 ・ エネルギーの管理に関する機能 (外部記憶媒体への出力機能含) リモコンの系統区分は図示による。 ろ材ユニットは (・ 再生式 ・ 非再生式) とし、形式及び性能等は図示による。 形式 ※ 渦流形 ・ 歯車形 本体の材質 ※ 鋼板製 ・ ステンレス鋼板製 鉄製はしこ ※ 要 ・ 不要 1) 据付け方法は ※ 標準図 (施工32) (二重殻タンク) ・ 標準図 (施工33) (タンク室有り) 2) 保護被覆は ※ FRP ・ エポキシ樹脂 ・ アスファルト 3) 遠隔油量指示装置 (液面計は (・ 抵抗変式式 ・ 磁歪式) で (・ 屋内 ・ 屋外) より油量監視用) を取付ける。 4) 基礎杭は ※ 不要 ・ 要 (但し杭は ※ 別途工事 ・ 本工事) 5) 土留め工事は ※ 不要 ・ 要 (・ 本工事 ・ 別途工事) 油面計はゲージ式 (側圧式) とする。 1) ※ 低圧ダクト ・ 高圧1ダクト ・ 高圧2ダクト 2) 長方形ダクトは ・ コーナーボルト工法 (共板フランジ又はスライドオンフランジ) (ただし、長辺が1500mmを超えるものはアングルフランジ工法とする) ・ アングルフランジ工法 3) 防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後150mmを1. 6mm厚鋼板製とする。 4) 厨房用ダクトの板厚は「火災予防条例準則の運用について」による。 1) シーリングディフューザーの接続は標準図 (施工49) を参考とする。 2) 接続するダクトの施工が困難な場所はフレキシブルダクトを使用してもよい。 3) 線状吹出口には、長さ+100×300×300Hの接続チャンパーを設ける。 4) 外壁に面するガラリにチャンパー等を設ける場合は、雨水等を自然に排出できるよう勾配をつける。 ※ 亜鉛鉄板製 ・ グラスウール製 ・ グリスエクストラクター ・ グリスフィルター 標準仕様書によるほか図示した箇所及び下記の箇所に取付ける。 ・ 空調機のサブライチャンパーからの分岐ダクト ・ 外気取入れダクト 標準仕様書によるほか図示した箇所及び下記の箇所に取付ける。 ・ 空気調和機、全熱交換器廻りの送気ダクト、外気ダクト及び給気ダクト 機器付属以外の温度計は ※ バイメタル式温度計 ・ ガード付き温度計 標準図によるほか図示した箇所に取付ける。 (1) 防火ダンパーは表示等により区分する。 (2) 防煙ダンパー 遠隔復帰式 (定格入力はDC24V、0. 7A以下。) ・ メカニカル形 ・ 風速センサー形 1) エア溜まりを生ずると思われる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置にエア抜き弁装置 (※ 手動 ・ 自動) を設ける。 2) 自動エア抜き弁装置は、標準図 (施工38 (g)) による。 3) 機械室の手動式エア抜き配管で、特記のない場合の保温範囲は原則として分岐部より2mとする。	衛生器具設備 給水設備	① 一般事項 2. 小便器用節水装置 3. 自動水栓 ④ 大便器用洗淨弁 ⑤ 温水洗淨便座 ⑥ 器具と排水管接続 7. 水栓 ① 配管材料 ※重複して適用の場合の使用区分は図示による 3. 量水器 4. 量水器樹 5. 定水位調整弁 6. 緊急遮断弁装置 7. 水栓柱 8. 不凍水栓柱 9. 水栓 10. タンク 11. 引込納付金等 12. 6"以下のコンクリート巻き	1) 型番変更等により参考型番が変更又は廃止されている場合、参考型番の同等品とする。 ・ 大便器、小便器には、標記板 (アクリル板に印刷可) を取付ける。 形式は (※ 小便器一体型 ・ 小便器分離型) とする。 洗浄水量4リットル/回以下とする。 ※ 個別感知方式 (※ AC電源 ・ 乾電池) ・ 手動式 電源種別は ※ AC電源 ・ 自己発電 ・ 乾電池 肢体不自由者用洗面器に設ける自動水栓に手動スイッチを、 ※ 設ける ・ 設けない 操作方式 ① 電気開閉式 (・ センサー式 ② タッチスイッチ式) ・ 手動式 洗浄水加温方式は (① 瞬間方式 ・ 貯湯方式) とし、付加機能は図示による。 ※ 標準図 (施工65) ・ 標準図 (施工66) ・ 水栓は節水コマ付きを採用する。 ・ 水栓ハンドルは極力レバー式を採用する。	1) 一般配管用 ・ 水道用硬質塩化ビニル管 (SGP-VB・FVB) ① 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (HIVP) ・ 架橋ポリエチレン管 ② 水道用硬質塩化ビニル管 (SGP-VB・FVB) ③ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (HIVP) ・ 架橋ポリエチレン管 ・ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (HIVP) ・ 水道配水用ポリエチレン管 ・ 水道用ポリエチレン二層管 4) ステンレス鋼管を使用する場合は下記の水質の確認を行う。 電気伝導率、Mアルカリ度、カルシウムイオン、マグネシウムイオン、全硬度、重碳酸イオン、遊離炭酸、塩素イオン、硫酸イオン、シリカ、蒸発残留物 1) 公営水道に直結する配管に使用するものの耐圧は、10Kとする。 2) 受水タンク以降の配管に使用するものの耐圧は、5Kとする。 3) 給水引込部の (・ 止水栓 ・ 弁類) は水道事業者指定品とする。 1) 親メーター ※ 借用 ・ 買取り (・ 直読 ・ 遠隔表示) 2) 子メーター ※ 買取り ・ 借用 (・ 直読 ・ 遠隔表示) 現地表示式 (直読式) の表示機構は ※ 湿式アナログ式 ・ 乾式デジタル式 遠隔表示式は (※ バルス式 ・ 電文式) 発信器を備える。 1) 親メーター用 ※ 水道事業者の指定品 ・ 標準図 (機材57) 2) 子メーター用 ※ 標準図 (機材57) ・ 水道事業者の指定品 ・ 標準仕様書による ・ 水道事業者指定品 ・ 定流量弁を定水位調整弁の手前に設置する。 遮断弁の駆動方式は (※ 電気式 ・ 機械式) とする。 ※ 合成樹脂製 ・ ステンレス製 寸法 ※ 約70mm角全長約1300mm ・ 図示による 寸法 ※ 全長約1300mm ・ 図示による 1) 屋外の水栓は ・ キーハンドル ・ 2) 台所流し用の水栓は泡沫式とする。 給水栓用配管の接続口を (※ 設ける ・ 設けない) のものとする。 2槽式の場合は、連通管を設けるものとする。 ※ 別途工事 ・ 本工事 弁・ツル、散水栓・ツル等はコンクリート巻き仕上げとする。(但し舗装等の仕上げ部分は除く。)(施工の際は鉄筋又は、金網で補強を入れること。)	浄化槽設備 雨水利用設備	1. 処理種別及び方式 2. その他 1. システム構成その他 2. 配管材料 3. 弁類 4. 量水器 5. 雨水電動遮断弁 6. 網かご形スクリーン 7. 薬液注入装置	・ 小規模合併処理 (・ 担体流動生物濾過方式 ・ 嫌気分離接触床方式) ・ 合併処理 (・ 図示による。 図示による。 図示による。 1) 一般配管用 ・ ポリ粉体鋼管 (SGP-PA) (SGP-FPA) 2) 土間配管用 ・ ポリ粉体鋼管 (SGP-PD) (SGP-FPD) 3) 地中配管用 ・ 水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管 (HIVP) 図面に特記なき場合の耐圧は、5Kとする。 ※ バルス式 ・ 直読式 ・ ナイフ仕切弁 ・ 偏心式プラグ弁 ・ パタフライ弁 目幅の有効間隔は (※ 5mm ・ mm) とする。 構成その他は図示による。																											
冷媒の回収方法について		冷媒の回収方法は次による。回収費・処分費は (※ 本工事 ・ 別途工事) とする。 (1) 「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 (フロン排出抑制法)」に従って行い、監督職員に次の書類を提出する。 ① 第1種フロン類充填回収業者の登録通知書 (都道府県知事登録) の写し ② 事前確認書の写し ③ 回収依頼書の写し ④ 引取証明書の写し ⑤ 破壊証明書の写し (2) ルームエアコン等で、「特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法)」の対象となっていないものは、同法に従ってリサイクル「冷媒の回収は原則としてポンプダウンによる。」を行い、監督職員に次の書類を提出する。 ① 特定家庭用機器廃棄物管理票 (家電リサイクル券) の写し																																	





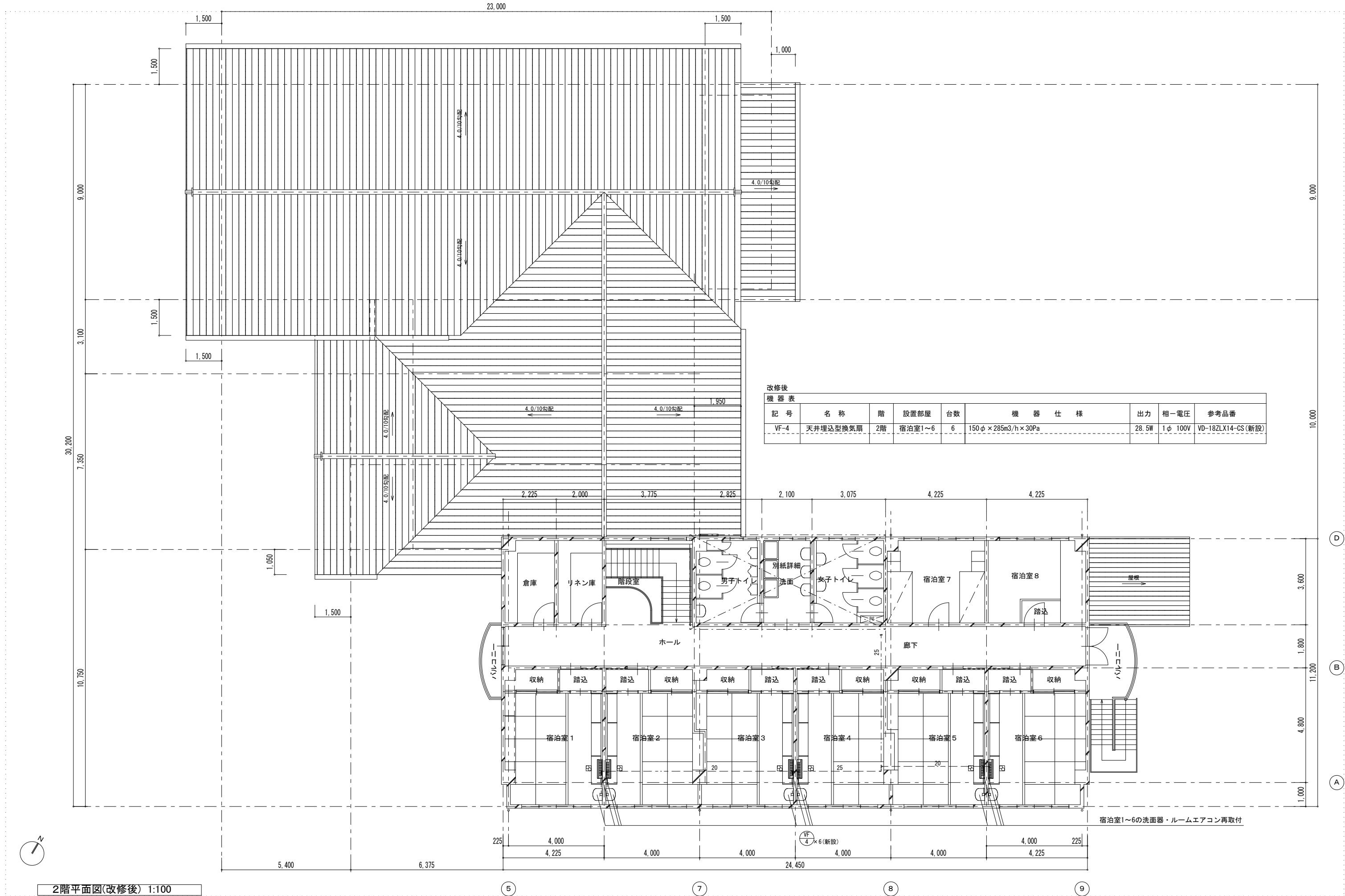


改修前 機器表								
記号	名称	階	設置部屋	台数	機器仕様	出力	相-電圧	参考品番
VF-4	天井埋込型換気扇	2階	宿泊室1~6	6	150φ×285m3/h×30Pa	40.5W	1φ 100V	VD-18ZXP-G(撤去)

撤去
ガス台 W=600×1
流し台 W=1000×1
調理台 W=600×1
レンジフード(壁掛換気扇共) W=600×1
ガス瞬間湯沸器×1
※器具撤去後の壁給水給湯配管は化粧プラグ止め
排水配管は掃除口取付

宿泊室1~6の洗面器・ルームエアコン取外し

2階平面図(改修前) 1:100



改修後 機器表								
記号	名称	階	設置部屋	台数	機器仕様	出力	相一電圧	参考品番
VF-4	天井埋込型換気扇	2階	宿泊室1～6	6	150φ×285m3/h×30Pa	28.5W	1φ 100V	VD-18ZLX14-GS(新設)

2階平面図(改修後) 1:100

